



北海道大学 概要

Hokkaido University Guidebook

2022

北海道大学の基本理念と長期目標

北海道大学は、大学院に重点を置く基幹総合大学であり、その起源は、1876年に設立された札幌農学校に遡る。爾来、帝国大学を経て新制大学に至る長い歴史の中で、本学は、「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」及び「実学の重視」という教育研究に関わる基本理念を掲げ、培ってきた。

社会の要請に応じて国立大学法人としての歩みを始めるにあたって、北海道大学は、これらの基本理念を再確認するとともに、社会に対する説明責任を認識しつつ、新たに獲得した自由の中で、新世紀における知の創成、伝承、実証の拠点として発展するための長期的な目標を、以下のように定めるものである。

フロンティア精神

フロンティア精神とは、学生及び教職員がそれぞれの時代の課題を引き受け、敢然として新しい道を切り拓いていくべきとする理想主義を意味する。札幌農学校の開校式にあたってクラーク博士が唱えた"lofty ambition"（高邁なる大志）という言葉辞を端緒として、世紀を超えて北海道大学を揺るぎなく支えてきた基本理念である。

21世紀に至り、学問におけるパラダイム転換や新たに提起される人類的課題に応え得る研究を不断に展開することが、現代におけるフロンティア精神の発現である。北海道大学は、学問の自由を基礎に、純理と応用の別を問わない創造性豊かな研究を推進するとともに、大学院組織等の柔軟な展開を通じて研究教育機能を飛躍的に発展させることにより、人類史的課題に応え得る世界水準の研究の推進を目指す。

国際性の涵養

欧米の文化と科学技術を導入し、外国人教師の英語による授業を行った札幌農学校は、設立当初から多様な世界にその精神を開いていた。それ以来、多くの本学の卒業生が海外において活躍し、国際性の涵養という理念が、さまざまな形で受け継がれている。

教養教育の充実によって自文化の自覚に裏づけられた異文化理解能力を養い、外国語コミュニケーション能力を高め、国際的に活躍できる人材を育成することの必要性はいうまでもない。北海道大学は、学生及び教職員の国際性を涵養し、国際社会の発展に寄与するため、海外留学・研修の機会を拡大するとともに、外国人研究者・留学生の受け入れを積極的に推進し、アジア・北方圏をはじめとする世界の人々との文化的・社会的交流の促進を目指す。

全人教育

札幌農学校は、農業専門家の養成に止まらず、豊かな人間性と高い知性を兼ね備え、広い教養を身につけた人間の育成を図った。このことは、内村鑑三、志賀重昂、新渡戸稲造、有島武郎など思想・文学をはじめ、人文社会分野における優れた人材を次々に輩出したことにも示されている。北海道大学における全人教育の理念は、今日に至るまで、専門的知識を活用するための総合的判断力と高い識見を備えた人材育成の基盤としての教養教育を重視する伝統として継承されている。

この理念をさらに発展させるために、北海道大学は、豊かな人間性と高い知性を涵養する幅広い人間教育を進め、自由・自主独立の精神の涵養と自律的個の確立を図るとともに、人権を尊重し、社会的要請に的確に対応しうる基盤の能力の育成を目指す。

実学の重視

実学の重視という理念は、札幌農学校が設立後の様々な苦難を乗り越えて総合大学へと発展する過程において二つの意味を含みつつ定着した。即ち現実世界と一体となった普遍的学問の創造としての研究と、基礎研究のみならず応用や実用化を重んじ研究成果の社会還元を重視するという意味である。北海道の広大な自然の中で行なわれた宮部金吾の植物の研究や中谷宇吉郎による雪の研究等は、身近な現象を芽として普遍的真理を創造した研究の精華であったし、北海道大学における研究の中には、北海道の産業とともに発展したものが少なくない。

北海道大学は、実学重視の理念の普遍的かつ今日的意義を追求し、現実世界と一体となった普遍的真理や、北海道の特性を生かした学問の創造を推進するとともに、産学官の連携協働の拡大を通じて、研究成果を北海道、さらに日本、世界に還元する。あわせて大学院における高度な専門家及び職業人の養成並びに社会人教育を充実することを目指す。

Contents

● 基本理念と長期目標	
● 沿革	1~3
● 組織・財政	
教育研究組織図	4
運営組織図・事務組織図	5
役員等・経営協議会委員・	
教育研究評議会評議員	6
部局長等	6・7
栄誉	8・9
教職員数	10
大学院・学部	11~19
附置研究所	20・21
研究センター	21
学内共同施設	22
総合博物館	23
大学文書館	23
附属図書館	24
北海道大学病院	25
国際連携研究教育局	26
創成研究機構	27
高等教育推進機構	28
大学院教育推進機構	28
産学・地域協働推進機構	29
サステナビリティ推進機構	30
国際連携機構	31
技術支援本部	31
情報環境推進本部	32
アドミッションセンター	32
安全衛生本部	32
大学力強化推進本部	33
アイヌ共生推進本部	33
ダイバーシティ・インクルージョン推進本部	34
総合 IR 室	34
2022 年度 収入・支出予算	35
外部資金受入／科学研究費助成事業	35
● 学生	
学生数	36・37
入学状況	38・39
卒業・修了者数（学位授与数）	40
進路状況	41
新渡戸カレッジ	42
就職支援	42
● 国際交流	
日本人留学生数	43
外国人留学生数	44・45
国際交流協定締結状況	46~52
現代日本学プログラム課程	53
Integrated Science Program	53
Hokkaido サマー・インスティテュート (HSI)	54
海外ラーニング・サテライト (LS)	54
One program for Global Goals (OGGs)	54
海外拠点	55
● 寄附講座・公開講座等の実施状況	
寄附講座・産業創出講座等	56
公開講座等	56
● 全学的な教育・研究体制	
産学官連携・研究支援	57・58
教育・研究プログラム	59・60
● キャンパス	
土地・建物・船舶	61
札幌キャンパス・函館キャンパス	62
札幌キャンパス施設配置図	63
施設所在地一覧	64・65

「札幌農学校時代」 1876年～

明治 9年(1876) 7月	● マサチューセッツ農科大学長W. S.クラークが札幌農学校教頭として、教師ホイーラーと教師ベンハロー及び学生11人とともに札幌に到着
8月	● 14日、札幌農学校開校式挙行(本学開学記念日) ● 調所広丈(開拓少判官)が校長兼務
12月	● 書籍庫(後の図書館)新築
11年(1878) 10月	● 演武場(現在の時計台)竣工
14年(1881) 2月	● 森 源三(開拓権少書記官)が校長兼務
19年(1886) 7月	● 植物園竣工
12月	● 佐藤秀顕(北海道庁理事官)が校長事務取扱兼務
20年(1887) 3月	● 佐藤昌介が幹事(校長職務代理)兼務
21年(1888) 12月	● 橋口文蔵が校長に就任
24年(1891) 8月	● 佐藤昌介が校長心得に就任
27年(1894) 4月	● 佐藤昌介が校長に就任

11月 ● 伊藤誠哉が総長に就任

21年(1946) 3月 ● 超短波研究所を応用電気研究所と改称

22年(1947) 4月 ● 法文学部設置

「北海道大学時代」 1947年～

昭和 22年(1947) 10月	● 北海道帝国大学が北海道大学となった
24年(1949) 5月	● 国立学校設置法が公布・施行され、新制の北海道大学(法文・教育・理・医・工・農・水産(函館市)の各学部)設置 ● 医学部附属病院を医学部附属病院と改称 ● 伊藤誠哉が北海道大学長に就任 ● 練習船北星丸新設
6月	● 教養学科(昭26.4～一般教養部)設置
25年(1950) 3月	● 大学予科廃止
4月	● 結核研究所設置 ● 法文学部が文学部と法経学部に分離
10月	● 島 善鄰が学長に就任
27年(1952) 4月	● 獣医学部設置
28年(1953) 4月	● 新制大学院(文・教育・法・経済・理・工・農・獣医・水産の各研究科)設置
8月	● 法経学部が法学部と経済学部に分離
29年(1954) 10月	● 杉野目晴貞が学長に就任
30年(1955) 4月	● 大学院に医学研究科を設置
32年(1957) 7月	● 一般教養部を教養部と改称
33年(1958) 4月	● 大学院に薬学研究科を設置
36年(1961) 5月	● 工業教員養成所設置(昭44.3廃止)
40年(1965) 4月	● 薬学部設置
41年(1966) 10月	● 古市二郎が学長に就任
42年(1967) 2月	● 古市二郎学長逝去に伴い阿部 與が学長事務取扱に就任
5月	● 堀内壽郎が学長に就任
6月	● 歯学部設置
8月	● 歯学部附属病院開院
44年(1969) 4月	● 附属図書館に教養分館を設置
45年(1970) 4月	● 大型計算機センター(全国共同利用施設)設置
46年(1971) 3月	● 研究調査船うしお丸新設
5月	● 丹羽貴知蔵が学長に就任
47年(1972) 5月	● 保健管理センター設置 ● 体育指導センター設置
49年(1974) 4月	● 大学院に歯学研究科を設置

「東北帝国大学農科大学時代」 1907年～

明治 40年(1907) 9月	● 東北帝国大学が設置され、札幌農学校が東北帝国大学農科大学となり、大学予科などを付設(9月11日、開学式挙行) ● 書籍庫を図書館と改称 ● 佐藤昌介が東北帝国大学農科大学長に就任
42年(1909) 2月	● 練習船おしよ丸新設

「北海道帝国大学時代」 1918年～

大正 7年(1918) 4月	● 北海道帝国大学が設置され、東北帝国大学農科大学が北海道帝国大学農科大学となった ● 佐藤昌介が北海道帝国大学総長に就任(北海道帝国大学農科大学長兼務)
8年(1919) 2月	● 農学部設置(農科大学を改称) ● 医学部設置
10年(1921) 4月	● 医学部附属病院設置(同年11月診療開始)
11年(1922) 5月	● 図書館を附属図書館と改称
13年(1924) 9月	● 工学部設置
昭和 5年(1930) 4月	● 理学部設置
12月	● 南 鷹次郎が総長に就任
8年(1933) 12月	● 高岡熊雄が総長に就任
12年(1937) 12月	● 今 裕が総長に就任
16年(1941) 11月	● 低温科学研究所設置
18年(1943) 2月	● 触媒研究所設置 ● 超短波研究所設置
20年(1945) 7月	● 事務局、学生部設置

50年(1975)	6月 5月	● 結核研究所が免疫科学研究所に改組 ● 今村成和が学長に就任
52年(1977)	4月	● 大学院に環境科学研究所を設置
53年(1978)	4月	● スラブ研究センター設置 ● アイソトープ総合センター設置
54年(1979)	4月	● 情報処理教育センター設置 ● 機器分析センター設置
55年(1980)	10月	● 医療技術短期大学部設置
56年(1981)	4月	● 言語文化部設置 ● 実験生物センター設置
	5月	● 有江幹男が学長に就任
60年(1985)	4月	● 遺伝子実験施設設置
62年(1987)	5月	● 伴 義雄が学長に就任
平成元年(1989)	5月	● 触媒化学研究センター(全国共同利用施設)設置 (触媒研究所廃止)
2年(1990)	6月	● スラブ研究センターが全国共同利用施設に改組
3年(1991)	4月	● 留学生センター設置 ● 量子界面エレクトロニクス研究センター設置
	5月	● 廣重 力が学長に就任
4年(1992)	4月	● 応用電気研究所が電子科学研究所に改組
5年(1993)	4月	● 大学院に地球環境科学研究所を設置(大学院環境科学研究所廃止)
6年(1994)	6月	● エネルギー先端工学研究センター設置
7年(1995)	4月	● 教養部廃止 ● 高等教育機能開発総合センター設置 ● 低温科学研究所が全国共同利用施設に改組 ● 大学院の理学研究科、獣医学研究科が大学院講座制に移行(いわゆる大学院重点化) ● 環境保全センター設置 ● 附属図書館の教養分館を北分館と改称
	5月	● 丹保憲仁が総長に就任
8年(1996)	5月	● 先端科学技術共同研究センター設置
	8月	● ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー設置
9年(1997)	4月	● 大学院の工学研究科が大学院講座制に移行
10年(1998)	4月	● 大学院の薬学研究科が大学院講座制に移行
11年(1999)	4月	● 大学院の農学研究科が大学院講座制に移行 ● 情報メディア教育研究総合センター設置(情報処理教育センター廃止) ● 総合博物館設置
12年(2000)	4月	● 大学院の文学研究科、教育学研究科、法学研究科、経済学研究科、医学研究科、歯学研究科、水産科学研究科が大学院講座制に移行 ● 大学院に国際広報メディア研究科を設置 ● 遺伝子病制御研究所設置(免疫科学研究所改組、医学部附属癌研究施設廃止) ● 北ユーラシア・北太平洋地域研究センター設置
13年(2001)	4月	● 北方生物圏フィールド科学センターの設置に伴い、理学部附属臨海実験所・海藻研究施設、農学部附属植物園・農場・演習林・牧場、水産学部附属洞爺湖臨湖実験所・白尻水産実験所・七飯養魚実習施設廃止 ● 先端科学技術共同研究センターの整備に伴い、理学部附属動物染色体研究施設、実験生物センター、遺伝子実験施設廃止 ● 量子集積エレクトロニクス研究センター設置(量子界面エレクトロニクス研究センター廃止)

「国立大学法人北海道大学時代」 2004年～		
平成 16年(2004)	4月	● 北海道大学が国立大学法人北海道大学となった ● 大学院に情報科学研究所を設置 ● エネルギー変換マテリアル研究センター設置(エネルギー先端工学研究センター廃止)
	3月	● 北ユーラシア・北太平洋地域研究センター廃止
	4月	● 大学院に水産科学研究院、地球環境科学研究院、水産科学院、環境科学院を設置(大学院水産科学研究科、地球環境科学研究科廃止) ● 大学院に公共政策学連携研究部、公共政策学教育部を設置 ● 創成科学共同研究機構設置(先端科学技術共同研究センターと創成科学研究機構を統合) ● 体育指導センターが高等教育機能開発総合センターに統合 ● 人獣共通感染症リサーチセンター設置 ● アドミッションセンター設置
	5月	● 大学文書館設置
18年(2006)	4月	● 大学院に理学研究院、薬学研究院、農学研究院、先端生命科学研究院、理学院、農学院、生命科学学院を設置(大学院理学研究科、薬学研究科、農学研究科廃止) ● 観光学高等研究センター設置
19年(2007)	3月	● 教育研究支援本部(運営組織)設置 ● 医療技術短期大学部廃止
	4月	● 情報環境推進本部(運営組織)設置 ● 大学院に教育学研究院、メディア・コミュニケーション研究院、教育学院、国際広報メディア・観光学学院を設置(大学院教育学研究科、国際広報メディア研究科、言語文化部廃止) ● 外国語教育センター設置 ● アイス・先住民研究センター設置 ● 社会科学実験研究センター設置
	5月	● 佐伯 浩が総長に就任
	10月	● 知的財産本部を廃止し知財・産学連携本部(運営組織)へ移行
20年(2008)	4月	● 大学院に保健科学研究院、保健科学院を設置 ● 情報法政策学研究センター設置 ● 環境ナノ・バイオ工学研究センター設置 ● 数学連携研究センター設置 ● サステイナビリティ学教育研究センター設置 ● アドミッションセンターが学内共同教育研究施設から運営組織に移行
21年(2009)	4月	● 知財・産学連携本部(運営組織)を産学連携本部(運営組織)に改組 ● 人材育成本部(運営組織)設置 ● トボロジー理工学教育研究センター設置 ● 創成研究機構(運営組織)設置(創成科学共同研究機構と機器分析センターを廃止)

	8月	● 附属図書館の北分館を北図書館と改称	10月	● 国際連携機構(運営組織)設置(国際本部廃止)	
22年(2010)	4月	● 大学院に工学研究院、工学院を設置(大学院工学研究科廃止) ● 大学院に総合化学院を設置 ● 環境健康科学研究教育センター設置 ● 保健センター設置(保健管理センター廃止) ● エネルギー変換マテリアル研究センターを廃止し、大学院工学研究院附属施設(エネルギー・マテリアル融合領域研究センター)へ移行 ● 低温科学研究所、電子科学研究所、遺伝子病制御研究所、触媒化学研究センター、スラブ研究センター、情報基盤センター、人獣共通感染症リサーチセンターが共同利用・共同研究拠点に認定	29年(2017)	4月	● 名和豊春が総長に就任 ● 大学院に医理工学院を設置 ● 大学院に国際感染症学院を設置 ● 大学院に国際食資源学院を設置 ● 大学院に経済学研究院、医学研究院、歯学研究院、獣医学研究院、経済学院、歯学院、歯医学院を設置(大学院経済学研究科、医学研究科、歯学研究科、獣医学研究科廃止) ● 北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション、北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション(厚岸臨海実験所、室蘭臨海実験所)が教育関係共同利用拠点に再認定
	7月	● 国際本部(運営組織)設置(留学生センターを同本部内に移行)	7月	● 数理・データサイエンス教育研究センター設置	
	10月	● 高等教育推進機構(運営組織)設置(高等教育機能開発総合センターを廃止し、同機構内に移行)	30年(2018)	4月	● サステイナブルキャンパスマネジメント本部(運営組織)設置(サステイナブルキャンパス推進本部廃止)
	11月	● サステイナブルキャンパス推進本部(運営組織)設置	8月	● 学生相談総合センター設置	
23年(2011)	3月	● 安全衛生本部(運営組織)設置	31年(2019)	4月	● 大学院に文学研究院、情報科学研究院、文学院、情報科学院を設置(大学院文学研究科、情報科学研究科廃止) ● 広域複合災害研究センター設置
	4月	● 探索医療教育研究センター設置 ● ベンチャービジネス・ラボラトリーを知識メディア・ラボラトリーに改称 ● 環境保全センターを廃止し、サステイナブルキャンパス推進本部(運営組織)内に移行 ● 練習船おしよる丸が教育関係共同利用拠点に認定	令和元年(2019)	7月	● 人間知・脳・AI研究教育センター設置
24年(2012)	7月	● 北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション、北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション(厚岸臨海実験所、室蘭臨海実験所)が教育関係共同利用拠点に認定	2年(2020)	4月	● 北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション(白尻水産実験所、七飯淡水実験所、忍路臨海実験所)、高等教育推進機構(高等教育研修センター)が教育関係共同利用拠点に再認定
25年(2013)	4月	● 山口佳三が総長に就任	6月	● 名和豊春総長解任に伴い笠原正典が総長代行に就任	
26年(2014)	2月	● 大学力強化推進本部(運営組織)設置	10月	● 實金清博が総長に就任	
	4月	● フード&メディカルイノベーション推進本部(運営組織)設置 ● 国際連携研究教育局設置 ● スラブ研究センターをスラブ・ユーラシア研究センターに改称 ● 環境ナノ・バイオ工学研究センターを次世代都市代謝教育研究センターに改称	3年(2021)	4月	● 人獣共通感染症国際共同研究所設置(人獣共通感染症リサーチセンター廃止) ● 練習船おしよる丸が教育関係共同利用拠点に再認定
	9月	● 探索医療教育研究センター廃止	8月	● サステイナビリティ推進機構(運営組織)の設置(サステイナブルキャンパスマネジメント本部廃止)	
27年(2015)	3月	● 知識メディア・ラボラトリー廃止 ● 情報法政策学研究センター廃止 ● 次世代都市代謝教育研究センター廃止 ● 数学連携研究センター廃止 ● トポロジー理工学教育研究センター廃止	4年(2022)	4月	● アイヌ共生推進本部(運営組織)設置 ● 大学院教育推進機構(運営組織)設置 ● ダイバーシティ・インクルージョン推進本部(運営組織)設置(人材育成本部を廃止し、ダイバーシティ・インクルージョン推進本部、創成研究機構及び大学院教育推進機構に移行) ● 北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション、北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション(厚岸臨海実験所、室蘭臨海実験所)が教育関係共同利用拠点に再認定 ● 低温科学研究所、電子科学研究所、遺伝子病制御研究所、触媒化学研究所、スラブ・ユーラシア研究センター、情報基盤センター、人獣共通感染症国際共同研究所が共同利用・共同研究拠点に継続認定
	4月	● 北極域研究センター設置 ● 埋蔵文化財調査センター設置 ● 産学・地域協働推進機構(運営組織)設置(産学連携本部、フード&メディカルイノベーション推進本部を廃止し、同機構内に移行)			
	7月	● 総合IR室(運営組織)設置 ● 北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション(白尻水産実験所、七飯淡水実験所、忍路臨海実験所)、高等教育推進機構(高等教育研修センター)が教育関係共同利用拠点に認定			
	10月	● 触媒化学研究所設置(触媒化学研究センター廃止)			
28年(2016)	3月	● サステイナビリティ学教育研究センター廃止			
	4月	● 練習船おしよる丸が教育関係共同利用拠点に再認定 ● 低温科学研究所、電子科学研究所、遺伝子病制御研究所、触媒化学研究所、スラブ・ユーラシア研究センター、情報基盤センター、人獣共通感染症リサーチセンターが共同利用・共同研究拠点に継続認定 ● 北極域研究センターが共同利用・共同研究拠点に新規認定			

教育研究組織図

2022年4月1日現在



共同利用・共同研究拠点 (7)

- ・低温科学研究所
- ・電子科学研究所
- ・遺伝子病制御研究所
- ・スラブ・ユーラシア研究センター
- ・人獣共通感染症国際共同研究所
- ・触媒科学研究所
- ・情報基盤センター

教育関係共同利用拠点 (5)

- ・練習船おしよる丸
- ・北方生物圏フィールド科学センター
- ・森林園ステーション
- ・水園ステーション[厚岸/室蘭]
- ・水園ステーション[白尻/七飯/忍路]
- ・大学院教育推進機構高等教育研修センター

運営組織図

2022年4月1日現在



沿革

組織財政

学生

国際交流

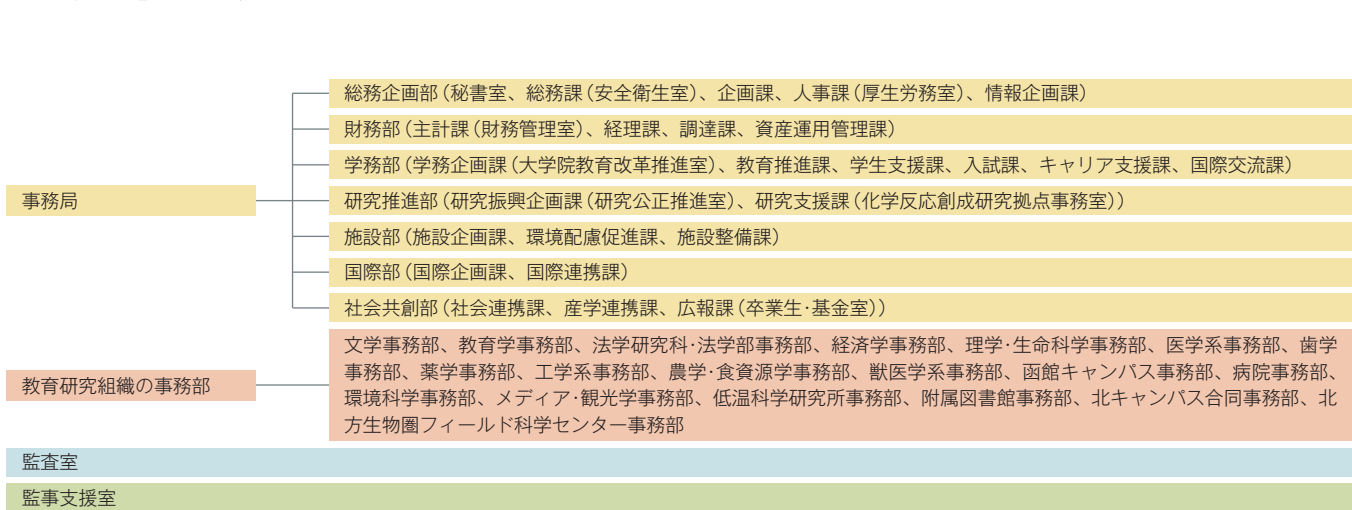
寄附講座・公開講座等の
実施状況

全学的な教育研究体制

キャンパス

事務組織図

2022年4月1日現在



役員等・経営協議会委員・教育研究評議会評議員

2022年4月1日現在

北海道大学役員	
総長	寶 金 清 博
理事・副学長	山 口 淳 二
理事・副学長	横 田 篤 篤
理事・副学長	吉 見 宏 宏
理事・副学長	増 田 隆 夫
理事・副学長	山 本 文 彦
理 事	菅 原 修 孝
理 事	行 松 泰 弘
理 事(非常勤)	梅 原 俊 志
監 事	高 橋 朋 江
監 事(非常勤)	石 川 信 行

副学長(理事以外の者)	
北海道大学病院長	渥 美 達 也
文学研究院教授	舩 和 順
理学研究院教授	石 森 浩 一郎
情報科学研究院長	長 谷 山 美 紀

副理事	
保健科学研究院副研究院長	矢 野 理 香
高等教育推進機構教授	高 橋 文 彰
特任教授	長 谷 川 康 弘
特任教授	阿 部 弘

総長補佐	
経済学研究院教授	岡 田 美 弥 子
北海道大学病院教授	佐 藤 典 宏
触媒科学研究所教授	福 岡 淳
理学研究院教授	松 王 政 浩
薬学研究院教授	松 永 茂 樹
工学研究院教授	富 岡 智
文学研究院教授	LA FAY Michelle Kay
工学研究院教授	藤 原 志 保
医学研究院教授	工 藤 亮
文学研究院教授	大 沼 進
触媒科学研究所教授	長 谷 川 淳 也
工学研究院准教授	金 小 純 一
工学研究院教授	小 澤 文 夫
農学研究院准教授	愛 甲 哲 也
理学研究院教授	秋 田 利 之
文学研究院教授	村 松 正 隆
理学研究院教授	黒 岩 麻 里
薬学研究院教授	小 川 美 香 子
公共政策学連携研究部教授	山 崎 幹 根
観光学高等研究センター教授	木 村 宏
農学研究院教授	岩 淵 和 則
工学研究院教授	長 谷 川 靖 哉
獣医学研究院教授	石 塚 真 由 美
先端生命科学研究院教授	出 村 誠

経営協議会委員	
学内委員	
総長	寶 金 清 博
理 事(副学長)	山 口 淳 二
理 事(副学長)	横 田 篤 篤
理 事(副学長)	吉 見 宏 宏
理 事(副学長)	増 田 隆 夫
理 事(副学長)	山 本 文 彦
理 事	菅 原 修 孝
理 事	行 松 泰 弘
理 事(非常勤)	梅 原 俊 志
病院長	渥 美 達 也

学外委員	
北海道医療大学学長	浅 香 正 博
一般社団法人北海道総合研究調査会理事長	五十嵐 智嘉子
北海道経済産業局長	池 山 成 俊
京都精華大学教授(元 京都精華大学学長)	SACKO Oussouby
京都大学名誉教授	河 合 江 理 子
中外製薬株式会社特別顧問	小 坂 達 朗

北海道大学校友会エール会長	杉 江 和 男
北海道副知事	土 屋 俊 亮
元 麒麟麦酒株式会社代表取締役社長	松 沢 幸 一
元 株式会社明治屋代表取締役社長	
北海道経済連合会会長	
北海道電力株式会社取締役会長	真 弓 明 彦
一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク共同代表理事	三 輪 敦 子
国立研究開発法人科学技術振興機構シニアフェロー	渡 辺 美 代 子

教育研究評議会評議員	
総長	寶 金 清 博
理事・副学長	山 口 淳 二
理事・副学長	横 田 篤 篤
理事・副学長	吉 見 宏 宏
理事・副学長	増 田 隆 夫
理 事	山 本 文 彦
理 事	菅 原 修 孝
理 事(非常勤)	行 松 泰 弘
大学院法学研究科長	梅 原 俊 志
大学院法学研究科(法学部)	小 名 木 明 一
大学院水産科学研究院長	尾 崎 一 郎
大学院水産科学研究科(水産学部)	都 木 靖 彰
大学院地球環境科学研究院長	藤 森 康 澄
大学院理学研究院長	網 塚 一 浩
大学院理学院長	永 井 隆 哉
大学院理学研究院(理学部)	藤 原 陸 雄
大学院薬学研究院長	齋 藤 章 雄
大学院薬学研究院(薬学部)	木 市 川 聡
大学院農学研究院長	西 邑 隆 徳
大学院農学研究院(農学部)	野 口 健 伸
大学院先端生命科学研究院長	門 出 健 次
大学院生命科学学院長	佐 藤 美 洋
大学院教育学研究院長	横 井 敏 郎
大学院教育学研究院(教育学部)	近 藤 健 一 郎
大学院メディア・コミュニケーション研究院長	河 合 靖 晴
大学院保健科学研究院長	伊 達 広 行
大学院工学研究院長	瀬 戸 口 剛 樹
大学院工学研究院(工学部)	幅 崎 浩 己
大学院総合化学院長	佐 藤 和 己
大学院経済学研究院長	久 保 田 肇
大学院経済学研究院(経済学部)	久 保 淳 司
大学院医学研究院長	久 保 鎮 次
大学院医学研究院(医学部)	岩 崎 倫 政
大学院歯学研究院長	網 塚 憲 生
大学院歯学研究院(歯学部)	八 若 保 孝
大学院獣医学研究院長	滝 口 清 喜
大学院獣医学院長	石 塚 真 由 美
大学院獣医学研究院(獣医学部)	迫 田 義 博
大学院医理工学院長	久 下 裕 司
大学院国際感染症学院長	堀 内 基 広
大学院国際食資源学院長	高 橋 昌 志
大学院文学研究院長	藤 田 健 弘
大学院文学研究院(文学部)	川 端 康 弘
大学院情報科学研究院長	長 谷 山 美 紀
大学院公共政策学教育部長	空 井 護
北海道大学病院長	渡 美 達 也
低温科学研究所長	渡 部 直 樹
電子科学研究所長	居 城 邦 治
遺伝子病制御研究所長	村 上 正 晃
触媒科学研究所長	清 水 研 一
スラブ・ユーラシア研究センター長	野 町 素 己
情報基盤センター長	棟 朝 雅 晴
人獣共通感染症国際共同研究所長	鈴木 定 彦
北方生物圏フィールド科学センター長	宮 下 和 士
外国語教育センター長	奥 聡

部局長等

2022年4月1日現在

運営組織	
技術支援本部長	行 松 泰 弘
情報環境推進本部長	寶 金 清 博
アドミッションセンター長	山 口 淳 二
創成研究機構長	増 田 隆 夫
高等教育推進機構長	山 口 淳 二
安全衛生本部長	菅 原 修 孝
大学力強化推進本部長	寶 金 清 博

産学・地域協働推進機構長	増 田 隆 夫
総合IR室長	長 谷 山 美 紀
国際連携機構長	横 田 篤 篤
サステナビリティ推進機構長	寶 金 清 博
AI・IT共生推進本部長	山 本 文 彦
大学院教育推進機構長	山 本 文 彦
ダイバーシティ・インクルージョン推進本部長	山 口 淳 二

大学院・学部		
法学研究科長・法学部長	小名木 明 宏	
水産科学院長・水産科学研究院長・水産学部長	都 木 靖 彰	
環境科学院長・地球環境科学研究院長	谷 本 陽 一	
理学院長	永 井 隆 哉	
理学研究院長・理学部長	網 塚 浩 浩	
薬学研究院長・薬学部長	木 原 章 雄	
農学院長・農学研究院長・農学部長	西 邑 隆 徳	
生命科学院長	佐 藤 美 洋	
先端生命科学研究院長	門 出 健 次	
教育学院長・教育学研究院長・教育学部長	横 井 敏 郎	
国際広報メディア・観光大学院長・メディア・コミュニケーション研究院長	河 合 靖 靖	
保健科学院長・保健科学研究院長	伊 達 広 行	
工学院長・工学研究院長・工学部長	瀬 戸 口 剛	
総合化学院長	佐 田 和 己	
経済大学院長・経済学研究院長・経済学部長	久 保 田 肇	
医学院長・医学研究院長・医学部長	畠 山 鎮 次	
歯学院長・歯学研究院長・歯学部長	網 塚 憲 生	
獣医学院長	石 塚 真 由 美	
獣医学研究院長・獣医学部長	滝 口 満 喜	
医理工学院長	久 下 裕 司	
国際感染症学院長	堀 内 基 広	
国際食資源学院長	高 橋 昌 志	
文学院長・文学研究院長・文学部長	藤 田 健 健	
情報科学院長・情報科学研究院長	長 谷 山 美 紀	
公共政策学教育部長・公共政策学連携研究部長	空 井 護	
北海道大学病院		
北海道大学病院長	渥 美 達 也	
附置研究所		
低温科学研究所長	渡 部 直 樹	
電子科学研究所長	居 城 邦 治	
遺伝子病制御研究所長	村 上 正 晃	
触媒科学研究所長	清 水 研 一	
人獣共通感染症国際共同研究所長	鈴 木 定 彦	
附属図書館		
館長	山 本 文 彦	
副館長・北図書館長	稲 葉 睦	
研究センター		
スラブ・ユーラシア研究センター長	野 町 素 己	
情報基盤センター長	棟 朝 雅 晴	
学内共同研究施設		
アイソトープ総合センター長	工 藤 與 亮	
量子集積エレクトロニクス研究センター長	本 久 順 一	
北方生物圏フィールド科学センター長	宮 下 和 士	
観光学高等研究センター長	山 村 高 淑	
アイヌ・先住民研究センター長	加 藤 博 文	
社会科学実験研究センター長	大 沼 進 進	
環境健康科学研究教育センター長	山 内 太 郎	
北極域研究センター長	深 田 康 康	
広域複合災害研究センター長	山 田 孝 孝	
人間知・脳・AI研究教育センター長	田 口 茂 茂	
学内共同教育施設		
脳科学研究教育センター長	田 中 真 樹	
外国語教育センター長	奥 真 聡	
数理・データサイエンス教育研究センター長	長 谷 山 美 紀	
特定業務施設		
総合博物館長	小 澤 丈 夫	
大学文書館長	山 本 文 彦	
学生相談総合センター長	安 達 潤 聡	
保健センター長	橋 野 聡 康	
埋蔵文化財調査センター長	小 杉 康 康	
附属教育研究施設		
法学研究科 高等法政教育研究センター長	辻 康 夫	
理学研究院		
地震火山研究観測センター長	青 山 裕 裕	
ゲノムダイナミクス研究センター長	小 川 宏 人	
原子核反応データベース研究開発センター長	木 村 真 明	
先端生命科学研究院 次世代物質生命科学研究センター長	門 出 健 次	
教育学研究 子ども発達臨床研究センター長	松 本 伊 智 朗	
工学研究 エネルギー・マテリアル融合領域研究センター長	渡 辺 精 一	
医学研究 動物実験施設長	渡 辺 雅 彦	
獣医学研究 動物病院長	片 桐 成 二	
公共政策学連携研究部 公共政策学研究センター長	岩 谷 將 將	
薬学部 薬用植物園長	脇 本 敏 幸	
水産学部		
練習船おしよ丸船長	亀 井 佳 彦	
練習船うしお丸船長	坂 岡 桂 一郎	
低温科学研究所 環オホーツク観測研究センター長	西 岡 純 純	
電子科学研究所		
グリーンナノテクノロジー研究センター長	松 尾 保 孝	
社会創造数学研究センター長	長 山 雅 晴	
遺伝子病制御研究所		
動物実験施設長	清 野 研 一郎	
感染症研究センター長	園 下 将 大	

触媒科学研究所 触媒連携研究センター長	中 野 環	
国際連携研究教育局		
国際連携研究教育局長	寶 金 清 博	
事務組織		
事務局長		
総務企画部長	奥 山 敏 之	
総務企画部次長	平 粒 松 来	之 亨
総務企画部次長	乾 來 英 雄	
秘書室長	乾 優 紀 子	
総務課長(兼務)	平 松 亨	
安全衛生室長	里 真 理 子	
企画課長	寺 野 印 成	
人事課長(兼務)	粒 來 英 雄	
厚生労務室長	桃 山 光 樹	
情報企画課長	対 馬 秀 樹	
財務部長	加 賀 谷 次 朗	
主計課長	宮 倉 尚 之	
財務管理室長	小 幡 裕 幸	
経理課長	小 眞 野 茂	
調達課長	菅 野 育 哉	
資産運用管理課長	島 谷 知 克	
学務部長	西 田 公 明	
学務企画課長	平 田 利 直	
大学院教育改革推進室長	大 野 裕 司	
教育推進課長	的 野 康 浩	
学生支援課長	宮 本 透	
入試課長	山 家 美 智	
キャリア支援課長	菅 田 勝 美	
国際交流課長	菅 原 暢 廣	
研究推進部長	原 田 直 介	
研究振興企画課長	津 内 佑 成	
研究公正推進室長	阿 部 成 剛	
研究支援課長	吉 田 年 好	
化学反応創成研究拠点事務室長	佐 々 木 美 美	
施設部長	濱 田 智 史	
施設企画課長	佐 々 木 匡 史	
環境配慮促進課長	成 山 芳 謙	
施設整備課長	津 山 道 一	
国際部長	本 村 宏 明	
国際企画課長	佐 藤 哲 也	
国際連携課長	馬 淵 奈 弘	
社会共創部長事務取扱	長 谷 川 康 弘	
社会連携課長	辻 賢 司	
産学連携課長	浅 野 智 裕	
広報課長	菊 池 洋 美	
卒業生・基金室長(兼務)	菊 池 洋 美	
監査室長	吉 田 茂 茂	
監事支援室長(兼務)	吉 田 茂 尊	
文学事務部事務長	佐 々 木 丸 尊	
教育学事務部事務長	及 川 晃 男	
法学研究科・法学部事務長	横 岡 政 紀	
経済学事務部事務長	花 島 純 行	
理学・生命科学事務部部長(事務課長 兼務)	金 川 眞 次	
医学系事務部長	入 澤 秀 嘉	
総務課長	小 澤 嘉 美	
会計課長	小 笠 原 美 幸	
保健科学研究院事務課長	蟹 口 宏 勝	
歯学事務部事務長	高 橋 貴 代 美	
薬学事務部事務長	奴 賀 修 修	
工学系事務部長	佐 々 木 博 之	
総務課長	原 田 由 美	
経理課長	原 松 橋 和 哉	
教務課長	土 本 光 一	
情報科学研究院事務課長	紙 丸 雅 實	
農学・食資源学事務部事務長	鴨 志 田 剛 則	
獣医学系事務部事務長	羽 澤 明 文	
函館キャンパス事務部事務長	佐 藤 哲 敏	
病院事務部次長	西 村 敏 信	
総務課長	壬 生 篤 志	
人事労務管理室長	船 曳 康 徳	
経営企画課長	小 守 林 訓 学	
管理課長	八 木 澤 学	
医事課長	折 田 朋 子	
医療支援課長	井 上 義 彦	
環境科学事務部事務長	岡 野 浩 賢	
メディア・観光学事務部事務長	馬 場 勝 浩	
低温科学研究所事務長	伊 藤 美 香	
附属図書館事務部長	鈴 木 秀 樹	
管理課長	樋 口 秀 樹	
利用支援課長	米 谷 昌 樹	
研究支援課長	米 澤 和 往	
北キャンパス合同事務部事務長	中 田 雄 二	
北方生物圏フィールド科学センター事務長	岩 佐 俊 明	

ノーベル賞

鈴木 章 (ユニバーシティプロフェッサー・名誉教授)

2010年 ノーベル化学賞受賞



The Nobel Prize® and the Nobel Prize® medal design mark are registered trademarks of the Nobel Foundation.

- 有機ホウ素化合物のクロスカップリング反応に関する研究による受賞
- 受賞対象となった鈴木カップリング反応は、極めて実用性の高い合成反応として世界中で広く認知
- 医薬品や液晶材料など、高い機能をもつ有機分子の合成に広く利用

ノーベル賞

リスト・ベンジャミン (ユニバーシティプロフェッサー・特任教授/マックス・プランク石炭研究所教授)

2021年 ノーベル化学賞受賞



- 不斉有機触媒の開発に関する研究による受賞
- プロリンを用いた不斉アルドール反応は、不斉有機触媒の分野の草分け的研究として世界中で広く認知
- より安定・安価で環境にもやさしい有機分子触媒は、今では医薬品などの合成にも広く利用



文化勲章

受賞者	受賞年	受賞時の職名	主な業績
宮部金吾	1946年	名誉教授	植物学全般に関する研究
鈴木章	2010年	名誉教授	有機ホウ素化合物のクロスカップリング反応に関する研究

文化功労者

受賞者	受賞年	受賞時の職名	主な業績
松村松年	1954年	名誉教授	昆虫学全般に関する研究
伊藤誠哉	1959年	名誉教授	作物病害と菌類に関する植物病理学研究
坂村徹	1976年	名誉教授	小麦の染色体に関する植物細胞学やカビ類の植物生理学に関する研究
高橋萬右衛門	1995年	名誉教授	イネの遺伝に関する研究
鈴木章	2010年	名誉教授	有機ホウ素化合物のクロスカップリング反応に関する研究
山岸俊男	2013年	名誉教授	社会的ジレンマや信頼の研究
喜田宏	2017年	名誉教授	新型インフルエンザ出現メカニズムの解明
宇井理生	2018年	名誉教授	GTP結合タンパク質の発見と機能解明

日本学士院賞

受賞者	受賞年	受賞時の職名	受賞理由
今裕	1934年 ※帝国学士院賞	医学部 教授	細胞の銀反応の研究
功力金二郎	1939年 ※帝国学士院賞	理学部 教授	抽象空間の研究
堀内壽郎	1940年 ※帝国学士院恩賜賞	理学部 教授	化学反応速度論の理論及実験的研究
中谷宇吉郎	1941年 ※帝国学士院賞	理学部 教授	雪に関する研究
茅誠司	1942年 ※帝国学士院賞	理学部 教授	強磁性結晶体の磁気的研究
鈴木醇	1949年	理学部 教授	超塩基性岩類並びにこれに附随する鉱床に関する研究
牧野佐二郎	1958年	理学部 教授	動物染色体の研究
福士貞吉	1958年	農学部 教授	植物ウイルス病の虫媒伝染に関する研究
長尾正人	1965年	農学部 教授	イネにおける十二連鎖群の研究
高橋萬右衛門	1965年	農学部 助教授	イネにおける十二連鎖群の研究
藤田宏達	1971年	文学部 教授	原始浄土思想の研究
石塚喜明	1975年	名誉教授	水稻の栄養生理学的研究とその応用(共同研究)
田中明	1975年	農学部 教授	水稻の栄養生理学的研究とその応用(共同研究)
横山泉	1981年	理学部 教授	重力異常の分布からみた火山の構造
伴義雄	1984年	薬学部 教授	インドールアルカロイドの合成研究
四方英四郎	1986年	農学部 教授	植物ウイルス及びウイロイドの研究
木下俊郎	1993年	農学部 教授	高等植物における細胞質と核の相互作用の解析および作物育種への応用
大塚榮子	1996年	薬学部 教授	核酸の合成と機能に関する研究—合成ras遺伝子関連の研究を中心として(共同研究)
松野太郎	1997年	地球環境科学研究科 教授	中間圏・成層圏大気物理学の解明
鈴木章	2004年	名誉教授	パラジウム触媒を活用する新有機合成反応の研究(共同研究)
喜田宏	2005年	獣医学研究科 教授	インフルエンザ制圧のための基礎的研究—家禽、家畜およびヒトの新型インフルエンザウイルスの出現機構の解明と抗体によるウイルス感染性中和の分子的基盤の確立—
田口正樹	2021年	名誉教授	ドイツ中世後期の国王裁判権と地域における紛争解決に関する研究
白土博樹	2022年	医学研究院 教授	がんの動体追跡放射線治療・粒子線治療に関する医理工学研究

研究科・専攻・講座、附属施設

1 研究科	2 専攻・5 講座・1 協力講座、1 附属施設
-------	-------------------------

学院・専攻・講座・コース

19 学院	43 専攻・135 講座・9 連携講座・5 連携分野・35 コース・11 ユニット
-------	---

教育部・専攻・コース

1 教育部	1 専攻・3 コース
-------	------------

研究院・部門・分野、附属施設

16 研究院	48 部門・164 分野・19 寄附分野・2 連携分野・5 産業創出分野、8 附属施設
--------	---

連携研究部・部門・分野、附属施設

1 連携研究部	1 部門・1 分野、1 附属施設
---------	------------------

学部・学科・課程・学科目・コース・分野、附属施設

12 学部	29 学科・2 課程・78 学科目・15 コース・4 分野、4 附属施設
-------	--------------------------------------

○は協力講座、◇は連携講座、※は寄附分野、() は連携分野、◎は産業創出分野を示す

法学研究科・法学部

Graduate School of Law/School of Law



本研究科は、法学及び政治学における高度な教育研究と先端的・学際的な教育研究を行うことにより、多角的な研究によって得られた知見に基づき、幅広い分野で活躍する高度な専門性を有する知的職業人の養成を目標とする。学部は、法学・政治学の基礎的素養及び豊かな人間性、知的感性を備え、広く社会の発展を支える人材の育成を目標とする。

法学研究科 2 専攻・5 講座・1 協力講座、1 附属施設

専攻	講座
法学政治学	現代法、基礎法、政治学、○高等法政
法律実務	民事法、公法

附属施設
高等法政教育研究センター

法学部 1 課程・6 学科目

課程	学科目
法学課程	公法、民事法、刑事法、社会法、基礎法学、政治学

水産科学院・水産科学研究院・水産学部

Graduate School of Fisheries Sciences/
Faculty of Fisheries Sciences/School of Fisheries Sciences

「人間の共有財産である海洋・水圏の生物資源の持続的生産とそれらの効率的利用、さらにそれらを保証する海洋生態系の保全の基礎と応用を総合的に考究する」ことを教育研究理念とし、国際社会、地域社会、産業社会からの共通の要請である地球環境問題、資源問題、食糧問題等を考え、創造的で意欲ある人材の養成を目的としている。そのために必要な高い専門性、広い視野と高い倫理観を養うことができるカリキュラム編成を特徴とする。

水産科学院 2専攻・12講座

専攻	講座
海洋生物資源科学	海洋生物学、資源生物学、海洋環境科学、海洋計測学、水産工学、海洋共生学
海洋応用生命科学	増殖生物学、育種生物学、海洋生物工学、生物資源化学、水産食品科学、水産資源開発工学

水産科学研究院 2部門・12分野

部門	分野
海洋生物資源科学	海洋生物学、資源生物学、海洋環境科学、海洋計測学、水産工学、海洋共生学
海洋応用生命科学	増殖生物学、育種生物学、海洋生物工学、生物資源化学、水産食品科学、水産資源開発工学

水産学部 4学科・4学科目、2附属施設

学科	学科目
海洋生物科学科	海洋生物科学
海洋資源科学科	海洋資源科学
増殖生命科学科	増殖生命科学
資源機能化学科	資源機能化学

附属施設

練習船おしよ丸
練習船うしお丸

環境科学院・地球環境科学研究院

Graduate School of Environmental Science/Faculty of Environmental Earth Science



地球科学、生物学、物質科学などの自然科学に基礎をおき、地球規模の環境問題の解明と解決を目指す教育研究を行うとともに、これらの課題に取り組む研究者及び高度専門職業人を養成することを目的とする。基礎学力に優れた学生を広く受け入れ、学際的な環境科学教育を行っている。総論、基礎論、特論、大学院共通講義、南極学カリキュラムなど多様なカリキュラムを用意し、本学全体の環境教育にも主導的な役割を果たしている。

環境科学院 4専攻・20コース

専攻	コース
環境起学	人間・生態システム、環境適応科学、実践環境科学、国際環境保全
地球圏科学	生物地球化学、大気海洋物理学・気候力学、雪氷・寒冷圏科学
生物圏科学	多様性生物学、生態遺伝学、分子生物学、植物生態学、動物生態学、海洋生物生産学、水圏生物学、森林圏フィールド科学、耕地圏科学
環境物質科学	生体物質科学、ナノ環境材料、光電子科学、環境触媒化学

地球環境科学研究院 4部門・15分野

部門	分野
統合環境科学	自然環境保全、環境地理学、環境適応科学、実践・地球環境科学
地球圏科学	環境変動解析学、化学物質循環学、大気海洋物理学、気候力学
環境生物科学	陸域生態学、生態保全学、生態遺伝学、環境分子生物学
物質機能科学	生体物質科学、機能材料化学、分子材料化学

理学院・理学研究院・理学部 Graduate School of Science/Faculty of Science/School of Science



自然がどのように創り上げられ、どのような作用をしているか、人間は絶えずそれを知りたい、理解したいという願望を抱いている。この願望に根ざして築き上げられてきた学問を理学院・理学研究院・理学部は担い、以下の人材を育成することを教育目標とする。

1. 事象の本質を見極め、またその背後にある法則性を確立できる人材の育成。(アイデアを普遍的な問題として理論化し、実証していく能力を養成する。物事をモデル化してとらえることができ、それを論理的かつ感覚的に表現できる能力を養成する。)
2. 学問研究の成果を論理的に表現して他人を論理的に説得し、リーダーシップをとって社会貢献できる人材の育成。

理学院 4専攻・10講座

専攻	講座
数学	数学
物性物理学	量子機能物理学、凝縮系物理学
宇宙物理学	素粒子・原子核・宇宙物理学、宇宙惑星科学
自然科学	地球惑星ダイナミクス、地球惑星システム科学、多様性生物学、科学コミュニケーション、地震学火山学

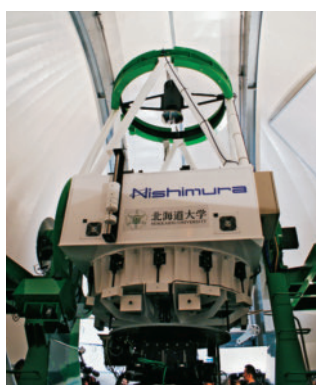


理学研究院 5部門・15分野・1寄附分野、3附属施設

部門	分野
数学	数学
化学	物理化学、無機・分析化学、有機・生命化学
物理学	量子物理学、電子物性物理学、凝縮系物理学、非線形物理学
地球惑星科学	宇宙惑星科学、地球惑星ダイナミクス、地球惑星システム科学、※北海道気象予測技術開発(北海道気象技術センター)
生物科学	形態機能学、行動神経生物学、生殖発生生物学、多様性生物学

附属施設

地震火山研究観測センター
ゲノムダイナミクス研究センター
原子核反応データベース研究開発センター



理学部 5学科・6学科目

学科	学科目
数学科	数学
物理学科	物理学
化学科	化学
生物科学科	生物学、高分子機能学
地球惑星科学科	地球惑星科学

薬学研究院・薬学部 Faculty of Pharmaceutical Sciences/School of Pharmaceutical Sciences and Pharmacy



「画期的医薬品の創製と適正な臨床適用」に向けて有為な人材(研究者や指導的薬剤師)の養成を目指す。そのために基礎薬学、生命科学、創薬科学、並びに医療薬学から成るファーマサイエンスに関する教育と研究を展開している。

薬学研究院 2部門・3分野・1寄附分野・2産業創出分野

部門	分野
創薬科学	生体機能科学、創薬化学、※認知症先進予防・解析学分野
医療薬学	医療薬学、◎バイオDDS実用化分野、◎がん治療における価値創造分野

薬学部 2学科・2学科目、1附属施設

学科	学科目
薬科学科	薬科学
薬学科	薬学

附属施設

薬用植物園



農学院・農学研究院・農学部

Graduate School of Agriculture/Research Faculty of Agriculture/School of Agriculture



人類が直面する地球レベルの多様な課題に対応する新たな農学体系の創設と再構築を目指した研究を行うとともに、人類が持続的に生存するために必要な緊急課題解決までの全領域をカバーする教育体制を整備し、地域的並びに世界的視点からの判断能力を有する研究者及び高度専門職業人を養成する。

農学院 1専攻・3コース(11ユニット)

専攻	コース(ユニット)
農学	生産フロンティア(農業植物科学、作物生産生物学、農業経済学、生物生産工学)
	生命フロンティア(畜産科学、応用分子生物学、応用生物化学)
	環境フロンティア(生態・体系学、地域環境学、森林資源利用学、森林・緑地管理学)



農学研究院 2部門・9分野

部門	分野
基盤研究	生物資源科学、応用生命科学、生物機能化学、森林科学、畜産科学、生物環境工学、農業経済学
連携研究	連携推進、融合研究



農学部 7学科・7学科目

学科	学科目
生物資源科学科	生物資源科学
応用生命科学科	応用生命科学
生物機能化学科	生物機能化学
森林科学科	森林科学
畜産科学科	畜産科学
生物環境工学科	生物環境工学
農業経済学科	農業経済学

生命科学院

Graduate School of Life Science



ヒトゲノムを含めて、多くの生物の遺伝情報を利用した基礎及び応用研究が飛躍的に進展している生命科学分野において、我が国のさらなる発展に貢献できる優れた人材の養成を目指し、新しい試みを導入した教育システムによる大学院教育を展開している。

生命科学院 3専攻・5講座

専攻	講座
生命科学	生命融合科学、生命システム科学、生命医薬科学
ソフトマター	ソフトマター
臨床薬学	臨床薬学

先端生命科学研究院

Faculty of Advanced Life Science



生命科学は基礎領域から応用領域に至る、多彩な研究分野を含む大きな科学である。関連分野(生物学、物理学、化学、数学、医学、薬科学)の専門研究者たちが集まり、新しい生命融合科学の創成を行っている。同時に、附属次世代物質生命科学センターでは、COI-STREAMや産業創出講座による産学連携研究による世界トップレベルの国際連携研究、先端研究基盤共用促進事業等による研究開発基盤の維持・高度化を進め、次世代の高度技術人材育成を行っている。

先端生命科学研究院 2部門・13分野・1連携分野、1附属施設

部門	分野
先端融合科学研究	X線構造生物学、生命分子科学、ソフト&ウェットマターの科学、組織構築科学、細胞ダイナミクス科学、新薬探索研究、化学生物学、〔分子送達科学〕
生命機能科学研究	細胞生物学、分子細胞生物学、生物情報解析科学研究、細胞機能科学、糖鎖生物学、発生工学

附属施設

次世代物質生命科学センター



教育学院・教育学研究院・教育学部

Graduate School of Education/Faculty of Education/School of Education



新しい教育理念とシステムの構築や多様な教育問題の解決を目指す基礎的及び実践的な研究を推し進めていくことができる研究者の育成、高度な知識とスキルを有する職業人の育成、豊かな人間性を備え国際的な視野に立った教育課題に的確に対応し得る人間を育成することを目的とする。

教育学院 1専攻・8講座

専攻	講座
教育学	学校教育論、生涯学習論、教育社会論、教育心理学、臨床心理学、健康教育論、身体教育論、多元文化教育論



教育学研究院 1部門・4分野、1附属施設・3部門

部門	分野
教育学	教育社会科学、教育基礎論、教育心理学、健康体育学

附属施設	部門
子ども発達臨床研究センター	子ども臨床研究、子ども発達支援研究、教職高度化研究

教育学部 1学科・4学科目

学科	学科目
教育学科	教育社会科学、教育基礎論、教育心理学、健康体育学

国際広報メディア・観光学院・メディア・コミュニケーション研究院

Graduate School of International Media, Communication, and Tourism Studies/
Research Faculty of Media and Communication

広報・ジャーナリズム、メディア文化、言語コミュニケーション及び観光創造に関する分野において、現代社会の変化と課題に柔軟かつ的確に対応でき、地域社会及び国際社会において活躍できる専門的能力を備えた研究者、職業人の養成を目指している。

国際広報メディア・観光学院 1専攻・9講座・1連携講座

専攻	講座
国際広報メディア・観光学	公共ジャーナリズム論、国際広報論、メディア文化論、言語コミュニケーション論、◇国際広報戦略論、観光地域経営論、国際観光開発論、観光文化論、交流共創論、現代日本学



メディア・コミュニケーション研究院 2部門・9分野・1連携分野

部門	分野
メディア・コミュニケーション	公共伝達論、ジャーナリズム論、国際広報論、メディア文化論、言語伝達論、言語習得論、国際地域文化論、多元文化教育論、〔国際広報戦略論〕
現代日本学	現代日本学

保健科学院・保健科学研究院

Graduate School of Health Sciences/Faculty of Health Sciences



高度医療への社会的ニーズに応えるため、最先端の知識と実践技術を有し、次世代の保健科学を担う高度医療専門職の育成、及び専門分野を超えて世界の保健科学研究をリードする研究者の育成を目的とする。同時に、地域の医療水準の向上、健康増進に寄与するとともに、我が国の保健科学領域の高等教育及び学術研究水準の向上と発展を目指している。

保健科学院 1専攻・2コース

専攻	コース
保健科学	保健科学、看護学

保健科学研究院 1部門・6分野・4寄附分野

部門	分野
保健科学	基盤看護学、創成看護学、医用生体理工学、病態解析学、リハビリテーション科学、健康科学、※食品機能解析・保健栄養学(渡辺オイスター)、※生体応答制御医学、※高次脳機能創発、※データヘルスイノベーション



工学院・工学研究院・工学部

Graduate School of Engineering/Faculty of Engineering/School of Engineering



学問の継承及び創造を通じて、工学分野の基礎的素養及び高度な専門的素養を身に付けた、国際化、科学技術の高度化、学際化等に対応できる多様な知識、判断力及び実務対応能力を持つ人材の育成を目的とする。

工学院 13専攻・31講座・6連携講座

専攻	講座
応用物理学	量子物性工学、凝縮系物理学、光波動量子物理学、固体量子物理学
材料科学	エコマテリアル、マテリアル設計、エネルギー材料、エネルギー変換マテリアル、◇マテリアル製造、◇フロンティアエネルギー工学
機械宇宙工学	宇宙システム工学、機械フロンティア工学、◇宇宙探査工学
人間機械システムデザイン	バイオ・ロボティクス、マイクロシステム、◇バイオメディカルシミュレーション
エネルギー環境システム	エネルギー生産・環境システム、応用エネルギーシステム
量子理工学	応用量子ビーム工学、プラズマ理工学、ナノ材料科学、◇物質構造科学、◇核融合科学
環境フィールド工学	水圏環境工学、防災地盤工学
北方圏環境政策工学	寒冷地建設工学、技術環境政策学
建築都市空間デザイン	空間防災、空間計画
空間性能システム	空間性能、建築システム
環境創生工学	水代謝システム、環境管理工学
環境循環システム	資源循環工学、地圏循環工学
共同資源工学	国際資源環境工学、国際戦略資源工学

工学研究院 9部門・28分野・4寄附分野、1附属施設

部門	分野
応用物理学	量子物性工学、凝縮系物理学、光波動量子物理学、固体量子物理学
応用化学	有機工業化学、化学工学、生物工学、分子機能化学、機能材料化学、無機材料化学、※地域元素資源利活用工学
材料科学	エコマテリアル、マテリアル設計、エネルギー材料
機械・宇宙航空工学	機械材料システム、人間機械システム、熱流体システム、宇宙航空システム
応用量子科学	物質量子工学、量子生命工学、量子エネルギー工学、※原子力支援社会基盤技術
土木工学	社会基盤マネジメント、先端社会システム、自然災害適応
建築都市	空間デザイン、先端空間性能
環境工学	環境工学、※バイオマスコミュニティプランニング
環境循環システム	資源循環工学、地圏循環工学、※資源環境修復学

附属施設

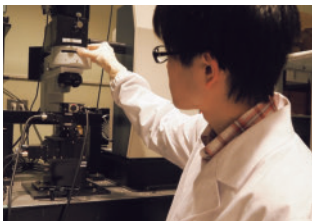
エネルギー・マテリアル融合領域研究センター

工学部 4学科・15コース

学科	コース
応用理工学学科	応用物理学、応用化学、応用マテリアル工学
情報エレクトロニクス学科	情報理工学、電気電子工学、生体情報、メディアネットワーク、電気制御システム
機械知能工学科	機械情報、機械システム
環境社会工学科	社会基盤学、国土政策学、建築都市、環境工学、資源循環システム

総合化学院

Graduate School of Chemical Sciences and Engineering



社会の要請に柔軟に対応することが可能な技術者や研究者の育成を目指し、基盤的化学の確実な理解のための共通教育と、企業での技術者・研究者、公的機関の研究者、さらには大学などの教育者など、学生の求めるキャリアパスに応じた展開的教育を理・工に所属する教員が相補的に連携しながら行い、社会の要請に応える人材を養成する。

総合化学院 1専攻・3コース(12講座)

専攻	コース(講座)
総合化学	分子化学(反応解析学、反応制御学、触媒反応学、プロセス工学) 物質化学(分子物質化学、無機物質化学、先端物質化学、機能物質化学) 生物化学(生命分子化学、生物機能化学、細胞生物学、分子医学)

○は協力講座、◇は連携講座、※は寄附分野、()は連携分野、◎は産業創出分野を示す

経済学院・経済学研究院・経済学部

Faculty of Economics and Business/Graduate School of Economics and Business/
School of Economics and Business

「深い愛情と高い使命感をもって革新と創造に取り組む指導的人材の育成」、「専門知識と社会倫理を備え社会的課題に立ち向う自律的知性の涵養」、加えて学院では「世界に伍した経済学・経営学の研究を担える人材の育成」、「経済学と経営学の融合及び近接科学との連携による高度専門職業人の育成」を教育目標とし、目的意識をもった学生に適したカリキュラムの編成を特徴とする。

経済学院 2専攻・5講座

専攻	講座
現代経済経営	経済分析、社会経済・歴史分析、経済政策、経営分析
会計情報	会計情報

経済学研究院 2部門・5分野

部門	分野
現代経済経営	経済分析、社会経済・歴史分析、経済政策、経営分析
会計情報	会計情報

経済学部 2学科・5学科目

学科	学科目
経済学科	経済理論、経済史、応用経済学
経営学科	経営学、経営情報

医学院・医学研究院・医学部

Graduate School of Medicine/Faculty of Medicine/School of Medicine



医学院の教育理念は「高い倫理観と豊かな人間性の涵養と高度な医学知識と技術の習得」であり、医学部は「医を支える高い倫理観と豊かな人間性の陶冶」、「高度な医学知識と技術の修得及びそれを維持する生涯学習を続ける態度・習慣の修得」、「医療チームにおいて他の専門職と連携し、高度医療を行う協調性の修得」を教育理念としている。

医学院 2専攻・19講座・1連携講座

専攻	講座
医学	生化学、解剖学、生理学、薬理学、病理学、微生物学免疫学、社会医学、内科学、放射線科学、外科学、侵襲制御医学、機能再生医学、生殖・発達医学、感覚器病学、神経病態学、医生物学、免疫科学、癌病態学、◇臨床系連携
医科学	医科学

医学研究院 7部門・16分野・9寄附分野・3産業創出分野、1附属施設

部門	分野
生理系	生化学、解剖学、生理学、薬理学
病理系	病理学、微生物学免疫学
社会医学系	社会医学
内科系	内科学、放射線科学、※呼吸・循環インノベティブリサーチ、※心不全低侵襲先進治療学、※心不全遠隔医療開発学、※心不全医薬連携開発学、※先端画像診断開発学
外科系	外科学、侵襲制御医学、※移植外科学、※泌尿器科総合地域医療システム学
専門医学系	機能再生医学、生殖・発達医学、感覚器病学、神経病態学、※脊椎・脊髄先端医学、※眼循環代謝学、◎運動器先端医学、◎膝関節機能再生、◎バイオマテリアル機能再生
連携医学系	医生物学

附属施設

動物実験施設

医学部 2学科・31学科目、1附属施設

学科	学科目
医学科	解剖学、生理学、生化学、薬理学、病理学、微生物学、免疫学、法医学、衛生学、公衆衛生学、内科学、外科学、整形外科、産婦人科学、眼科学、精神医学、小児科学、皮膚科学、形成外科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科学、放射線医学・核医学、麻酔学、脳神経外科学、救急医学、リハビリテーション医学
保健学科	看護学、放射線技術科学、検査技術科学、理学療法学、作業療法学

附属施設

北海道大学病院

(歯学部との共用附属施設)

歯学院・歯学研究院・歯学部

Graduate School of Dental Medicine/Faculty of Dental Medicine/School of Dental Medicine



口腔の健康管理を通じて全身の健康の保持増進を図るため、歯学及び歯科医療に関する専門的な知識及び技術を教授することにより、医療従事者としての職業倫理、豊かな人間性及び課題探求心を備えた歯科医師、歯学教育者及び研究者を育成することを目的とする。歯科医師としての豊かな教養と知性の涵養のため、小グループ制の「全人教育演習」「臨床体験実習」並びに、問題解決能力養成のための「フロンティア科目」など特徴ある教育内容を展開している。

歯学院 1専攻・4講座・1連携講座

専攻	講座
口腔医学	口腔機能学、口腔健康科学、口腔病態学、顎機能医療学、◇長寿口腔科学



歯学研究院 1部門・3分野

部門	分野
口腔医学	口腔機能学、口腔健康科学、口腔病態学

歯学部 1学科・9学科目、1附属施設

学科	学科目
歯学科	生体構造解析学、生体機能解析学、病因病態解析学、歯質・歯周再建学、咬合再建学、口腔診断内科学、口腔顎顔面外科学、発育加齢歯科学、口腔健康科学

附属施設

北海道大学病院 (医学部との共用附属施設)

獣医学院・獣医学研究院・獣医学部

Graduate School of Veterinary Medicine/
Faculty of Veterinary Medicine/School of Veterinary Medicine

動物の健康の保持増進、公衆衛生の向上、食の安全及び生命科学の発展に寄与するために、獣医学に関する専門的な知識及び技術を教授することにより、豊かな人間性、高い生命倫理観及び国際的視野を備えた獣医師及び獣医学に関する創造性を有する研究者の養成を目指している。また、2012年度から獣医学部は帯広畜産大学との共同獣医学課程を編成し、北海道というフィールドを生かした実践的かつ先進的な獣医学教育を行っている。

獣医学院 1専攻・4講座

専攻	講座
獣医学	基礎獣医学、応用獣医学、環境獣医学、臨床獣医学



獣医学研究院 1部門・6分野、1附属施設

部門	分野
獣医学	基礎獣医学、応用獣医学、環境獣医学、臨床獣医学、病原制御学、衛生学

附属施設

動物病院

獣医学部 1課程・4分野

課程	分野
共同獣医学	基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学

医理工学院

Graduate School of Biomedical Science and Engineering



医理工学院は、理学及び工学分野の発展を医学分野に応用する異分野融合の新たな学問分野「医理工学」の教育研究を行うことを目的とする。高度な専門性、広い視野及び高い倫理観を備えた人類社会の持続的発展に貢献し、卓越した知識と高度な研究能力を備え、医療技術及び医療機器の開発等の諸課題の高度化及び国際化に対応することができる人材育成を教育目標としている。

医理工学院 1専攻・2コース(4講座)

専攻	コース(講座)
医理工学	量子医理工学(粒子線医理工学、放射線医理工学)、分子医理工学(画像医理工学、生物医理工学)

国際感染症学院

Graduate School of Infectious Diseases



エボラ出血熱のアウトブレイク等、新興・再興感染症による社会、経済への脅威は益々増大し、感染症の研究とその対策にあたる専門家養成の要望が国内外において一層高まっている。国際感染症学院では、このような社会的要請に応えるため、感染症学に関する広い視野、柔軟な発想力及び総合的な判断力を有し、我が国のみならず世界の感染症学の発展並びに感染症の制圧に寄与できる実践的な能力と指導力を備えた人材の育成を目指している。

国際感染症学院 1専攻

専攻
感染症学

国際食資源学院 Graduate School of Global Food Resources



世界が直面する多様かつ重層的な食資源問題を理解し、具体的な解決策を提示・実践できる国際的リーダーを養成する。そのため、先端的、学際的かつ総合的な文理融合型の教育研究を実施し、世界の食資源問題を俯瞰的にとらえることのできる幅広い知識と、問題解決を実践できる専門性を兼ね備えた人材を輩出することを教育目標とする。

国際食資源学院 1専攻・1講座

専攻	講座
国際食資源学	国際食資源学

文学院・文学研究院・文学部 Graduate School of Humanities and Human Sciences/Faculty of Humanities and Human Sciences/School of Humanities and Human Sciences



人間と社会に対する認識を深めるために、人文社会科学の諸領域における高度な研究を行うとともに、人類が直面している複雑で多面的な課題に立ち向かうことができる人材の育成を目指している。文献・資料の解釈からフィールドワーク・実験まで、幅広い人文社会科学諸領域をカバーする教育体制を整備し、社会のニーズに応え未来社会を担う人材を育成する。

文学院 2専攻・11講座

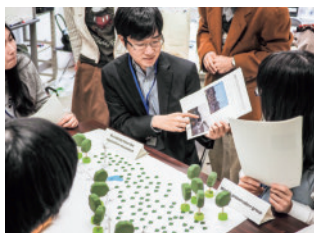
専攻	講座
人文学	哲学宗教学、歴史学、文化多様性論、表現文化論、言語科学、スラブ・ユーラシア学、アイヌ・先住民学
人間科学	心理学、行動科学、社会学、地域科学

文学研究院 2部門・9分野

部門	分野
人文学	哲学宗教学、歴史学、文化多様性論、表現文化論、言語科学
人間科学	心理学、行動科学、社会学、地域科学

文学部 1学科・4学科目

学科	学科目
人文科学科	哲学文化学、歴史学人類学、言語文学、人間科学



情報科学院・情報科学研究院 Graduate School/Faculty of Information Science and Technology



社会の発展に貢献し、次世代の知識基盤社会の進展を図ることを教育研究の理念とし、情報科学の学理の継承及び創造を通じて、幅広く深い学識を有し、国際性を備えた技術者を育成するとともに、自立して研究開発を行うことができる創造力の豊かな研究者を養成することを目的とする。

情報科学院 1専攻・5コース・5連携分野

専攻	コース	連携分野
情報科学	情報理工学	—
	情報エレクトロニクス	—
	生体情報工学	[先端医学工学分野]
	メディアネットワーク	[ユビキタスネットワーク学分野]、[メディアネットワーク社会学分野]
	システム情報科学	[リモートセンシング情報学分野]、[デジタルヒューマン情報学分野]

情報科学研究院 5部門・11分野

部門	分野
情報理工学	複合情報工学、知識ソフトウェア科学、数理科学
情報エレクトロニクス	集積システム、先端エレクトロニクス
生命人間情報科学	バイオインフォマティクス、バイオエンジニアリング
メディアネットワーク	情報メディア学、情報通信システム学
システム情報科学	システム創成学、システム融合学

公共政策学教育部・公共政策学連携研究部 Graduate School of Public Policy/Faculty of Public Policy



少人数制を基本とした教育により、複合的かつ総合的な視点をもって時代に即した政策立案ができるプロフェッショナル(国家・地方公務員、民間企業、シンクタンク、NPO等)の養成を目的とする。

法学研究科、経済学院、工学院の連携により文理を融合し、研究者だけでなく、現場経験が豊富な実務家の視点も活かされている。理論と実践、専門性と総合性、グローバルとローカル(グローバル)の対話の中から、現代の課題に対応できる実践力を磨くことができる。

公共政策学教育部 1専攻・3コース

専攻	コース
公共政策学	公共経営、国際政策、技術政策

公共政策学連携研究部 1部門・1分野、1附属施設

部門	分野
公共政策学	公共政策学

附属施設
公共政策学研究センター



附置研究所

2022年4月1日現在

低温科学研究所

(共同利用・共同研究拠点)

Institute of Low
Temperature Science

設置目的

寒冷圏及び低温条件の下における科学的現象に関する学理及びその応用の研究を行い、かつ、国立大学の教員及びその他の者で本研究所の目的たる研究と同一の研究に従事するものに利用させることを目的とする。

共同研究推進部

研究部門	研究分野
水・物質循環	海洋・海水動態、大気海洋相互作用、大気環境、大気陸面相互作用、同位体物質循環
雪氷新領域	氷河・氷床、相転移ダイナミクス、宇宙雪氷学、宇宙物質科学
生物環境	生物適応、微生物生態学、生物多様性、生物分子機構、冬眠代謝生理発達

附属施設

研究分野
環オホーツク観測 研究センター
気候変動影響評価、流域圏システム 国際連携研究推進室



低温科学研究所



スイス氷河実習

電子科学研究所

(共同利用・共同研究拠点)

Research Institute for
Electronic Science

設置目的

電子科学に関する学理及びその応用の研究を行う。

研究部門	研究分野
光科学	光システム物理、ナノ材料光計測、コヒーレント光
物質科学	分子フォトニクス、スマート分子材料、ナノ構造物性、薄膜機能材料
生命科学	光情報生命科学、生体分子デバイス
連携	社会連携客員、拠点アライアンス連携、◎新概念コンピューティング、人間知・脳・AI研究教育センター連携、台湾国立陽明交通大学理学院連携

附属施設

研究分野
グリーンテクノロジー研究センター
エキゾチック反応場、光電子ナノ材料、ナノアセンブリ材料
社会創造数学研究センター
人間数理、データ数理、知能数理、実験数理

共創研究支援部

ニコイメーjingセンター

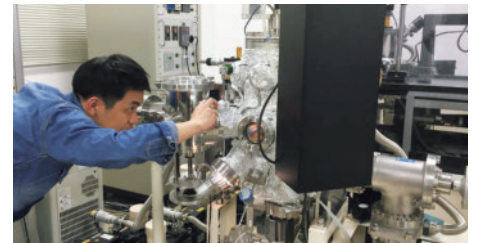
国際連携推進室

ナノテック連携推進室

北海道大学電子科学研究所・台湾国立陽明交通大学理学院共同教育研究センター



電子科学研究所



薄膜作製風景

遺伝子病制御研究所

(共同利用・共同研究拠点)

Institute for Genetic
Medicine

設置目的

遺伝子病の制御に関する学理及びその応用の研究(感染、がん、免疫、炎症等)を行う。

研究部門	研究分野
病因	幹細胞生物学、分子生体防御、分子神経免疫学、肝炎ウイルス学
病態	免疫生物、ゲノム医生物学、発生生理学、感染腫瘍学
疾患制御	免疫機能学、分子間情報、がん制御学、生命分子機構
※シンバイオティクス研究部門	—

ユニット

研究分野
フロンティア研究ユニット
分子細胞生物研究室

附属施設

動物実験施設

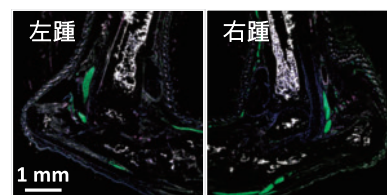
感染癌研究センター



遺伝子病制御研究所

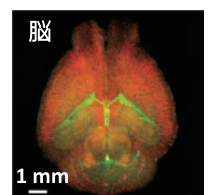
共焦点顕微鏡によるマウス足関節炎症観察

ATP受容体(白)×神経線維(緑)×血管(マゼンタ)



シート型顕微鏡によるマウス全脳観察

脈絡膜(緑)×血管(赤)



※は寄附研究部門、◎は産業創出分野を示す

触媒科学研究所 (共同利用・共同研究拠点) Institute for Catalysis

設置目的

触媒科学に関する研究を行い、かつ、国立大学の教員その他の者でこの分野の研究に従事するものの利用に供する。

研究部門	研究部門
基礎研究系	触媒表面、触媒理論、触媒反応、物質変換、触媒材料、光触媒科学、分子触媒、高分子機能科学
実用化推進系	研究開発
ターゲット研究部	クラスター
拠点型	触媒研究基盤開発クラスター
展開型	規整表面ナノ構造研究クラスター、プラズモン光触媒反応研究クラスター、機能性合金触媒研究クラスター、遷移金属誘起高分子合成/変換研究クラスター、ナノ界面反応場研究クラスター
附属施設	ユニット
触媒連携研究センター	フリッツ・ハーバー研究所ユニット、学際統合物質科学研究ユニット、北大触媒アライアンスユニット、新放射光源触媒計測科学ユニット、キャタリストインフォマティクスユニット



触媒科学研究所



実験の様子

人獣共通感染症 国際共同研究所 (共同利用・共同研究拠点) International Institute for Zoonosis Control

設置目的

人獣共通感染症の克服に向けた研究、予防・診断・治療法の開発と実用化、情報と技術の社会普及、人獣共通感染症対策専門家の養成を行うとともに、国内外の研究者との交流及び連携の促進を図り、人獣共通感染症の予防と制圧に資する。

ユニット
人獣共通感染症研究、国際協働、獣医学研究
研究部門
国際疫学、分子病態・診断、バイオリソース、国際協力・教育、バイオインフォマティクス、感染・免疫、病原体構造解析、危機分析・対応、生物製剤研究開発、国際展開推進、シオノギ抗ウイルス薬研究、ワクチン研究・開発



人獣共通感染症国際共同研究所

研究センター

2022年4月1日現在

スラブ・ユーラシア 研究センター (共同利用・共同研究拠点) Slavic-Eurasian Research Center

設置目的

本邦唯一のスラブ・ユーラシア地域研究の総合的な研究機関として国内外の学界と連携して研究を推進し、その研究成果は講演会や刊行物などにより一般社会にも広く還元されている。図書室の当該領域の蔵書類は質・量とも世界有数である。

研究部門
ロシア
シベリア・極東
中央ユーラシア
東欧
地域比較
ユニット
境界研究ユニット



シンポジウムの様子



スラブコレクション (蔵書)

情報基盤センター (共同利用・共同研究拠点) Information Initiative Center

設置目的

情報化を推進するための研究開発並びに情報基盤の整備及び運用を行い、教育研究等の高度化を推進するとともに、情報メディアを活用した教育の実施及び支援を行うことを目的とする。

研究部門
スーパーコンピューティング
情報ネットワーク
デジタルコンテンツ
メディア教育
システムデザイン
サイバーセキュリティ
サイバーセキュリティセンター
情報環境推進連携部



情報基盤センター



学際大規模計算機システム

施設名

設置目的・概要

研究施設

アイソトープ総合センター Central Institute of Isotope Science	アイソトープ及び放射線に関する教育・研究を推進するとともに、全学の放射線管理の中心的役割を担う。また、アイソトープ及びアイソトープを利用した研究のための共同利用施設、アイソトープの取り扱いに関する教育訓練施設でもある。
量子集積エレクトロニクス研究センター Research Center for Integrated Quantum Electronics	先端材料・ナノエレクトロニクス技術を基盤として、低環境負荷社会に資する先進デバイス・システムを創出し、先端エレクトロニクスに関する各種共同研究の遂行の成果をもって産業界に貢献することを目的とする。
北方生物圏フィールド科学センター Field Science Center for Northern Biosphere	北方生物圏におけるフィールドを基盤とした総合的な教育研究を行うとともに、多面的な教育研究及び学習活動に対するフィールド及び施設の提供並びにそれらを支援することを目的とする。
観光学高等研究センター Center for Advanced Tourism Studies	観光立国を支える先端のかつ総合的、実践的な教育研究を、道内外の自治体・民間企業との連携や国内外の大学・研究機関との共同研究実施、研究ネットワークの構築及び国際機関との協働による観光分野の国際協力事業実施等を通じて推進し、成熟社会における地方創生や世界の平和構築に貢献する。
アイヌ・先住民研究センター Center for Ainu and Indigenous Studies	国内唯一の先住民研究の研究機関として、アイヌ民族をはじめ先住民族と協同し、先端的・実践的な教育研究を推進する。国内外の大学や研究機関と連携して、当該分野における若手人材の育成、研究成果の発信を行い、多文化共生社会の実現に貢献する。
社会科学実験研究センター Center for Experimental Research in Social Sciences	先端的な社会科学実験を展開する日本唯一の専門機関であり、国内外の主要研究拠点との連携のハブとしての役割を担う。心理学・認知科学・脳科学と、経済学、法学、政治学を含む社会科学諸分野との接合を図ると同時に、当該分野における若手人材の育成、研究成果の国内外への発信を行い、実験社会科学の発展に資する。
環境健康科学研究教育センター Center for Environmental and Health Sciences	環境健康科学分野における中核組織として大規模疫学研究を実施する。国内外との共同研究や連携強化を進め、多様化する環境と健康の問題に取り組む人材を育成し、環境と健康分野の研究・教育の発展に資する。WHO環境化学物質による健康障害の予防研究協力センターに認定されている。
北極域研究センター Arctic Research Center	北極域の持続可能な開発や利用に関して、人社系を含む異分野連携による原理究明から対策まで統合的な課題解決研究を行う。新たな視点と技術及び方法論の導入によって、北極域の研究を対象とした新学術領域の形成を目指す。
広域複合災害研究センター Center for Natural Hazards Research	広域にわたり自然災害が発生すると、住民の生存基盤や産業基盤に多大な被害が生じる。災害を引き起こす様々な現象を対象に学内横断的に研究を進め、減災教育を実施していくことで、災害に強い地域社会の構築を目指す。

教育施設

脳科学研究教育センター Research and Education Center for Brain Science	複雑で多様な機能を有する脳を理解し、その破綻に対処するためには、幅広い学問分野の知識を結集する必要がある。分野横断的な研究を推進するとともに、文理融合型のインタラクティブな教育カリキュラムを提供し、広い視野をもった人材を育成する。
外国語教育センター Center for Language Learning	全学等における外国語教育の企画・調整及び実施を一元的に行うことに加え、外国語のうち特に英語による教育の充実及び発展を図ることを通じて、本学の建学の理念である「国際性の涵養」の実践に向けてさらなる向上を目指し、国際的に活躍できる人材を育成する。
数理・データサイエンス教育研究センター Education and Research Center for Mathematical and Data Science	数理的思考及びデータの分析・活用能力を用いて、社会における諸問題の解決及び新しい課題の発見、並びにデータから価値を生み出すことができる人材を育成し、超スマート社会の実現及びその社会における競争力の向上に資することを目的とする。
人間知・脳・AI研究教育センター Center for Human Nature, Artificial Intelligence, and Neuroscience (CHAIN)	人文社会科学・脳科学・人工知能(AI)の諸研究が高度なレベルで融合する新しい「人間知」の創成を目指し、学際的な知を社会に実装できる能力をもった人材を育成する大学院レベルの教育プログラムを実施するとともに、国内外の研究グループと連携し「人間」をめぐる学際的研究の国際的拠点形成を目指す。

特定業務施設

総合博物館 Hokkaido University Museum	学術標本の収蔵、展示、公開等及び学術標本に関する教育研究の支援並びにこれらに関する研究を行う。本学の教育研究の成果を一般に公開することにより地域社会への教育普及に寄与する。
大学文書館 Hokkaido University Archives	本学の歴史に係る各種資料や歴史公文書などの収集、整理、保存、調査研究等を行い、閲覧、公開等の利用に供する。
学生相談総合センター Student Advice and Counseling Center	本学の学内共同施設として、本学における学生相談、修学支援その他の学生支援に関する専門的業務を一体的に行うことにより、本学の学生の人間形成の促進並びに本学全体の教育及び研究の発展に寄与することを目的とした施設である。
保健センター Health Care Center	学生・職員の健康の保持増進を図るため保健衛生に関する専門的業務を行う。
埋蔵文化財調査センター Archaeological Research Center	学内共同施設として、本学構内の埋蔵文化財に関する調査を実施するとともに、出土した資料の保存及び活用を図ることを目的とする。

総合博物館

2022年4月1日現在(学内共同施設)

Hokkaido University Museum

研究部

資料基礎研究系

資料開発研究系

博物館教育・メディア研究系

資料部

1999年に設立された総合博物館は日本における自然史研究中核施設の一つで、300万点以上の学術標本と1万3千点以上のタイプ標本を整理・保管し、学術標本に関する研究教育を支援する。また、「ミュージアムマイスター認定コース」や「パラタクソノミスト養成講座」など独自の大学博物館教育を展開する。さらに総合博物館は本学の誇る教育研究の成果を公開展示する施設であり、北大の最先端研究や学部展示ブースの他に、セミナーを開催する多目的スペース、オリジナルグッズを扱うミュージアムショップやカフェなどを併設する。

開館時間 10:00～17:00
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は連休明けの平日が休館)
12月28日～1月4日 その他臨時休館日あり

水産科学館

北海道大学函館キャンパスにある総合博物館の分館。全長15mのニタリクジラの全身骨格標本、北海道大学の歴代の練習船に関する資料など多岐にわたる展示を公開している。

開館時間 10:00～16:00
休館日 月・水・土・日曜日・祝日
年末年始、その他臨時休館日あり

学術標本収蔵数

標本庫(国際略称)	総標本点数(内未整理点数)
陸上植物(SAPS)	400,000点(150,000)
菌類(SAPA)	170,000
海藻(SAP)	140,000
昆虫(SEHU)	2,000,000
魚類(HUMZ)	230,000
無脊椎動物(ICHUM)	2,425
古生物	20,000
岩石・鉱物	71,350 (50,000)
考古	30,000
計	3,063,775

総合博物館
〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
総合博物館分館 水産科学館
〒041-8611 函館市港町3-1-1



ニッポノサウルスの復元骨格



水産科学館

タイプ標本数

標本庫(国際略称)	総標本点数
昆虫	10,000点
植物	323
無脊椎動物	700
地質(化石・鉱石)	10
魚類	1,200
海藻類	350
古生物	700
計	13,283

大学文書館

Hokkaido University Archives

2005年に設置された大学文書館は、北海道大学の歴史に関する各種資料や歴史公文書などを収集・整理・保存・公開している。また、北海道大学史に関する調査・研究を行い、その成果を刊行物・展示・資料見学会・リファレンスサービス等により学内外に広く紹介している。閲覧室では所蔵資料を閲覧することができ、展示ホール・沿革展示室では北海道大学史に関する展示を見ることができる。

開館時間 9:30～16:30
休館日 土曜日・日曜日・祝日
12月29日～1月3日



展示ホール



閲覧室



沿革

組織・財政

学生

国際交流

寄附講座・公開講座等の
実施状況

全学的な教育研究体制

キャンパス

附属図書館

University Library

北方関係資料等のユニークなコレクションを含む、約380万冊の蔵書を有する国内有数の学術図書館である。電子的資料の収集・提供、機関リポジトリ構築に努め、学術コミュニケーションの向上を図っている。また、閲覧席数は約1,600を数え、学習の場としても重要な役割を担っている。



蔵書数 2022年3月31日現在

部局	区分	和書	洋書	合計	雑誌
本館		1,014,938冊	865,113冊	1,880,051冊	36,037種
北図書館		266,170	119,931	386,101	1,541
小計		1,281,108	985,044	2,266,152	37,578
(参考)					
創成研究機構		19	3	22	5
高等教育推進機構		3,444	734	4,178	159
国際連携機構		1	0	1	3
文学院・文学研究院・文学部		130,284	79,050	209,334	3,556
法学研究科・法学部		7,861	1,725	9,586	949
情報科学院・情報科学研究院		13,288	16,989	30,277	844
水産科学院・水産科学研究院・水産学部		73,188	54,647	127,835	5,464
環境科学院・地球環境科学研究院		10,225	9,164	19,389	595
理学院・理学研究院・理学部		46,260	173,123	219,383	4,250
薬学研究院・薬学部		7,933	3,614	11,547	295
農学院・農学研究院・農学部		129,310	97,565	226,875	8,806
生命科学院・先端生命科学研究院		319	263	582	26
教育学院・教育学研究院・教育学部		16,634	3,725	20,359	886
国際広報メディア・観光学院・メディアコミュニケーション研究院		2,676	3,491	6,167	326
保健科学院・保健科学研究院		29,414	4,044	33,458	938
工学院・工学研究院・工学部		103,071	100,470	203,541	5,294
経済学院・経済学研究院・経済学部		6,560	2,789	9,349	1,268
医学院・医学研究院・医学部		52,800	93,476	146,276	5,741
歯学院・歯学研究院・歯学部		23,255	16,374	39,629	1,081
獣医学院・獣医学研究院・獣医学部		8,875	23,328	32,203	1,344
公共政策学教育部・公共政策学連携研究部		1	0	1	2
低温科学研究所		10,508	24,350	34,858	1,780
電子科学研究所		603	516	1,119	24
遺伝子病制御研究所		68	43	111	27
触媒科学研究所		4,867	16,794	21,661	465
スラブ・ユーラシア研究センター		2,748	72,935	75,683	1,834
情報基盤センター		88	1	89	56
北方生物圏フィールド科学センター		6,264	1,807	8,071	79
アイヌ・先住民研究センター		4,431	643	5,074	128
人間知・脳・AI研究教育センター		0	10	10	1
総合博物館		10,529	3,560	14,089	1,252
大学文書館		3,543	70	3,613	298
小計		709,067	805,303	1,514,370	47,776
合計		1,990,175	1,790,347	3,780,522	85,354

※1 量子集積エレクトロニクス研究センターを含む ※2 病院、アイソトープ総合センターを含む ※3 病院を含む

利用状況 (2021年度)

	本館	北図書館
入館者総数(人)	153,065	227,243
貸出者数(人)	84,524	88,104
貸出冊数(冊)	123,274	137,165
文献複写(件)		
依頼	1,492	147
受付	3,295	46
図書館間相互利用(冊)		
借受	805	66
貸出	1,204	96
閲覧座席数(席)	711	851

開館時間 (2022年度)

	平日	土・日・祝日
開架閲覧室	8:00 ~ 22:00	9:00 ~ 19:00
書庫	9:00 ~ 20:00	9:00 ~ 18:30
グループ学習室	8:00 ~ 21:30	9:00 ~ 18:30
(北図書館)メディアルーム	8:00 ~ 21:30	9:00 ~ 19:00

※学生の休業期間中と3月は利用時間が変更になります

休館日

- ・大学祭 6月4日～5日 - 北図書館のみ
- ・夏季休業 8月15日～17日 - 北図書館のみ
8月23日～25日 - 本館のみ
- ・全学停電 9月3日～4日
- ・年末年始 12月28日～1月3日
- ・大学入学共通テスト 1月14日～15日

北海道大学病院は、丁寧な診療に加えて、(1) 高度医療の提供と先進的な医療の開発、(2) 難病治療などの最後の砦としての機能など、地域社会あるいは、国内外からの高い期待に応えること、そして、将来の医療を支える“人”を育成する役割を担っている。

(医科)

診療科	病床数	診療状況(2021年度実績)	
		外来患者数	入院患者数
呼吸器内科	48床	21,410名	19,848名
リウマチ・胃腸内科/糖尿病・内分泌内科	49	56,818	14,170
消化器内科	48	41,100	16,258
循環器内科	35	18,793	10,537
血液内科	40	14,542	12,598
腫瘍内科	21	6,062	6,152
消化器外科Ⅰ	47	9,909	13,838
消化器外科Ⅱ	29	5,218	9,226
循環器・呼吸器外科	32	6,143	8,673
整形外科	59	27,564	17,996
泌尿器科	33	21,695	10,816
麻酔科	2	19,284	0
形成外科	25	7,706	5,991
乳腺外科	6	5,542	1,191
救急科	15	3,194	5,074
脳神経内科	25	13,701	7,254
眼科	35	35,384	11,322
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	38	16,152	9,877
皮膚科	23	16,094	7,236
精神科神経科	70	36,685	13,293
脳神経外科	39	9,704	11,303
リハビリテーション科	20	57,444	687
産科	42	8,424	10,429
婦人科	32	21,727	8,401
小児科	33	18,503	9,029
放射線治療科	18	20,501	4,604
放射線診断科	1	56,256	143
核医学診療科	9	5,180	1,325
集中治療室(ICU)	8	0	(2,193)
高度治療室(HCU)	5	0	(1,613)
新生児集中治療室(NICU)	9	0	(2,635)
新生児治療回復室(GCU)	(11)	0	(1,760)
母体胎児集中治療室(MFICU)	(3)	0	(815)
高度無菌室	6	0	(1,253)
合計	902	580,735	247,271

※病床数()内は産科病床数の内数
入院患者数()内は各診療科入院患者数の内数



手術支援ロボット「ダ・ヴィンチXi」



(歯科)

診療科	病床数	診療状況(2021年度実績)	
		外来患者数	入院患者数
予防歯科	23床	6,993名	5,321名
むし歯科		11,701	
歯周病科		20,900	
義歯科		14,210	
クラウン・ブリッジ歯科		11,855	
高齢者歯科		13,126	
矯正歯科		13,222	
小児・障がい者歯科		9,895	
口腔内科		18,680	
口腔外科		12,516	
歯科放射線科		1,911	
歯科麻酔科		3,627	
高次口腔医療センター		8,400	
口腔総合治療部	2,980		
合計	23	150,016	5,321

(医科歯科総計)

診療科	病床数	診療状況(2021年度実績)	
		外来患者数 延数	入院患者数 延数
総計	925	730,751	252,592

※承認病床数は944床



陽子線治療センター治療室



ロボット手術(術中風景)

国際連携研究教育局

Global Institution for Collaborative Research and Education (GI-CoRE)

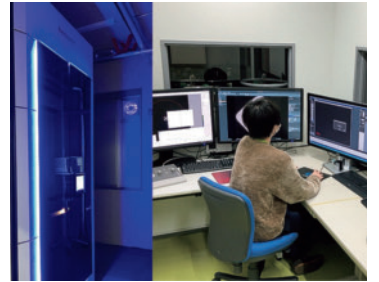
設置目的・概要

国際連携研究教育局(GI-CoRE)は、北海道大学の強みや特色を活かした国際連携研究・教育の推進と部局が独自に進める国際連携研究・教育の支援を目的とし、世界トップレベルの教員を国内外及び学内から結集した総長直轄の教育研究組織である。GI-CoRE内には、研究領域ごとの活動拠点である「グローバルステーション(GS)」を置き、各GSにおいて、原則5年間の設置期間内に重点的に研究教育活動を進めている。また、設置期間を満了した全6GSは、関連部局等に定着化し、「GI-CoRE協力拠点」の認定を受け、GI-CoREと連携しながらそれまで取り組んできた研究教育活動を一層推進している。

グローバルステーション 2拠点

■ バイオサーフィス創薬グローバルステーション Global Station for Biosurfaces and Drug Discovery (GSD)

細胞・微生物等の生体膜・バイオ素材表面を対象としたバイオサーフィス研究と創薬モダリティ研究とを組み合わせ、アカデミック創薬を推進する学際的研究拠点として開設した。オックスフォード大学、ヘルシンキ大学、テキサス工科大学、ミネソタ大学、スイス連邦工科大学(ETH)等との国際連携研究を進めている。



■ 先住民・文化的多様性研究グローバルステーション Global Station for Indigenous Studies and Cultural Diversity (GSI)

先住民・先住民に関する共同研究を推進する国際的な研究ハブとして開設した。オックスフォード大学、ウブサラ大学、ルンド大学、ヘルシンキ大学、モスクワ国立大学、極東連邦大学、イルクーツク国立大学、サイモン・フレイザー大学、オレゴン大学、国立台湾大学、北京大学、オーストラリア国立大学から海外教員を招へいし、文化的多様性の人類史的意義の解明と多民族・多文化共生社会モデルの構築に取り組む。



GI-CoRE協力拠点 6拠点

GI-CoRE協力拠点名称	活動概要	認定期間
医学研究院 医理工学グローバルセンター	世界初の「分子追跡陽子線治療装置」や分子イメージングによる生体研究等の実績と、スタンフォード大学からのユニット誘致を活かし、医理工学のイノベーションを創出し、若手人材を育成し、世界に還元	2020～ 2024年度
人獣共通感染症国際共同研究所 国際協働ユニット	メルボルン大学、アイルランド国立大学ダブリン校、アブドラ国王科学技術大学等と協働することで、研究成果の社会実装を重視した世界初の人獣共通感染症研究・教育拠点を形成	2020～ 2024年度
農学研究院 食水土資源グローバルセンター	世界の食水土資源問題を包括的に扱う研究拠点を構築し、シドニー大学、カリフォルニア大学デービス校、ウィスコンシン大学メディソン校、カセサート大学等の海外教員との共同研究及び大学院教育を通じて、次代を担う人材育成を実現	2020～ 2024年度
先端生命科学研究院 次世代物質生命科学センター ソフトマター国際連携ユニット	ソフトマターの研究と教育を推進する国際拠点として、パリ市立工業物理化学高等専門学校(ESPCI)、デューク大学、コーネル大学などと協働し、世界を先導するソフトマター基礎研究、革新的ソフトマテリアル創製及び医療応用を展開	2021～ 2025年度
情報科学研究院 ビッグデータとIoTに関する 協同センター	ビッグデータ、IoT(Internet of Things:モノのインターネット)の異分野融合研究拠点として、マサチューセッツ大学アマースト校とシドニー工科大学との国際連携研究を進行中	2021～ 2025年度
北極域研究センター 国際連携研究ユニット	自然科学・工学・人文社会学分野が連携して学際的に推進する国際研究ネットワーク拠点として、アラスカ大学、北東連邦大学、オスロ大学、ノード大学などと協働して、北極域に関するフィールド研究を実施中	2021～ 2025年度

創成研究機構

Creative Research Institution (CRIS)

本学の研究戦略に基づく重点的な研究事業の推進及び支援を行うとともに、先端的な科学技術の振興に寄与する人材を育成することにより、新たな学問領域の創成及び先端的な科学技術の振興を図る。

部門等	担当
研究部	本学の研究戦略に基づく新規重点研究テーマの創出、若手人材の育成、基礎レベルにある産学連携研究テーマの支援を行う。
生物機能分子研究開発プラットフォーム推進センター	産学官連携によるプロジェクト型共同研究を推進し、創薬・機能性食品の開発拠点を目指す北キャンパス総合研究棟6号館(生物機能分子研究開発プラットフォーム)の管理・運営を行う。
ナノテクノロジー連携研究推進室	本学のナノテクノロジー分野における各研究領域の連携を支援するとともに、他の研究機関等との連携を推進し、並びにナノテクノロジー関連の研究設備の管理及び利用支援を行う。
研究人材育成推進室	次世代の科学技術を担う研究推進能力及びリーダーとしての能力を有する若手研究者を育成する。
グローバルファシリティセンター	<p>本学が保有する先端研究設備、技術職員の持つ専門的かつ高度な分析・解析/成型・加工技術の高度化とオープン化を推進し、学内の研究者・学生はもとより海外も含めた様々な方々の教育・研究の進展を支援する。</p> <p style="text-align: right;">受託分析サービスの様子 (グローバルファシリティセンター)</p>



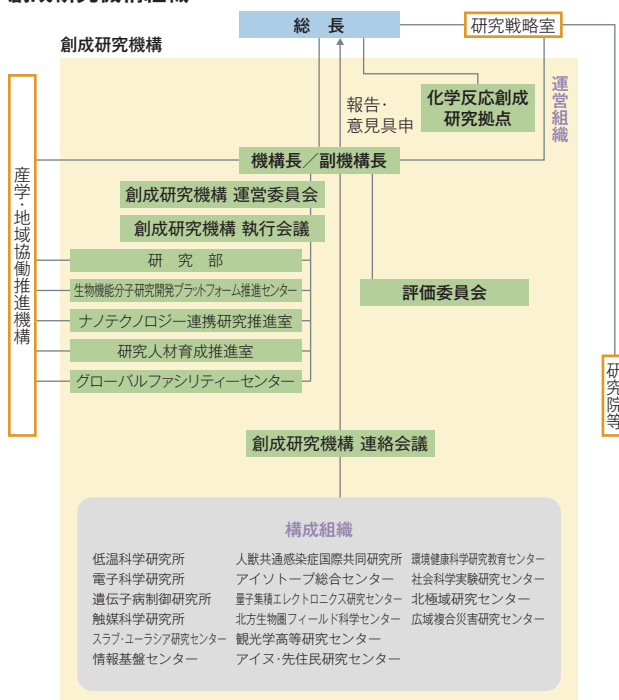
化学反応創成研究拠点

Institute for Chemical Reaction Design and Discovery (ICReDD/アイクレッド)
拠点長：前田理

化学反応創成研究拠点 (ICReDD) は、文部科学省国際研究拠点形成促進事業費補助金「世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)」に採択され、2018年10月に本学に設置された。WPIの目的は、高度に国際化された研究環境と世界トップレベルの研究水準の研究を行う「目に見える研究拠点」の形成であり、ICReDDは現在国内にある14の研究拠点の1つである。

ICReDDでは、拠点長の下、計算科学、情報科学、実験科学の三つの学問分野を融合させることにより、人類が未来を生き抜く上で必要不可欠な「化学反応」を合理的に設計し制御を行う。さらに化学反応の合理的かつ効率的な開発を可能とする「化学反応創成学」という新たな学問分野を確立し、新しい化学反応や材料の創出を目指す。また、国際的な共同研究の環境整備と世界スケールの高度人材育成の戦略的仕組み「MANABIYA (学び舎) システム」により、国内外の研究者がICReDDにおける新しい化学反応を開発する手法を習得し、将来にわたって使い広めてもらう、頭脳循環型社会を確立する。

創成研究機構組織



セミナー (AFIR Tutorial, 2020年4月開催)



リスト特任教授 2021 ノーベル化学賞受賞オンライン祝賀会 (2021年10月)



ICReDD 棟完成予定図 (2023年3月)

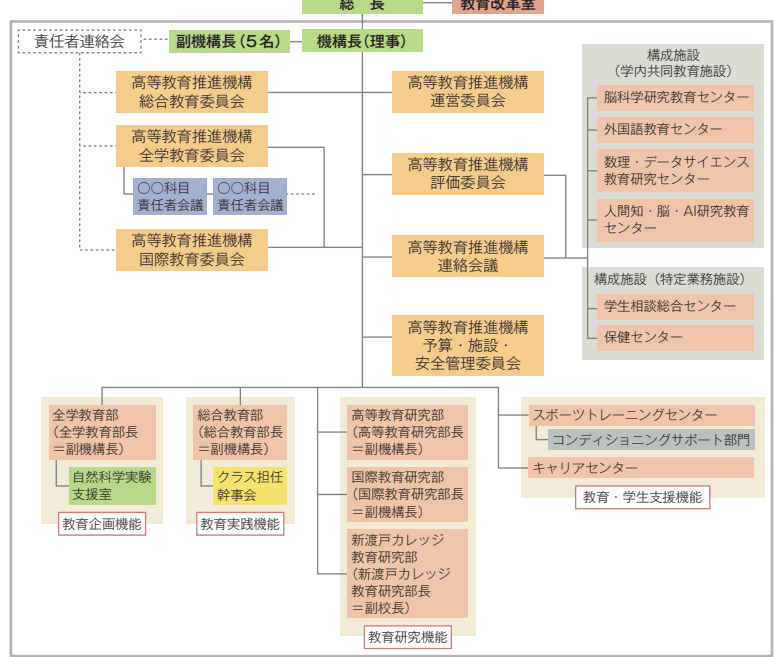
高等教育推進機構

Institute for the Advancement of Higher Education

本学の目指す高等教育の実現に向け、教育研究組織間の連携を強化し、本学の教育機能の向上及び高等教育に関する研究の推進を図る。

部・センター等	担当
全学教育部	本学の全学教育の実施に係る企画、立案及び調整を担当する。自然科学実験支援室を置く。
総合教育部	本学の第1年次の学生の履修指導及び修学指導、学籍の管理、進級に関することを担当する。
高等教育研究部	本学の高等教育並びに生涯学習に関する実践的な調査・研究等を担当する。
国際教育研究部	外国人留学生及び国内学生に対する国際教育事業及び本学の国際化を推進する教育に関する研究開発等を行う。
新渡戸カレッジ教育研究部	新渡戸カレッジにおける教育プログラムの実施及び同プログラムに関する調査研究等を担当する。
スポーツトレーニングセンター	スポーツトレーニングの全学的な体育指導を行う。コンディショニングサポート部門を置く。
キャリアセンター	学生の実践的かつ体系的なキャリア形成のための指導を行うとともに、職業や職務に対する自覚及び責任感並びに基礎的な能力の養成を行うものとする。

高等教育推進機構 組織図



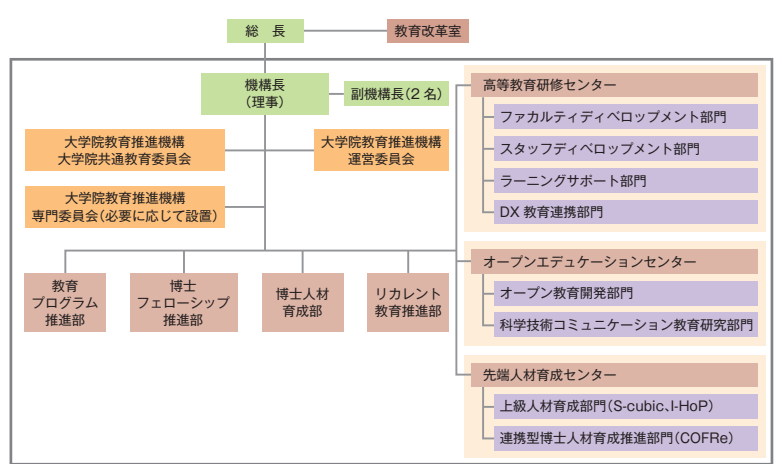
大学院教育推進機構

Institute for the Advancement of Graduate Education

本学の大学院教育の質の向上のために全学的に取り組むべき業務の推進及び大学院の学生のために全学共通で行う支援を統括することを目的とする。

部・センター等	担当
教育プログラム推進部	大学院共通授業科目、国際共同教育プログラム、その他研究科、学院及び教育部における横断的教育に係る企画、立案及び調整を行う。
博士フェローシップ推進部	本学大学院の学生を対象とするフェローシップ事業及びその他の経済支援に係る企画、立案及び調整を行う。
博士人材育成部	学士課程から博士課程までの体系的なキャリア教育及び本学大学院の学生のキャリア形成の支援(高等教育推進機構キャリアセンター掌握に属するものを除く)に係る企画、立案及び調整を行う。
リカレント教育推進部	学内の大学院レベルのリカレント教育プログラムの支援及び機構が実施する大学院レベルのリカレント教育プログラムに係る企画、立案及び調整を行う。
高等教育研修センター	高等教育機関の教職員等として必要な資質の向上を目的とした研修を実施し、並びに研究及び業務全般の高度化及び国際化を支援するとともに、北海道地域の研修拠点としての役割を果たす。ファカルティディベロップメント部門、スタッフディベロップメント部門、ラーニングサポート部門、DX教育連携部門の4部門を置く。
オープンエデュケーションセンター	情報通信技術を活用した教育及び学習支援の充実及び利用促進、教育活動を通じた本学の広報及びコミュニケーション活動への参画、オープン化した教育資源に関する研究開発、科学技術コミュニケーションに関する総合的な教育研究等を行う。オープン教育開発部門、科学技術コミュニケーション教育研究部門(CoSTEP)の2部門を置く。
先端人材育成センター	本学大学院の学生、博士の学位を有する者又はこれと同等以上の学力があると認められる者及び研究に従事する職業に現に就いている者又は就こうとする者のキャリア形成の促進に係る事業の企画、立案及び実施を行う。上級人材育成部門(S-cubic, I-HoP)、連携型博士人材育成推進部門(COFRe)の2部門を置く。

大学院教育推進機構 組織図



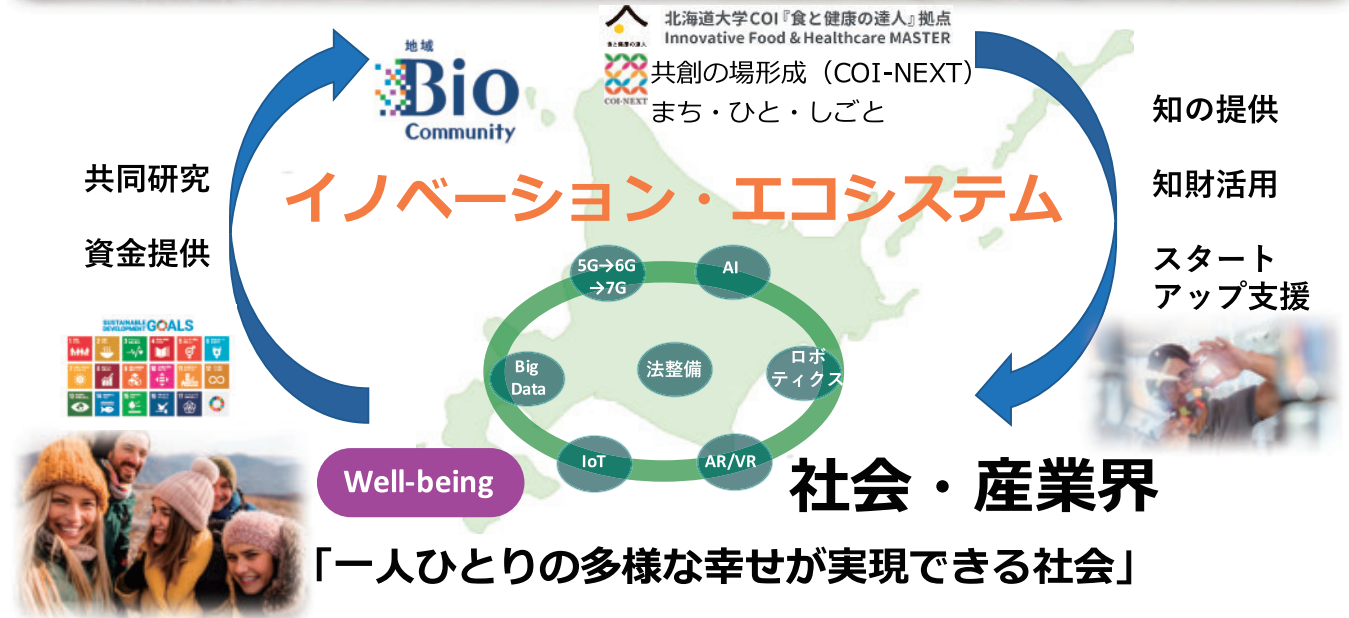
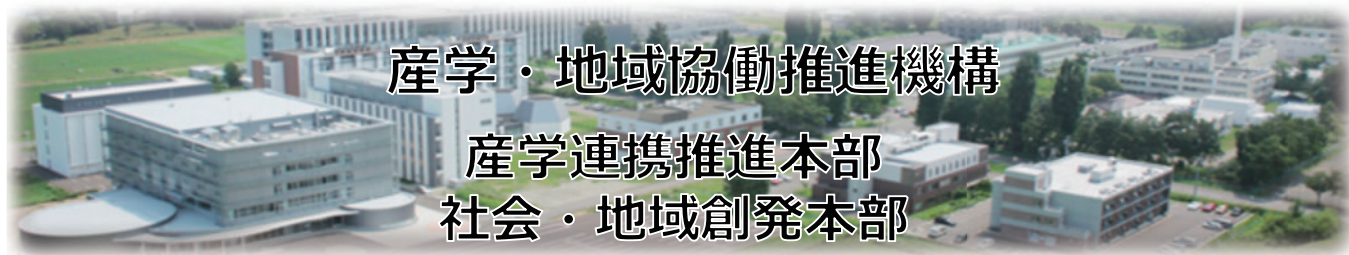
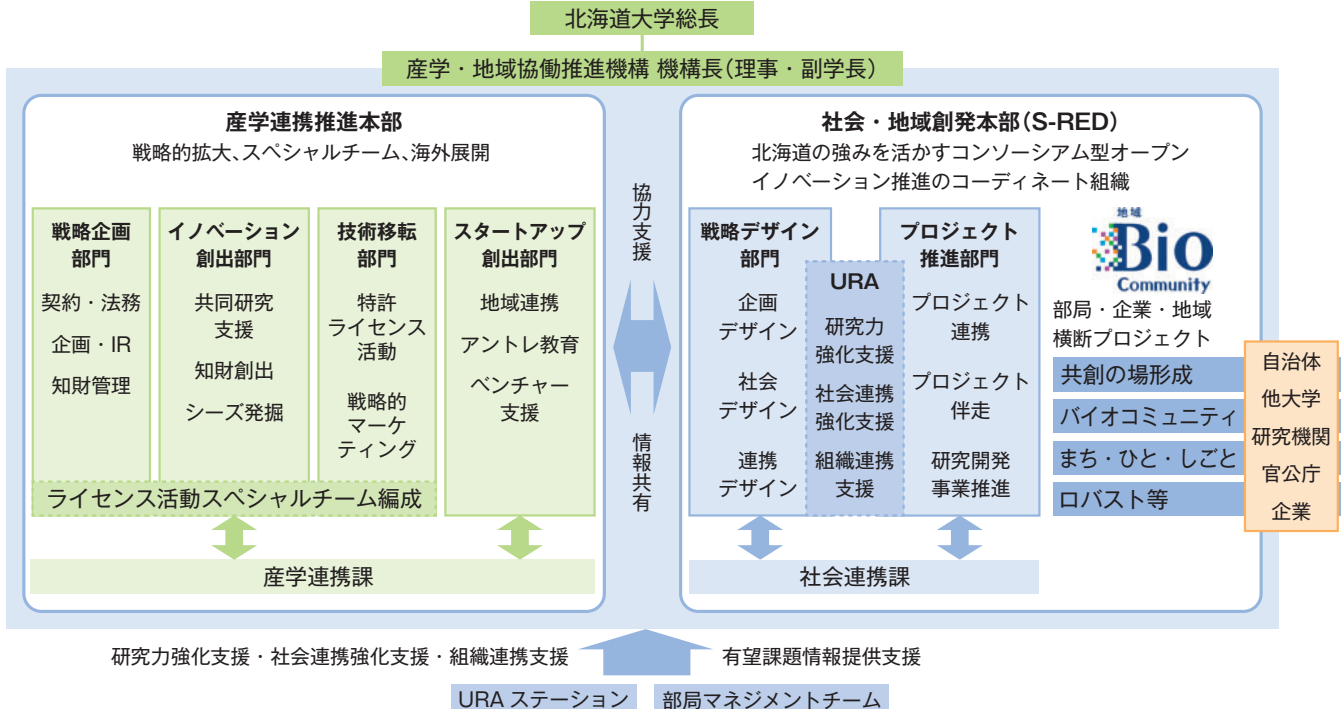
産学・地域協働推進機構

Institute for the Promotion of Business-Regional Collaboration

研究成果の社会実装に向けた産学協働を推進する「産学連携推進本部」とともに、2022年4月からは社会課題から新しい価値を創造し異分野融合を推進する「社会・地域創発本部」を足元させ、社会連携組織改革を行った。

本機構はこれらを推進するとともに、推進に資する人材を育成し、もって我が国の産業等の発展及びイノベーションの創出に資することを目的としている。

- | | |
|--|---|
| <p>産学連携推進本部</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共同研究、組織対組織型産学連携等による研究成果の社会実装 ● 知的財産の積極的活用とスタートアップ等を活用した事業化 ● 産学・地域協働の推進に資する人材育成 | <p>社会・地域創発本部(S-RED)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会課題から新しい価値を創造する「場」のための研究を推進 ● 研究領域を横断する異分野融合を推進する産学官金地域連携拠点 ● 民間企業や自治体等の人材を含めた多様な人財の場 |
|--|---|



サステナビリティ推進機構

Institute for the Advancement of Sustainability

サステナビリティ推進機構は、持続可能な社会の構築に資する教育、研究、社会連携、およびサステナブルキャンパス構築を推進するためのプラットフォームである。

SDGsに関連する教育、研究、社会連携、広報を推進する「SDGs事業推進本部」とサステナブルキャンパス構築を推進する「サステナブルキャンパスマネジメント本部」の2つの本部を両輪として、グリーン・スマート・サステナブルキャンパスの実現を目指している。

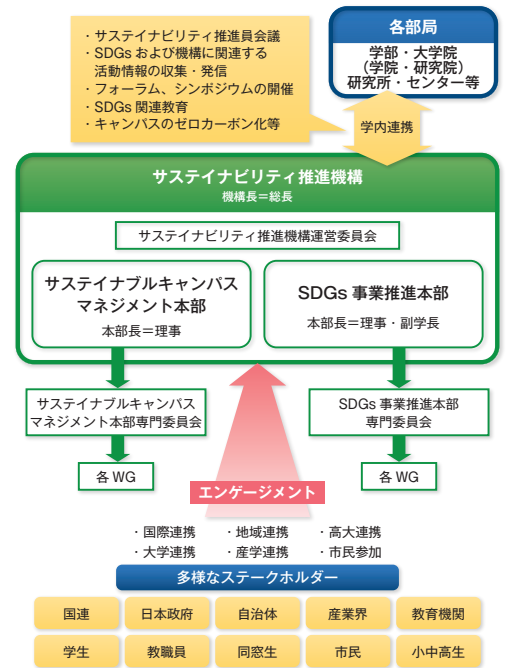
■専用ウェブサイト



サステナビリティ推進機構
➔ <https://www.sustainability.hokudai.ac.jp/>



北海道大学×SDGs
(北海道大学のSDGsに関する教育、研究)
➔ <https://sdgs.hokudai.ac.jp/>



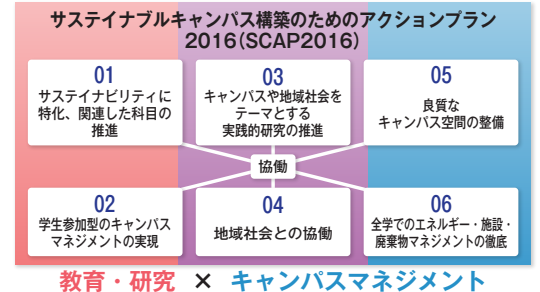
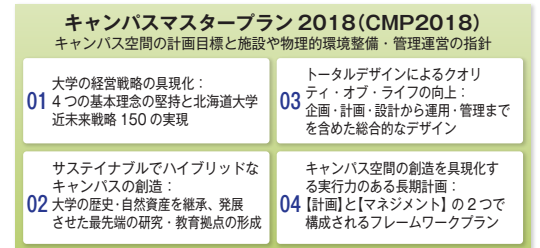
サステナブルキャンパスマネジメント本部

Sustainable Campus Management Office

本学のキャンパスに関する取り組みは、1996年に国内国立大学に先駆けて策定したキャンパスマスタープランにはじまる。2010年、サステナブルキャンパス構築に向けた中核的組織としてサステナブルキャンパス推進本部を設置し、2018年の「サステナブルキャンパスマネジメント本部」(SCM本部)への改組を経て、2021年8月より、SCM本部は「サステナビリティ推進機構」の中に編制され、本学のサステナビリティ推進体制の一翼を担っている。

本学では、「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」という4つの基本理念のもと、改革戦略「近未来戦略150」の実現を支え、教育、研究、社会連携、キャンパス整備を通して、持続可能な社会の構築に貢献するため、「キャンパスマスタープラン2018」「サステナブルキャンパス構築のためのアクションプラン」等の施策を策定している。SCM本部では、これらのプランに基づきながら、キャンパス・施設・環境に係る施策の企画・立案等を行っている。

■サステナブルキャンパス構築のための主な施策



SDGs事業推進本部

SDGs Initiative Office

札幌農学校の設置の経緯、開学当時にクラーク博士が導入した教育理念、そして広大な研究林やキャンパスなどを擁するに至った本学の発展の歴史が、現在の北海道大学の4つの基本理念を醸成してきた。これらの理念は「誰一人取り残さない」「ウェルビーイング (well-being)」などのSDGs (持続可能な開発目標) の考え方と強くつながるもので、本学は開学以来、教育と研究を通じてSDGsに取り組んできた大学とも言える。

こうした歴史を踏まえ、2020年10月に発足した新執行部は、本学が「比類なき」大学としてSDGsの達成に十分貢献できる研究主導型の基幹総合大学であると認識し、「SDGsの達成への貢献」を本学のビジョンの中核に据え、その実現のために、「SDGs事業推進本部」を設立した。

SDGs事業推進本部では、SDGsに関わる教育、研究、社会連携、広報など、様々な関連事業を一元的に集約しつつ、取り組みを推進することでSDGsの達成に貢献する社会変革の原動力を創出している。

■SDGs事業推進本部の主な取り組み



国際連携機構

Institute for International Collaboration

本学が「近未来戦略150」において掲げている教育研究の一層のグローバル化、異文化理解コミュニケーション能力を持って国際社会の発展に貢献する人材育成を推進する組織として、本学の国際戦略に係る企画・立案を行っている。

2021年には、近年の国内外の主要大学との競争激化や新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大等を踏まえ、本学の新たな国際化に向けた方向性を定めた「2040年に向けた北海道大学の国際戦略」を策定し、教育、研究、社会連携を含む総合的な取り組みを推進している。

「2040年に向けた北海道大学の国際戦略」の柱となる

4つの戦略目標

1. 頭脳循環する大学

知の好循環による人材育成の推進と研究力の向上

2. 流動し課題解決に貢献する学生・教員

魅力的な国際協働共修環境の推進

3. サステナビリティの追求

サステナビリティ関連分野での実践的な貢献

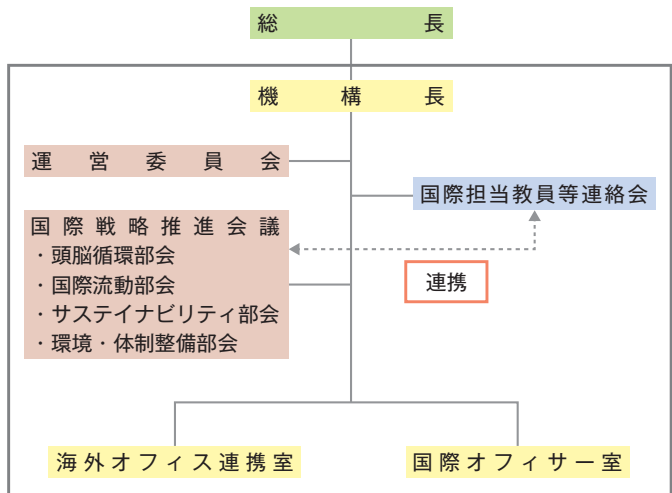
4. 進化するマネジメント

国際対応力を推進するための環境・体制整備



2040年に向けた北海道大学の国際戦略

国際連携機構 組織図



国際戦略 2040 キックオフシンポジウム (2022年2月17日開催)

技術支援本部

Office of Technical Support

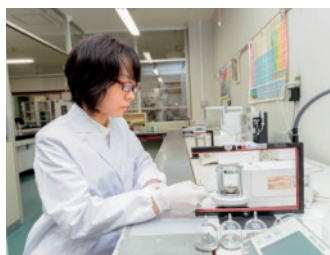
技術支援本部は、技術職員のスキルアップやキャリア形成、全学的な技術支援及び持続的な技術の継承等をはかることにより、本学の教育研究支援体制を強化することを目的とした組織である。

2007年3月に「教育研究支援本部」の名称で設置され、2013年4月に「技術支援本部」へ改称、さらに2018年10月に改組され、現在に至る。

技術職員向けのSD研修企画のほか、部局を越えた全学技術支援・技術協力の仕組みを構築し、本学の教育研究力向上に資する活動を行っている。

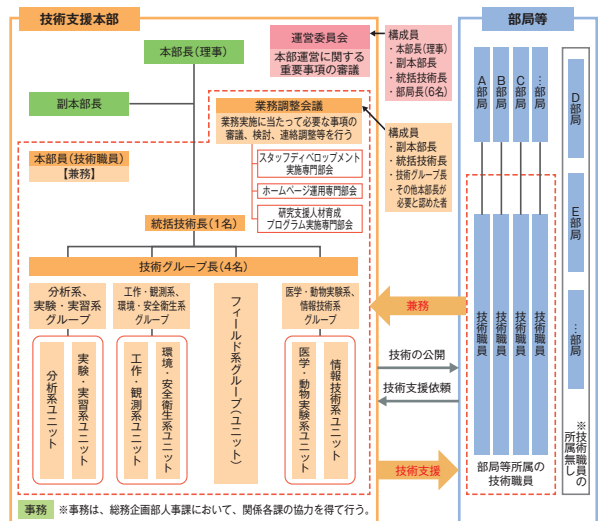


北海道大学技術研究会 2018



技術職員業務風景

技術支援本部の運営体制



情報環境推進本部

ICT Promotion Office

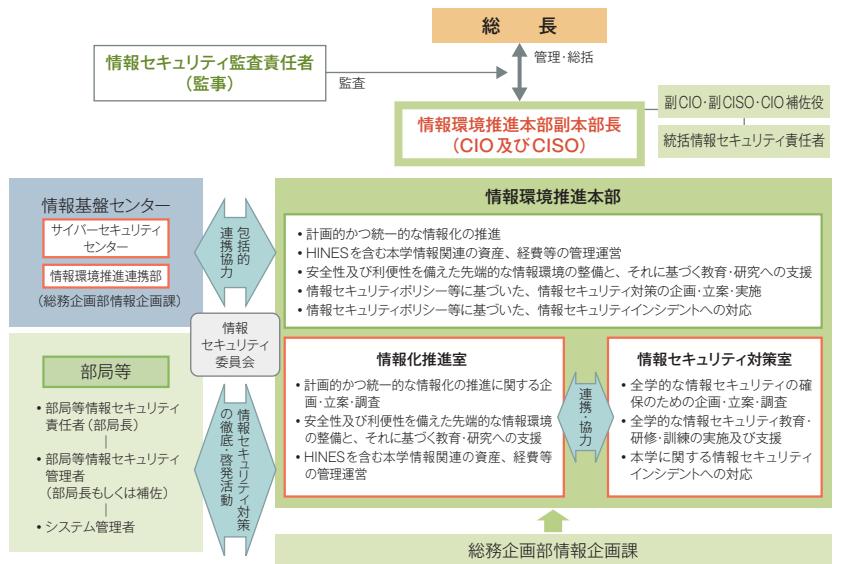
本学の情報基盤の整備、情報資産の円滑な運用及び保全並びに情報セキュリティの確保及び水準の向上並びに管理体制の整備を図る。

●情報化推進室

本学における計画的かつ統一的な情報化の推進、本学情報ネットワークシステムを含む本学情報関連の資産、経費等の管理運営並びに安全性及び利便性を備えた先端的な情報環境の整備に基づく教育及び研究への支援を行う。

●情報セキュリティ対策室

本学の情報セキュリティの確保のための施策を実施し、情報セキュリティインシデント発生時に迅速かつ円滑な対応を図る。



アドミッションセンター

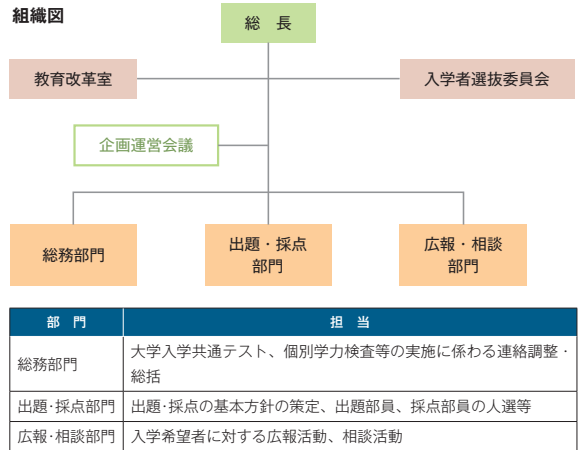
Admission Center

入学者選抜に関する様々な業務を通じて、選抜方法の改善及び選抜の円滑な実施を推進することを目的として設置された運営組織である。



オープンキャンパス

入学試験の実施に関する総括及び連絡調整を担うとともに、入学者選抜に係る調査及び分析、選抜方法の企画、広報、入学相談を行う。



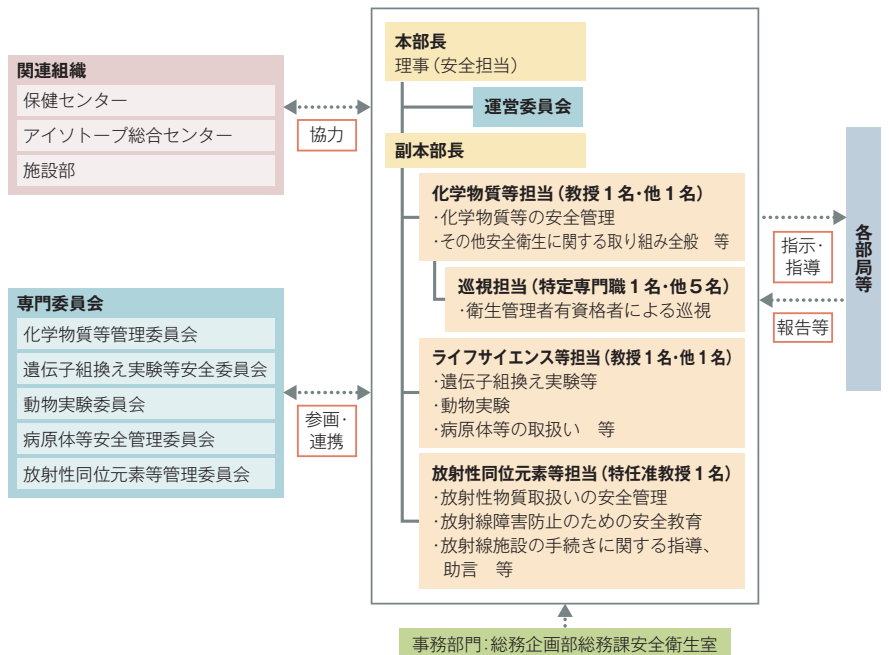
安全衛生本部

Office of Health and Safety

本学は広大な敷地内に多様な専門分野が混在する教育研究現場等を有している。その安全衛生管理状況を一元的に把握し、企画・立案・監督等を行う組織として、2011年3月に設置された。「衛生管理者による定期巡視」、「ライフサイエンス施設の实地調査」、「各種安全教育・講習・教材の作成」を含む安全衛生に関する様々な取り組みを各部局、関連組織等と協力・連携しながら行っている。



本部衛生管理者による定期巡視



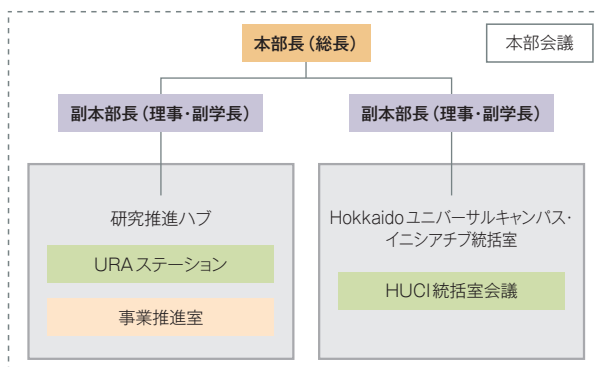
大学力強化推進本部

Office for Enhancing Institutional Capacity

本学が将来において備えるべき研究力の強化及び教育研究活動の国際的な展開を図る上で必要な事業「次世代大学力の強化に係る事業」を推進することを目的とする。

部門等	担当
研究推進ハブ	次世代大学力の強化に係る事業において、主として研究の推進に関する業務を行う。URAステーションは、全学的、部局横断的な研究戦略企画と研究推進支援、研究力強化とグローバル化を中心とした大学力強化のためのシステム改革に関する業務を行う。
Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブ統括室 (HUCI統括室)	大学改革と国際化を推進するスーパーグローバル大学創成支援事業の採択構想「Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブ」(HUCI構想)の企画・調整・進捗管理等を行う。

大学力強化推進本部組織



アイヌ共生推進本部

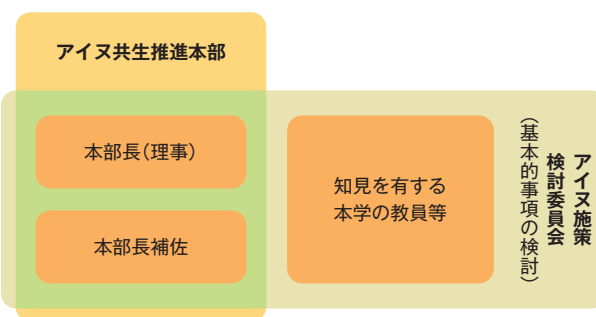
Office of Ainu Relations and Initiatives

aynu sisam urespa ukopirkare us i アイヌシサム ウレシパ ウコピリカレ ウシ (アイヌ語表記)

アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための本学における施策の企画及び立案を行い、並びに実施するとともに、アイヌ民族に関する本学の各種の取組を推進し、もってアイヌ民族との共生に資するための組織として、2022年4月に設置した。

具体的には、アイヌ民族との信頼関係構築、アイヌ民族である学生・教職員が安心して教育研究に専念できる環境の整備、学生・教職員によるアイヌ民族への理解の深化など、本学におけるアイヌ施策に関する重要事項に関する業務を行う。

当本部の業務に関する基本的事項は、アイヌ民族に関する知見を有する本学の教員等から構成されるアイヌ施策検討委員会にて検討を行う。



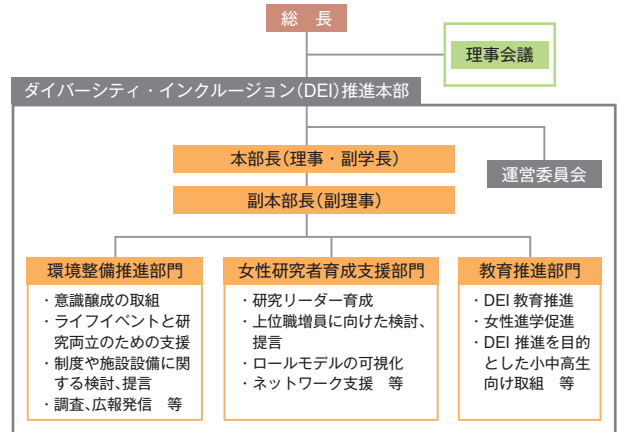
ダイバーシティ・インクルージョン推進本部

Office of Diversity, Equity, and Inclusion (DEI)

「多様性と包摂」は、人権尊重の観点から人間社会の基盤であることのみならず、本学が真に「世界の課題解決に貢献する」ために絶対に必要であることから、本学では令和3年12月1日「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」を公表し、本学構成員一人一人がその意味と意義を理解するとともに、国際社会に向けて本学の今後の決意を強く発信した。

ダイバーシティ・インクルージョン推進本部は、人材育成本部の事業部門であるダイバーシティ研究環境推進室がこれまで培ってきた取組に加え、先述のダイバーシティ&インクルージョン推進宣言による、無意識の差別や偏見を乗り越えたバイアスフリーキャンパスの実現に向けた取組の推進を目的とする。

ダイバーシティ・インクルージョン推進本部組織



総合IR室

Office of Institutional Research

「IR」とは、「Institutional Research」の略称である。総合IR室は、教育、研究その他の大学の諸活動に関する情報を収集・分析し、当該分析結果に基づく提案を行うことにより、本学の経営戦略策定を支援することを目的として活動しており、「経営戦略部門」と「教学部門」の2部門を置いている。

「経営戦略部門」では、主に研究、管理運営その他の大学の諸活動に関する情報を対象とした業務を行っており、一例として、「北海道大学ファクトブック」を作成し公開している。

「教学部門」では、主に大学の教育に関する情報を対象とした業務を行っており、一例として、学生のアンケート調査や卒業生アンケート調査を実施し、その分析結果を各学部等に提供することで、本学の教育改善を行うために必要なフィードバックを行っている。

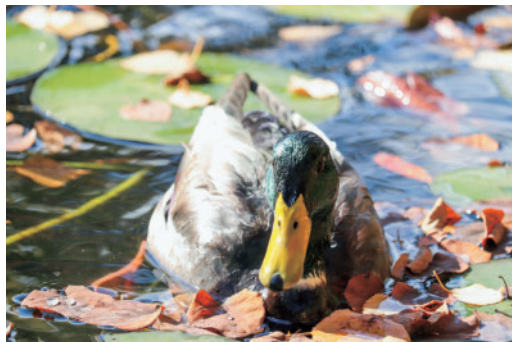
さらに、両部門が密接に連携することによるシナジー効果により、本学の経営戦略策定に資するデータ分析を着実に進めている。一例として、学生の成績データの分析・可視化、異分野連携研究ポテンシャルの分析・可視化、全学的なIRデータ可視化・共有基盤である「北海道大学 Business Intelligence (北大BI)」の管理・運営、学内予算再配分のための総合的な指標値の算出等を行っている。



北海道大学ファクトブック（総合IR室HPより）

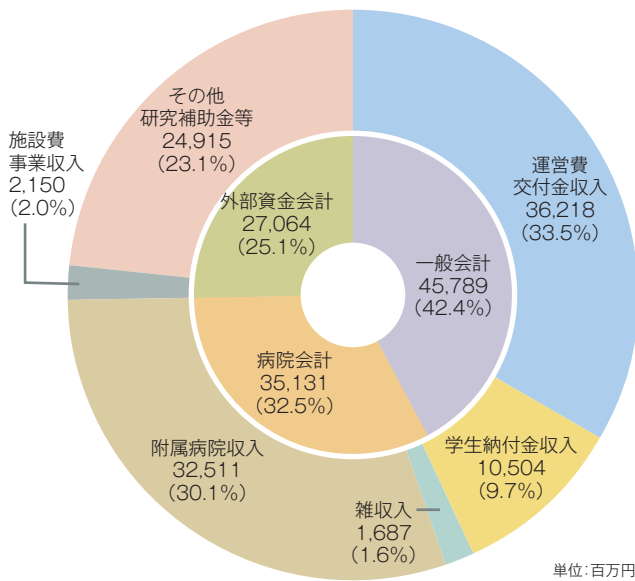


1年生・3年生アンケート結果概要（総合IR室HPより）

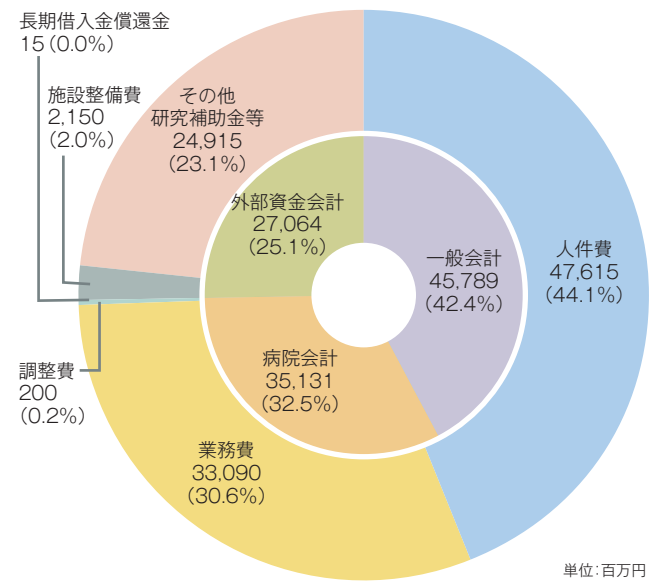


2022年度 収入・支出予算

収入予算全体 107,985百万円



支出予算全体 107,985百万円



※内円の会計区分と外円の事項は一致しない。
※項目毎に四捨五入を行っているため、合計が一致しない場合がある。

外部資金受入 / 科学研究費助成事業

外部資金受入 (2021年度)

区分	件数 (件)	受入金額 (千円)
共同研究	758	2,252,687
受託研究	706	7,368,101
補助金等	3,156	15,474,365
科学研究費助成事業	2,953	6,227,211
大学改革補助金	113	9,090,650
厚生労働科学研究費補助金	62	118,615
その他助成金等	28	37,889
その他受託事業等収入	-	1,978,768
寄附金収入	5,268	2,502,326
合計		29,576,247

(注) 共同研究、受託研究は競争的資金を含む
(注) 厚生労働科学研究費補助金は研究分担者に配分した金額を除き、研究分担者として受け入れた件数・金額を含む
(注) その他受託事業等収入の内訳
医薬品等の臨床研究、病的材料検査料金等を含む
(注) 大学改革補助金の受入金額は外部機関への二次的交付を含む

科学研究費助成事業 (2021年度)

研究種目	件数 (件)	交付金額 (千円)		
		直接経費	間接経費	合計
特別推進研究	5	109,600	36,030	145,630
新学術領域研究	98	354,233	104,791	459,024
学術変革領域研究 (A)	53	235,408	84,048	319,456
学術変革領域研究 (B)	8	30,652	8,628	39,280
基盤研究 (S)	32	349,133	78,880	428,013
基盤研究 (A)	208	663,204	200,098	863,302
基盤研究 (B)	695	1,413,641	435,170	1,848,811
基盤研究 (C)	906	602,915	181,775	784,690
挑戦的研究 (開拓)	41	118,849	33,270	152,119
挑戦的研究 (萌芽)	179	246,238	73,935	320,173
若手研究 (A)	0	1,100	0	1,100
若手研究 (B)	9	788	0	788
若手研究	342	336,191	100,096	436,287
研究活動スタート支援	55	40,733	12,870	53,603
奨励研究	6	2,806	0	2,806
研究成果公開促進費	9	7,430	0	7,430
特別研究員奨励費	219	202,547	11,703	214,250
国際共同研究強化	87	100,427	31,529	131,956
帰国発展研究	1	18,492	0	18,492
合計	2,953	4,834,388	1,392,824	6,227,211

(注) 科学研究費助成事業について、学外の研究分担者に配分した金額を除き、研究分担者として学外から受け入れた件数・金額を含む
また、前年度から繰越が承認された科学研究費補助金の金額を含む
項目ごとに四捨五入を行っているため、合計は一致しない

学生数

2022年5月1日現在

(注) 1 ()内は女子の内数、〈 〉内は女子の比率(それぞれ赤字で表記)。
 2 []内は2年次編入学定員で外数。
 3 ()内は3年次編入学定員で外数(工学部は高専卒業者の受入れ)。
 4 以下の表は、すべて外国人留学生数を含む。

学部

学部等名	入学定員	在籍者数							計	研究生	聴講生	科目等履修生	特別聴講学生	合計
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次							
文学部	185人 [人]	—	192人	196人	226人	—	—	614人 (253(41.2%))	31人	2人	2人		649人 (274(42.2%))	
教育学部	50 (10)	—	51	66	73	—	—	190 (79(41.6))	11	1	2	1	205 (92(44.9))	
法学部	200 [10] [10]	—	225	217	236	—	—	678 (209(30.8))		1	2	1	682 (210(30.8))	
経済学部	190	—	191	200	228	—	—	619 (124(20.0))	12			6	637 (131(20.6))	
理学部	300	—	314	317	372	—	—	1,003 (217(21.6))			1	2	1,006 (217(21.6))	
医学部	287 [5]	—	299	301	297	112	124	1,133 (525(46.3))	4				1,137 (525(46.2))	
歯学部	53	—	57	43	54	53	58	265 (112(42.3))	1				266 (112(42.1))	
薬学部	80	—	84	82	81	30	30	307 (131(42.7))			1		308 (132(42.9))	
工学部	670 (10)	—	675	696	813	—	—	2,184 (292(13.4))		1		5	2,190 (294(13.4))	
農学部	215	—	219	212	230	—	—	661 (244(36.9))	2	3		2	668 (246(36.8))	
獣医学部	40	—	41	46	43	41	41	212 (124(58.5))					212 (124(58.5))	
水産学部	215	—	226	211	210	—	—	647 (155(24.0))	9			5	661 (158(23.9))	
現代日本学 プログラム課程	—	—	22	16	15	—	—	53 (35(66.0))					53 (35(66.0))	
総合教育部	—	2,658	—	—	—	—	—	2,658 (749(28.2))				123	2,781 (814(29.3))	
合計	2,485 [15] [30]	2,658	2,596	2,603	2,878	236	253	11,224 (3,249(28.9))	70	8	8	145	11,455 (3,364(29.4))	

*学部の入学定員は、学生が第2年次に進級した場合の入学定員である。

研究所等

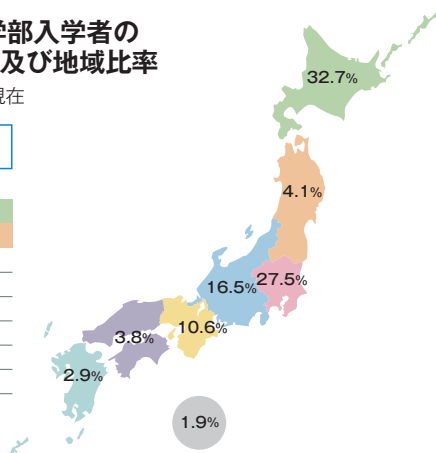
研究所等名	研究生	特別研究生	特別聴講学生	日本語・日本文化研修生	日本語研修生	合計
人獣共通感染症国際共同研究所		2人				2人 (1<50.0%)
量子集積エレクトロニクス研究センター					—	0 (0<0.0))
低温科学研究所					—	0 (0<0.0))
電子科学研究所	1				—	1 (1<100.0))
遺伝子病制御研究所	1				—	1 (1<100.0))
触媒科学研究所	2				—	2 (2<100.0))
スラブ・ユーラシア研究センター	1				—	1 (1<100.0))
情報基盤センター	3				—	3 (3<100.0))
国際連携機構					—	0 (0<0.0))
総合博物館					—	0 (0<0.0))
北方生物圏フィールド科学センター	4				—	4 (4<100.0))
高等教育推進機構	2			33	43	81 (43<53.1))
合計	16	0	33	43	3	95 (51<53.7))

2022年度学部入学者の都道府県分布及び地域比率

2022年5月1日現在

入学者数合計 2,545人
(うち女子721人)

北海道	831 (25.9)
東北	104 (2.9)
青森	21 (0.8)
岩手	6 (0.2)
宮城	37 (1.5)
秋田	20 (0.8)
山形	5 (0.2)
福島	15 (0.6)



関東	701 (17.1)	近畿	270 (8.1)	九州・沖縄	75 (2.9)
茨城	48 (1.5)	三重	15 (0.6)	福岡	32 (1.3)
栃木	25 (0.9)	滋賀	15 (0.6)	佐賀	5 (0.2)
群馬	26 (1.0)	京都	40 (1.6)	長崎	7 (0.3)
埼玉	101 (4.0)	大阪	78 (3.1)	熊本	10 (0.4)
千葉	62 (2.4)	兵庫	86 (3.4)	大分	1 (0.0)
東京	290 (11.4)	奈良	24 (0.9)	宮崎	3 (0.1)
神奈川	149 (5.8)	和歌山	12 (0.5)	鹿児島	5 (0.2)
北陸・中部	419 (16.5)	中国・四国	97 (3.8)	沖縄	12 (0.5)
新潟	35 (1.4)	鳥取	5 (0.2)	その他	48 (1.9)
富山	34 (1.3)	島根	5 (0.2)	高等学校 卒業程度 認定試験等	7 (0.3)
石川	61 (2.4)	岡山	12 (0.5)	帰国子女入試	7 (0.3)
福井	7 (0.3)	広島	40 (1.6)	外国人留学生	34 (1.3)
山梨	9 (0.4)	山口	2 (0.1)		
長野	34 (1.3)	徳島	7 (0.3)		
岐阜	19 (0.7)	香川	8 (0.3)		
静岡	81 (3.2)	愛媛	14 (0.5)		
愛知	139 (5.5)	高知	4 (0.2)		

(注) ()内は女子の内数(赤字で表記)

*地域別入学者数割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

入学状況

2022年度

学部

(注) 1 ()内は女子の内数(赤字で表記)。
2 []内は帰国子女入試分の外数。

学部名		入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	外国人留学生入学者数		
総合入試文系		一般	95人	349人	104人	98人 (31)		
		国際	5	14	5	4 (3)		
総合入試理系	数学重点選抜群	一般	125	410	129	125 (14)		
	物理重点選抜群	一般	225	591	230	225 (26)		
	化学重点選抜群	一般	226	605	235	228 (39)		
	生物重点選抜群	一般	169	444	173	171 (75)		
	総合科学選抜群	一般	239	691	246	240 (63)		
	計	一般	984	2,741	1,013	989 (217)		
		国際	10	18	10	8 (3)		
文学部		一般	155	673 [2]	170 [1]	159 (61) [1 (1)]	1 (0)	
教育学部		一般	30	153 [2]	31	30 (16)	1 (0)	
法学部		一般	180	672 [3]	193 [1]	181 (49) [1 (1)]		
経済学部		一般	160	665 [4]	170	166 (36)		
理学部	数学科	一般	10	105 [1]	10 [1]	9 (0)	3 (0)	
		フロンティア	13	50	13	13 (2)		
	物理学科	一般	3	81	8	7 (0)	1 (0)	
		フロンティア	14	22	10	10 (0)		
	化学科	一般	20	156	22	19 (6)		
		フロンティア	11	25	11	11 (1)		
	生物科学科	生物学専修分野	一般	10	108	11	10 (3)	
			フロンティア	3	6	3	3 (1)	
		高分子機能学専修分野	一般	2	18	2	2 (1)	
			フロンティア	3	6	3	3 (1)	
		計	一般	12	126 [0]	13 [0]	12 (4) [0 (0)]	
	フロンティア	3	6	3	3 (1)			
	地球惑星科学科		一般	5	70	6	5 (1)	1 (0)
			フロンティア	5	15	4	4 (1)	
計		一般	50	538 [1]	59 [1]	52 (11) [0 (0)]	5 (0)	
		フロンティア	46	118	41	41 (5)		
医学部	医学科	一般	92	315 [4]	97	97 (22)		
		フロンティア	5	9	0	0 (0)		
	保健学科	看護学専攻	一般	60	132 [2]	66	64 (59)	1 (0)
			フロンティア	7	16	3	3 (3)	
		放射線技術科学専攻	一般	28	73 [1]	35	35 (16)	
			フロンティア	7	12	2	2 (1)	
		検査技術科学専攻	一般	25	65	36	36 (25)	
			フロンティア	10	5	0	0 (0)	
		理学療法学専攻	一般	13	47	18	18 (9)	
			フロンティア	4	5	0	0 (0)	
	作業療法学専攻	一般	10	30	18	17 (11)		
		フロンティア	7	2	0	0 (0)		
	計	一般	136	347 [3]	173 [0]	170 (120) [0 (0)]	1 (0)	
	フロンティア	35	40	5	5 (4)			
計		一般	228	662 [7]	270 [0]	267 (142) [0 (0)]	1 (0)	
		フロンティア	40	49	5	5 (4)		
歯学部		一般	38	144 [1]	42	42 (18)		
		フロンティア	5	5	1	1 (0)		
薬学部		一般	24	336 [2]	32 [1]	27 (11)		
工学部	応用理工系学科	一般	29	296 [1]	40	33 (2)	1 (0)	
		フロンティア	19	49	15	15 (1)		
	情報エレクトロニクス学科	一般	38	280 [10]	43 [2]	35 (0) [1 (0)]	2 (0)	
		一般	25	331 [3]	28 [3]	23 (2) [2 (0)]		
	環境社会工学科	一般	47	378 [2]	59 [2]	53 (14) [1 (1)]	1 (1)	
		フロンティア	9	34	5	5 (1)		
計	一般	139	1,285 [16]	170 [7]	144 (18) [4 (1)]	4 (1)		
フロンティア	33	101	25	25 (2)				
農学部		一般	53	378 [5]	62	53 (15)		
獣医学部		一般	35	204 [2]	36 [1]	36 (19) [1 (1)]		
水産学部		一般	155	716 [1]	179	170 (40)	5 (2)	
		フロンティア	20	45	6	6 (2)		
現代日本学プログラム課程							17 (11)	
合計		一般	2,326	9,516 [46]	2,531 [12]	2,414 (684) [7 (4)]	34 (14)	
		フロンティア	159	350	93 0	90 (19)		
		計	2,485	9,866 [46]	2,624 [12]	2,504 (703) [7 (4)]		
インテグレイテッド・サイエンス・プログラム(ISP) (R3.10入学)							11 (8)	

(注) 1 秋入学者は含まない。
2 ()内は女子の内数(赤色で表記)。
3 ()は外国人留学生数の内数。

大学院(修士)

研究科等名	入学定員	志願者数				入学者数			
		本学	他大学	その他	計	本学	他大学	その他	計
法学研究科	20人	8人 (2)	33人 (17) (29)		41人 (19) (29)	4人 (1)	16人 (10) (13)		20人 (11) (13)
水産科学院	114	140 (38) (1)	14 (2) (5)		154 (40) (6)	100 (28)	7 (2) (3)		107 (30) (3)
環境科学院	159	81 (16) (1)	97 (37) (34)	15 (2)	193 (55) (35)	61 (11) (1)	73 (33) (27)	14 (1)	148 (45) (28)
理学院	127	132 (13) (7)	67 (12) (9)		199 (25) (16)	96 (9) (2)	38 (11) (9)		134 (20) (11)
農学院	142	175 (67) (6)	51 (28) (15)		226 (95) (20)	135 (53) (1)	32 (21) (11)		167 (74) (12)
生命科学院	132	96 (34) (1)	50 (15) (19)		146 (49) (20)	86 (29) (1)	38 (12) (16)		124 (41) (17)
教育学院	45	26 (11)	83 (61) (52)	1	110 (72) (52)	19 (10)	33 (23) (21)	1	53 (33) (21)
国際広報メディア・ 観光学院	47	2 (2)	219 (153) (193)		221 (153) (195)	1	53 (39) (43)		54 (39) (43)
保健科学院	40	46 (27)	20 (13) (11)		66 (40) (11)	36 (20)	13 (8) (6)		49 (28) (6)
工学院	326	369 (34) (4)	72 (16) (47)	7	448 (50) (51)	295 (29) (2)	39 (11) (24)	4	338 (40) (26)
総合化学院	129	141 (32) (2)	21 (7) (7)	5 (2)	167 (41) (9)	127 (28) (2)	14 (5) (4)	3 (1)	144 (34) (6)
経済学院	35	9 (2)	69 (33) (67)		78 (35) (67)	7 (2)	28 (15) (28)		35 (17) (28)
医学院	20	9 (3) (1)	14 (5) (2)		23 (8) (3)	9 (3) (1)	11 (3) (2)		20 (6) (3)
医理工学院	12	14 (2)	6 (2)		20 (4) (0)	8 (1)	4 (2)		12 (3) (0)
国際食資源学院	15	13 (5)	7 (6) (4)		20 (11) (4)	12 (4)	6 (5) (4)		18 (9) (4)
文学院	90	47 (17)	191 (111) (124)		238 (128) (124)	31 (12)	77 (46) (41)		108 (58) (41)
情報科学院	196	177 (15) (4)	57 (4) (20)	6	240 (19) (24)	154 (10) (2)	35 (4) (11)	5	194 (14) (13)
合計	1,649	1,485 (318) (28)	1,071 (522) (638)	34 (4) (0)	2,590 (844) (666)	1,181 (250) (12)	517 (250) (263)	27 (2) (0)	1,725 (502) (275)

大学院(専門職学位)

研究科等名	入学定員	志願者数				入学者数			
		本学	他大学	その他	計	本学	他大学	その他	計
法学研究科	50人	56人 (5)	74人 (19)		130人 (24) (0)	22人 (4)	22人 (2)		44人 (6) (0)
経済学院	20	10 (2)	51 (15) (13)		61 (17) (13)	6 (1)	15 (3)		21 (4) (0)
公共政策学教育部	30	14 (5)	42 (13) (19)	1	57 (18) (19)	10 (3)	20 (7) (7)		30 (10) (7)
合計	100	80 (12) (0)	167 (47) (32)	1 (0) (0)	248 (59) (32)	38 (8) (0)	57 (12) (7)	0 (0) (0)	95 (20) (7)

大学院(博士)

研究科等名	入学定員	志願者数				入学者数			
		本学	他大学	その他	計	本学	他大学	その他	計
法学研究科	15人	4人 (2) (2)	1人 (1)		5人 (2) (3)	3人 (2) (2)			3人 (2) (2)
水産科学院	19	7 (2) (2)	5 (1) (4)		12 (3) (4)	6 (2)	5 (1) (4)		11 (3) (4)
環境科学院	63	31 (13) (12)	12 (3) (5)		43 (16) (17)	27 (12) (10)	10 (3) (4)		37 (15) (14)
理学院	55	30 (5)	8 (3) (6)		38 (8) (6)	28 (5)	5 (2) (3)		33 (7) (3)
農学院	36	17 (4) (3)	6 (3) (4)		23 (7) (7)	16 (4) (2)	4 (2) (3)		20 (6) (5)
生命科学院	50	28 (8) (4)	12 (5) (8)		40 (13) (12)	24 (6) (4)	9 (5) (5)		33 (11) (9)
教育学院	21	7 (2) (2)	13 (7) (2)		20 (9) (4)	6 (2) (1)	6 (3)		12 (5) (1)
国際広報メディア・観 光学院	12	9 (7) (6)	6 (2) (5)		15 (9) (11)	7 (5) (4)	5 (2) (4)		12 (7) (8)
保健科学院	10	9 (5) (2)	4 (2) (4)		13 (7) (6)	7 (4) (1)	2 (1) (2)		9 (5) (3)
工学院	69	21 (3) (8)	14 (2) (13)		35 (5) (21)	18 (3) (6)	12 (1) (11)		30 (4) (17)
総合化学院	38	23 (2) (2)	7 (1) (4)		30 (3) (6)	23 (2) (2)	6 (1) (3)		29 (3) (5)
経済学院	8	4 (1) (1)	4 (2) (3)		8 (3) (4)	4 (1) (1)	1		5 (1) (1)
医学院	90	67 (16) (2)	26 (4)		93 (20) (2)	63 (15) (2)	23 (4)		86 (19) (2)
歯学院	40	11 (4)	23 (13) (6)		34 (17) (6)	11 (4)	21 (12) (5)		32 (16) (5)
獣医学院	16	3 (1)	14 (8) (11)		17 (9) (11)	3 (1)	13 (7) (10)		16 (8) (10)
医理工学院	5	2 (2)			2 (2) (0)	2 (2)			2 (2) (0)
国際感染症学院	12	2	10 (4) (6)		12 (4) (6)	2	9 (4) (6)		11 (4) (6)
国際食資源学院	6	5 (1)	2 (1) (1)		7 (1) (2)	5 (1)	1 (1) (1)		6 (1) (2)
文学院	35	32 (17) (14)	9 (1) (4)		41 (18) (18)	29 (15) (12)	5 (1) (3)		34 (16) (15)
情報科学院	43	22 (3)	4 (3)		26 (6)	20 (2)	4 (3)		24 (5)
合計	643	334 (94) (62)	180 (62) (90)	0 (0) (0)	514 (156) (152)	304 (85) (50)	141 (50) (67)	0 (0) (0)	445 (135) (117)

新渡戸カレッジ

Nitobe College



国際インターンシップ



新渡戸学(フェローゼミ)現地視察



チーム学習を基本としたアクティブラーニング中心の授業形態

2013年度に学士課程向け特別教育プログラムとして創設された新渡戸カレッジと、2015年度に大学院特別教育プログラムとして開設された新渡戸スクールは、2019年度に統合し、6年一貫の特別教育プログラム「新渡戸カレッジ」となった。本プログラムは、基礎プログラム及びオーナーズプログラムで構成され、リーダーシップを発揮して世界に貢献できるグローバル人材を育成する。

●**学部教育コース** 学士課程学生を対象とし、学部教育と並行して豊かな人間性・国際性を育むために取り入れられた各種教育を実践する。

- 自律的な個人の確立と専門能力を高める留学制度
- リーダーシップに必要なスキルとマインドを育む独自のカリキュラム
- 国際経験の豊かな同窓生等からなるフェローによるキャリア支援

●**大学院教育コース** 修士課程及び専門職学位課程学生を対象とし、各分野における高度な専門性に立脚し、その専門性を活用する能力、すなわち〈能力更新力〉、〈組織形成力〉、〈社会還元力〉、〈専門職倫理〉を高めることにより、国際社会における創造的な課題解決及び社会的価値の創出を実現できる専門家を育成するための各種教育を、大学院教育と並行して実践する。

- 国際社会の縮図 ○領域横断的学修環境
- 徹底したチーム学習とアクティブラーニング
- 実社会で活かせる世界的ネットワーク

就職支援

■ キャリアセンター Career Center



就職相談



就職ガイダンス

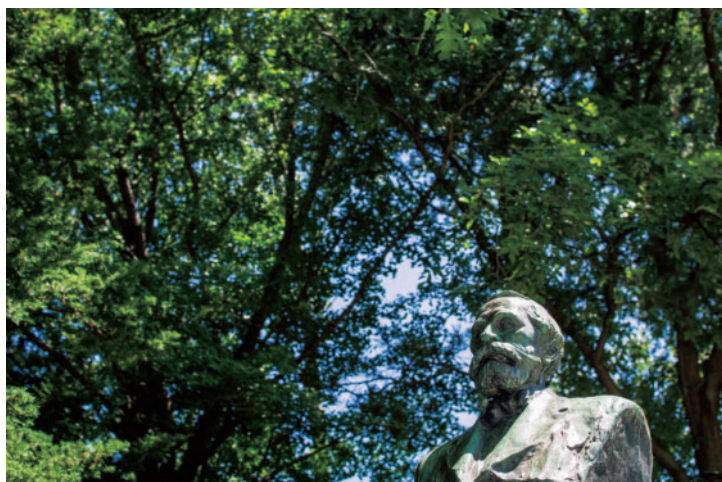
学部生、大学院生等、全ての学生(留学生を含む)一人ひとりのキャリア形成をサポートしている。

- 就職相談
- 就職情報の提供
- OB・OG名簿、就職サポーター名簿及び就職活動レポートの整備
- 就職ガイダンス・セミナーの実施
- 公務員ガイダンス・セミナーの実施
- イベント開催情報のメール配信
- インターンシップ支援

■開室時間等はHPにて確認のこと。

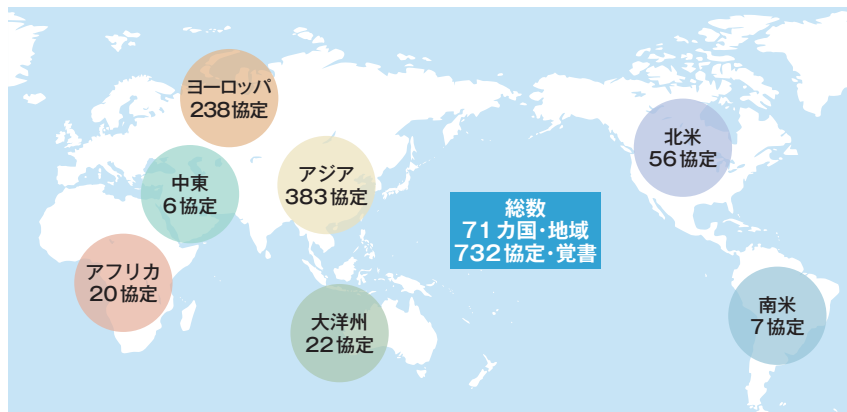
キャリアセンターHP

<https://cc.academic.hokudai.ac.jp/>



国際交流協定締結状況

協定大学の分布図



大学間交流協定 (51 国・地域、195 協定・199 機関) 2022年4月1日現在

国・地域名	協定大学名(所在地)	締結年月日
アジア	タイ王国	タックカ大学(タックカ)
	中華人民共和国	廈門大学(廈門)
		华中科技大学(武漢)
		吉林大学(長春)
		湖南大学(長沙)
		四川大學(成都)
		上海海洋大学(上海)
		上海交通大学(上海)
		西安交通大学(西安)
		清華大学(北京)
		西北農林科技大学(咸陽)
		浙江大學(杭州)
		大連理工大学(大連)
		中国海洋大学(青島)
		中国科学院大学(北京)
		中国人民大学(北京)
		東南大学(南京)
東北師範大学(長春)		
南開大学(天津)		
南京大學(南京)		
武漢大学(武漢)		
復旦大学(上海)		
北京大學(北京)		
北京科技大学(北京)		
北京師範大学(北京)		
香港城市大学(香港)		
香港中文大学(香港)		
蘭州大学(蘭州)		
インド	インド工科大学ハイデルバード校(ハイデルバード)	
	インド工科大学ボンベイ校(ムンバイ)	
	インド工科大学マドラス校(マドラス)	
	デリー大学(デリー)	
	マイソール大学(マイソール)	
	ガジャマダ大学(ジョグジャカルタ)	
	バランカラヤ大学(バランカラヤ)	
	バンドン工科大学(バンドン)	
	ボゴール農業大学(ボゴール)	
	仁川大学校(仁川)	
	江原大学校(春川)	
	韓国海洋大学校(釜山)	
	韓国科学技術院(木田)	
	高麗大学校(ソウル)	
	公州大学校(公州)	
	ソウル大学校(ソウル)	
	ソウル市立大学校(ソウル)	
成均館大学校(ソウル)		
忠南大学校(大田)		
忠北大学校(清州)		
忠北大学校(全州)		
東義大学校(釜山)		
漢陽大学校(ソウル)		
韓京大学校(安城)		
全慶大学校(釜山)		
延世大学校(ソウル)		
嶺南大学校(慶山)		
マレーシア	マレーシア科学大学(ブラウ・ベナン)	
	マレーシア・サハ大(コタキナバル)	
	モンゴル国立大学(ウランバートル)	
	モンゴル生命科学大学(ウランバートル)	
	バテイン大学(バテイン)	
	トリバラン大学(カトマンズ)	
	テラサタ大学(マニラ)	
	フィリピン大学(ケソンシティ)	
	シンガポール国立大学(シンガポール)	
	スリランカ民主主義主義共和国	
	ベラテニ大学(ベラテニヤ)	
	国立清華大学(新竹)	
	国立成功大学(台南)	
	国立政治大学(台北)	
	国立台湾大学(台北)	
	国立台湾海洋大学(基隆)	
	国立台湾師範大学(台北)	
国立中興大学(台中)		
国立中正大学(嘉義)		
国立東華大学(花蓮)		
国立陽明交通大学(新竹)		
台北医学大学(台北)		
淡江大学(淡水)		
中央研究院(台北)		
中国醫藥大学(台中)		
タイ王国	アジア工科大学(クロナルアン)	
	カセート大学(バンコク)	
	タマサート大学(バンコク)	
	チュラロンコン大学(バンコク)	
	マヒドン大学(サラヤ)	
	モンクット工科大学トンプリ校(バンコク)	
	モンクット王立工科大学(バンコク)	
	カントー大学(カントー)	
	ベトナム国家大学ハノイ校科学大学(ハノイ)	
	ベトナム国家大学ホーチミン校(ホーチミン)	
	ベトナム国家大学ハノイ工科大学(ホーチミン)	
	オーストラリア国立大学(キャンベラ)	
	サンシャインコースト大学(サンシャインコースト)	
	シドニー大学(シドニー)	
	タスマニア大学(ホバート)	
	ニューサウスウェールズ大学(シドニー)	
	マードック大学(パース)	
メルボルン大学(メルボルン)		

国・地域名	協定大学名(所在地)	締結年月日
大洋州	ニュージーランド	オークランド大学(オークランド)
	オーストラリア	オタゴ大学(オタゴ)
	ニュージーランド	地質・核科学研究所(ウェリントン)
	デンマーク王国	オーフス大学(オーフス)
	エストニア共和国	タルトウ大学(タルトウ)
	フィンランド共和国	アールト大学(エスボ)
	フィンランド共和国	オウル大学(オウル)
	フィンランド共和国	トゥルク大学(トゥルク)
	フィンランド共和国	東フィンランド大学(ヨエンソ)
	フィンランド共和国	ヘルシンキ大学(ヘルシンキ)
	フィンランド共和国	ラップランド大学(ロバニエ)
	フィンランド共和国	エクスマルセイユ大学(マルセイユ)
	フィンランド共和国	エコーラポリテクニク(ハルネ)
	フィンランド共和国	機械航空高等国立大学(ホウガイ)
	フィンランド共和国	グルノーブルアルプス大学(次の3大学を含む: グルノーブル工科大学、グルノーブル政治学院、グルノーブル国立建築大学(グルノーブル))
	フィンランド共和国	ストラスブル大学(ストラスブル)
	フィンランド共和国	パリ市立工業物理化学高等専門学校(パリ)
ドイツ連邦共和国	パリ政治学院(パリ)	
ドイツ連邦共和国	レスター大学(レスター)	
ドイツ連邦共和国	ケルン大学(ケルン)	
ドイツ連邦共和国	ハイデルベルグ大学(ハイデルベルグ)	
ドイツ連邦共和国	ハイロイト大学(ハイロイト)	
ドイツ連邦共和国	ブレーメン大学(ブレーメン)	
ドイツ連邦共和国	ミュンヘン工科大学(ミュンヘン)	
ドイツ連邦共和国	ルトヴィヒ・マクシミリアン大学(ミュンヘン)	
ハンガリー	ブダペスト工科大学(ブダペスト)	
アイスランド	アイスランド国立大学タリシ校(タリシ)	
アイスランド	ヴェネツィア・カ・フオスカリ大学(ヴェネツィア)	
イタリア共和国	トリノ工科大学(トリノ)	
イタリア共和国	ミラノ工科大学(ミラノ)	
カザフスタン共和国	カザフスタン国立大学(アルマティ)	
ラトビア共和国	ラトビア大学(リーガ)	
ラトビア共和国	ヴィルニウス大学(ヴィルニウス)	
オランダ王国	アムステルダム自由大学(アムステルダム)	
ルクセンブルク大公国	ルクセンブルク大学(ルクセンブルク)	
ルルウェニウム	ベルゲン大学(ベルゲン)	
ルルウェニウム	AGH科学技術大学(クラコフ)	
ポーランド共和国	ワルシャワ工科大学(ワルシャワ)	
ポーランド共和国	ワルシャワ工科大学(ワルシャワ)	
ポーランド共和国	アルカルク大学(ワルシャワ)	
ポーランド共和国	ワルシャワ工科大学(ワルシャワ)	
ルーマニア	イルクーツク大学(イルクーツク)	
ルーマニア	極東連邦大学(ウラジオストク)	
ルーマニア	国立研究大学高等経済学院(モスクワ)	
ロシア連邦	サンクトペテルブルク国立大学(サンクトペテルブルク)	
ロシア連邦	サンクトペテルブルク国立大学(サンクトペテルブルク)	
ロシア連邦	太平洋国立大学(ハロフスク)	
ロシア連邦	ヴォジビルク国立大学(ヴォジビルク)	
ロシア連邦	北東連邦大学(ヤクーツク)	
ロシア連邦	モスクワ国立大学(モスクワ)	
ロシア連邦	ロシア科学アカデミー極東支部(ウラジオストク)	
セルビア共和国	ベオグラード大学(ベオグラード)	
スペイン	バルセロナ自治大学(バルセロナ)	
スペイン	ワレド大学(ワレド)	
スウェーデン王国	ウメオ大学(ウメオ)	
スウェーデン王国	スウェーデン工科大学(ストックホルム)	
スウェーデン王国	ジュネーブ大学(ジュネーブ)	
スイス連邦	スイス連邦工科大学チューリッヒ校(チューリッヒ)	
スイス連邦	アパティン大学(アパティン)	
スイス連邦	イーストアングリア大学(リッジ)	
スイス連邦	ウリック大学(ウリック)	
スイス連邦	エジンバラ大学(エジンバラ)	
スイス連邦	シェフィールド大学(シェフィールド)	
スイス連邦	ニューカッスル大学(ニューカッスル)	
ウズベキスタン共和国	世界経済外交大学(タシケント)	
ウズベキスタン共和国	アタウルタ大学(タシケント)	
カナダ	プリンスエドワード島大学(バンクバー)	
カナダ	セントジョンズ大学(セントジョンズ)	
カナダ	アラスカ大学(フェアバンクス)	
カナダ	ワイズマン大学(ワイズマン)	
カナダ	オクホマ大学(ノーマン)	
カナダ	オハイオ州立大学(コロンバ)	
カナダ	オレゴン大学(ポートランド)	
カナダ	オレゴン州立大学(ポートランド)	
カナダ	カリフォルニア州立大学(デービス)	
カナダ	カリフォルニア州立大学(ロサンゼルス)	
カナダ	コロンビア大学(イサカ)	
カナダ	コロラド州立大学(フォートコロリス)	
カナダ	サンディエゴ州立大学(サンディエゴ)	
カナダ	ハワイ大学ヒロカ(ヒロカ)	
カナダ	ハワイ大学マノア校(ホノルル)	
カナダ	ポートランド州立大学(ポートランド)	
カナダ	マサチューセッツ大学アマースト校(アマースト)	
カナダ	マサチューセッツ大学ボストン校(ボストン)	
南米	ウシントン大学(ウシントン)	
南米	サンパウロ大学(サンパウロ)	
南米	ポルトアレグレ大学(ポルトアレグレ)	
南米	キング・アダムズ大学(キング・アダムズ)	
中東	UAE大学(アラブ・エミレーツ)	
中東	ナイロビ大学(ナイロビ)	
ナイジェリア連邦共和国	ナイジェリア大学(イバ丹)	
ナイジェリア連邦共和国	エド大学(エド)	
ナイジェリア連邦共和国	オバネス大学(オバネス)	
ナイジェリア連邦共和国	プレトリア大学(プレトリア)	
ナイジェリア連邦共和国	ヨハネスブルグ大学(ヨハネスブルグ)	
ナイジェリア連邦共和国	カッパーベルト大学(キトウェ)	
ナイジェリア連邦共和国	ザンビア大学(ルサカ)	

※学術交流協定の他に学生交流覚書を締結している大学、◎学生交流覚書のみ締結している大学

大学間交流協定に基づく覚書/部局間交流協定(63カ国・地域、537協定) 2022年4月1日現在

A=学術交流 S=学生交流 D=ダブルディグリー C=コチュレル I=インターンシップ U=共同利用 J=ジョイントセミナー L=図書館交流 P=サマープログラム

○大学間交流協定に基づく覚書

国・地域名	協定大学等名(所在地)	部局等名	大学の締結部局	交流内容	締結年月日	
Bangladesh 人民共和国	ジャハングルナガル大学(ダッカ)	数学・物理学部	地球環境科学研究所	A	2012.1.26	
	ソポロデンタルカレッジ(ダッカ)		歯学研究所・歯学院	A	2018.2.27	
カンボジア王国	王立農業大学(プノンペン)		農学研究所・農学院・農学部	A, S	2016.7.15	
	王立農業大学(プノンペン)	水産学部	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	A, S	2018.6.28	
	カンボジア工科大学(プノンペン)		工学研究所・工学院・工学部・情報科学研究科・総合化学院	A, S, I	2016.10.21	
	水産局(プノンペン)		水産科学研究所	A	2017.3.10	
アジア	廈門大学(廈門)	固体表面物理化学国家重点実験室	触媒科学研究所	A	2007.10.9	
	廈門大学(廈門)	地球科学・技術学部	環境科学院	C	2016.6.23	
	雲南農業大学(昆明)		農学研究所・農学院・農学部	A, S	2012.7.26	
	華中師範大学(武漢)	化学学院	触媒科学研究所	A	2018.11.28	
	華中農業大学(武漢)		農学研究所・農学院・農学部	A, S	2015.9.22	
	華中農業大学(武漢)	水産学院	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	A, S	2017.8.21	
	華中農業大学(武漢)	水産学院	水産科学院	C	2021.1.27	
	華中農業大学(武漢)	生命科学技術学部	理学研究所・理学部・生命科学院	A, S	2020.8.4	
	華東師範大学(上海)	化学系	触媒科学研究所	A	2005.3.18	
	華東師範大学(上海)	地球科学部	地球環境科学研究所・環境科学院	A, S	2017.10.23	
	華東理工大学(上海)	法学院	法学研究科・法学部	A, S	2008.7.3	
	華南農業大学(広州)	食品学院	先端生命科学研究所・生命科学院	A, S	2016.1.29	
	華南理工大学(広州)	轻工科学与工程学院	農学研究所・農学院・農学部	A, S	2019.8.23	
	華南理工大学(広州)	轻工食品学院	先端生命科学研究所・生命科学院	A, S	2012.12.20	
	吉林大学(長春)	法学院	法学研究科・法学部	A, S	1998.11.10	
	吉林大学(長春)	電子科学与工程学院				
	ハルビン工業大学(ハルビン)	環境工コシステムナノテクノロジー研究センター	電子科学研究所		A	2014.3.21
	北京国家ナノ科学センター(北京)	ナノデバイス研究所				
	協和医科大学(北京)		医学部		A	1994.7.14
	広州大学(広州)	生命科学学院	農学研究所・農学院・農学部		A, S	2019.4.25
	黒龍江省社会科学院(ハルビン)		スラブ・ユーラシア研究センター		A	2010.6.14
	黒龍江省林業科学研究所(ハルビン)		北方生物園フィールド科学センター		A	2011.10.19
	山東大学(済南)	口腔医学院	歯学研究科		A	2016.6.13
	四川農業大学(雅安)		農学研究所・農学院・農学部		A, S	2012.6.18
	上海海洋大学(上海)	大学院	水産科学院		C	2021.5.20
	上海交通大学(上海)	工学院	工学研究所・工学院		A	1992.11.23
	重慶大学(重慶)	工学部・建築学部	工学研究所・工学院・工学部		A, S	2014.3.7
	深圳大学(深圳)	土木与交通工程学院	工学研究所・工学院・工学部		A, S	2020.9.7
	瀋陽工業大学(瀋陽)		工学部		A	1985.6.24
	瀋陽農業大学(瀋陽)		農学研究所・農学院・農学部		A, S	1986.11.5
	西安建築科技大学(西安)		工学研究所・工学院		A, S	2010.6.12
	西安交通大学(西安)	材料科学与工程学院	工学院		D	2017.9.12
	西安交通大学(西安)	電子・情報工程学院	電子科学研究所		A	2015.6.25
	西安交通大学(西安)	理学部	工学院・工学部		S	2015.6.30
	西安交通大学(西安)	理学部	理学部		S	2015.10.15
	西安理工大学(西安)	材料科学与工程学院	電子科学研究所		A	2015.6.25
	清華大学(北京)	材料科学与工程系・化学工程系	工学研究所・工学院・総合化学院		A	2012.3.20
	西南政法大学(重慶)		法学研究科・法学部		A, S	2016.9.7
	浙江海洋大学(舟山)		水産科学研究所・水産科学院・水産学部		A, S	2018.11.3
	浙江大学(杭州)	数学科学部	理学院		D	2018.1.24
	大連海洋大学(大連)		水産科学研究所・水産科学院・水産学部		A, S	2000.9.15
	大連理工大学(遼寧)	海洋科学技術学院	水産科学院・水産学部		S	2021.7.28
	中国海洋大学(青島)	水産学院	水産科学院		C	2021.8.4
	中国科学院(長春)	東北地理・農業生態研究所	農学研究所・農学院・農学部		A, S	2012.7.3
	中国社会科学院(北京)	新聞与伝播研究所	メディア・コミュニケーション研究所・国際広報メディア・観光学院		A, S	2009.2.19
	中国社会科学院(北京)	東欧・ロシア・中央アジア研究所	スラブ・ユーラシア研究センター		A	1994.9.13
	中国人民大学(北京)	化学系	触媒科学研究所		A	2016.11.18
	中国人民大学(北京)	教育学院	教育学研究所・教育学院		A, S, C	2013.3.28
	中国西南大学(重慶)	資源環境学院	農学研究所・農学院・農学部		A, S	2013.12.16
	中国石油大学(北京)	化工学院	触媒科学研究所		A	2001.12.7
	中国地質大学(北京)	地球科学・資源学部	理学研究所・理学院・理学部		A, S	2021.7.29
	中国内モンゴル農業大学(呼和浩特)	農学院	農学研究所・農学院・農学部		A, S	2014.1.6
	中国農業科学院(北京)	農業環境・持続発展研究所	農学研究所・農学院・農学部		A, S	2019.7.23
中国農業大学(北京)	情報・電気工学院	農学研究所・農学院・農学部		A, S	2016.4.11	
中国農業大学(北京)	生物科学部	理学研究所・理学部・生命科学院		A, S	2020.8.5	
中国福建省農業科学院(福州)		農学研究所		A	2012.11.13	
中南大学(長沙)	土木工程学院	工学研究所・工学院・工学部		A, S, I	2020.3.28	
長春理工大学(長春)		工学研究所・工学院・工学部・情報科学研究科・総合化学院		A, S	2017.10.25	
長春理工大学(長春)	法学院	法学研究科		A, S	2016.5.4	
東南大学(南京)	数学系	理学研究所		A	2010.8.15	
東南大学(南京)	数学系	理学院		D	2011.3.9	
東北大学(瀋陽)		工学研究所・工学院・工学部		A, S	2011.3.9	
東北師範大学(長春)	理学院	理学院		D	2011.2.20	
東北農業大学(ハルビン)		農学研究所・農学院・農学部		A, S	1986.6.2	
東北林業大学(ハルビン)		農学部		A	1986.12.31	
南京大学(南京)	化学化工学院	総合化学院		D	2017.2.27	
南京師範大学(南京)	法学院	法学研究科・法学部		A, S	2009.5.15	
南京信息工程大学(南京)	応用気象学院	農学研究所・農学院・農学部		A, S	2020.9.17	
南京農業大学(南京)		農学研究所・農学院・農学部		A, S	2014.12.30	
南京農業大学(南京)		文学研究所・文学院・文学部		A, S	2020.7.14	
南京理工大学(南京)	外国語学院	文学研究科・文学部		A, S	2017.12.19	
ハルビン医科大学(ハルビン)		医学部		A	1985.2.26	
ハルビン工業大学(ハルビン)		工学研究所・工学院・工学部		A, S	2009.8.11	
ハルビン工程大学(ハルビン)	工科学院	工学研究所・工学院・工学部・総合化学院		A, S	2008.8.18	
武漢紡織大学(武漢)	化学・化学工学院	地球環境科学研究所・環境科学院		A, S	2019.10.15	
武漢紡織大学(武漢)	化学・化学工学院	電子科学研究所		A	2019.10.15	
武漢理工大学(武漢)	机电工程学院・土木工程与建築学院	工学研究所・工学院・工学部		A, S	2014.3.28	
復旦大学(上海)	数学研究所	理学研究科		A	2004.1.1	
北京大学(北京)	図書館	附属図書館		U	2005.4.1	
北京科技大学(北京)		工学研究所・工学院		A	2005.11.24	
北京交通大学(北京)	土木建築工程学院	工学研究所・工学院		A, I	2017.8.28	
北京交通大学(北京)	土木建築工程学院	工学院		S	2017.8.28	
北京師範大学(北京)	教育学部	教育学研究所		A	2014.12.26	
北京師範大学(北京)	教育学部	教育学院		C	2018.9.14	
北京師範大学(北京)	教育学部	教育学研究所・教育学部		S	2019.10.31	
北京林業大学(北京)		農学研究所・農学院・農学部		A, S	2013.6.5	
揚州大学(揚州)	生命科学・技術学院	低温科学研究所		A	2018.7.19	

沿革

組織 財政

学生

国際交流

実施状況 寄附講座・公開講座等の

全学的な教育研究体制

キャンパス

国・地域名	協定大学等名(所在地)	部局等名	本学の締結部局	交流内容	締結年月日
中華人民共和国	揚州大学(揚州)	生命科学・技術学院	理学研究院・理学部・生命科学部	A、S	2019.1.11
	香港大学(香港)	看護学部	保健科学研究所・保健科学院	A、S	2019.1.24
	香港大学(香港)	牙醫學院	歯学研究院	A	2017.5.18
	香港大学(香港)	人文科学部	文学研究科・文学部	A、S	2016.12.19
	香港大学(香港)	李嘉誠醫學院	医学研究科・医学部	A、S	2008.1.30
	香港科技大学(香港)	工学部	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究科・総合化学院	A、I	2018.1.2
	香港科技大学(香港)	理学院	地球環境科学研究院・環境科学院	A、S	2015.12.28
	香港城市大学(香港)	工学部	電子科学研究所	A	2020.9.25
	香港城市大学(香港)	理学部	電子科学研究所	A	2020.9.24
	香港城市大学(香港)	理工学部	電子科学研究所	A	2015.12.10
香港中文大学(香港)	医学院	医学研究院・医学部	S	2016.11.1	
インド	インド科学教育研究大学ポーバル校(ポーバル)		遺伝子病制御研究所	A	2016.3.29
	インド科学教育研究大学ブネ校(ブネ)		理学研究院・理学院・理学部・先端生命科学研究所・生命科学院・総合化学院	A、S	2016.2.10
	インド工科大学カンプール校(カンプール)		工学研究院・工学院・工学部・情報科学院・総合化学院	A、S	2018.10.22
	インド工科大学グワーハティ校(グワーハティ)	バイオサイエンス・バイオエンジニアリング学部	農学研究院・農学部	A、S	2015.4.28
	インド工科大学ハイデラバード校(ハイデラバード)		工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究科・総合化学院	A、S、I	2016.12.2
インド工科大学マドラス校(チェンナイ)		工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究科・総合化学院	A、S、I	2017.1.27	
インド工科大学ルールキー校(ルールキー)	物理学部	理学研究院・理学院・理学部	A、S	2019.12.5	
インドネシア・イスラム大学(ジョグジャカルタ)	土木工学部	地球環境科学研究院	A	2008.12.11	
インドネシア・イスラム大学(ジョグジャカルタ)	理学・自然科学部	地球環境科学研究院・環境科学院	A	2018.2.27	
インドネシア生命科学国際大学(ジャカルタ)	生命科学部	農学研究院・農学部	A、S	2017.7.19	
インドネシア大学(ジャカルタ)	環境科学院	国際食資源学院	A、S	2020.4.27	
インドネシア大学(デボック)	数学自然科学学科	理学研究院・理学部	A、S	2018.10.19	
インドネシア大学(デボック)	数学自然科学学科	理学院	D	2018.11.6	
スイスジャーマンユニバーシティ(タンゲラン)		農学研究院・農学部	A、S	2018.3.13	
スリウィジャヤ大学(バレンバン)	農学部	農学研究院・農学部	A、S	2010.9.23	
ティボネゴロ大学 医学部 Dr. カリアディ病院(スマラン)		保健科学研究所・保健科学院	A、S	2012.12.4	
ティボネゴロ大学(スマラン)	水産海洋学部	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	A、S	2019.11.18	
バジャジャラン大学(バンドン)	数学・自然科学部	理学研究院・理学部	A、S、D	2022.3.17	
バジャジャラン大学(バンドン)	地質学部	総合博物館	A	2011.2.24	
バンドン工科大学(バンドン)	土木・計画工学部	工学研究院・工学院	A、S	2000.8.11	
ブラウイジャヤ大学(マラン)	水産・海洋学部	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	A、S	2018.11.15	
ボゴール農業大学(ボゴール)	獣医学部	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2010.10.14	
ボゴール農業大学(ボゴール)	大学院	農学部	D	2017.12.14	
仁川大学校(仁川)	工科大学・都市科学大学	工学研究院・工学院	A	2011.5.26	
圓光大学校(益山)	北東アジア人文・社会科学研究所	公共政策学連携研究部・教育部	A	2020.8.26	
嘉泉大学校(京畿道城南市)	バイオナノ大学・生命科学	薬学研究院・薬学部・生命科学部	A、S	2017.11.28	
韓国科学技術院(大田)	自然科学部	理学研究院・理学部	A、S	2015.3.16	
韓国極地研究所(仁川)		低温科学研究所	A	2019.6.24	
韓国極地研究所(仁川)	海水研究ユニット	北極域研究センター	A	2018.1.9	
韓国地質資源研究院地質博物館(大田)		総合博物館	A	2013.3.20	
江陵原州大学校(江陵)	歯学部	歯学研究科	A	2015.4.20	
江陵原州大学校(江陵)	生命科学大学	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	A、S	2007.7.1	
慶尚大学校(晋州)	医科大学	医学研究科・医学部	A、S	2015.7.6	
慶尚大学校(晋州)	海洋科学大学	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	A、S	2003.12.15	
慶熙大学校(水原)	生命科学大学	北方生物園フィールド科学センター	A	2004.2.25	
慶北大学校(大邱)	医科大学・医学専門大学院	医学研究科・医学部	A、S	2016.9.27	
国立慶南科学技術大学校(晋州)		農学研究院・農学部・国際食資源学院	A、S	2018.1.16	
国立生熊院(忠清南道)		北方生物園フィールド科学センター	A	2018.11.6	
高麗大学校(ソウル)	医科大学	医学研究院・医学部	A、S	2019.3.11	
高麗大学校(ソウル)	師範大学	教育学部	A	2011.10.31	
高麗大学校(ソウル)	師範大学・教育大学院	情報基盤センター	A	2009.7.23	
公州大学校(公州)	師範大学	教育学部	S	2012.2.7	
ソウル大学校(ソウル)	行政大学院	公共政策学連携研究部・教育部	A	2020.8.20	
ソウル大学校(ソウル)	工科大学	工学部・工学院・情報科学研究科	S	2011.1.17	
ソウル大学校(ソウル)	工科大学	工学部・工学院・情報科学研究科	I	2011.1.17	
ソウル大学校(ソウル)	工科大学	工学院・情報科学研究科	D	2011.7.31	
ソウル大学校(ソウル)	公衆衛生大学院 BK21 プラス 健康環境教育研究センター	環境健康科学研究教育センター	A	2016.6.29	
ソウル大学校(ソウル)	師範大学	教育学研究院	A	2014.7.14	
ソウル大学校(ソウル)	図書館	附属図書館	L	2019.1.10	
ソウル大学校(ソウル)	分子ダイナミクス研究センター	低温科学研究所	A	2009.6.30	
ソウル大学校(ソウル)	法科専門大学院	法学研究科・法学部	A	2019.12.13	
ソウル大学校(ソウル)	薬学大学	薬学研究院・薬学部	A、S	2015.7.17	
ソウル大学病院(ソウル)		北海道大学病院	A	2018.11.8	
ソウル女子大学(ソウル)	自然科学部	農学研究院・農学部	A、S	2010.6.11	
清州大学校(清州)	海洋科学大学	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	A、S	2002.12.17	
清州大学校(清州)	社会科学大学院	法学研究科・法学部	A、S	2018.1.18	
忠南大学校(大田)	薬学大学	薬学研究院・薬学部	A、S	2016.2.2	
忠北大学校(清州)	工科大学	工学研究院・工学院・工学部・総合化学院	A、S、I	2007.12.6	
中央大学校(ソウル)	接境人文学研究所	公共政策学教育部	A、S	2019.5.11	
全南大学校(麗水)	水産海洋大学	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	A、S	2007.8.27	
全南大学校(光州)	農業生命科学大学	農学研究院・農学部	A、S	2002.1.24	
全北大学校(全州)	韓国人獣共通感染症研究所	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2017.1.11	
全北大学校(全州)	歯医学専門大学院	歯学研究科	A	1990.11.22	
漢陽大学校(ソウル)	工学大学	工学研究院・工学院・工学部	A、S	2011.9.19	
漢陽大学校(ソウル)	芸術大学	情報基盤センター	A	2011.7.29	
釜慶大学校(釜山)	水産科学大学	水産科学院・水産学部	S	2011.12.26	
釜山大学校(釜山)	工科学院	工学研究院・工学院・工学部	A、S	2016.8.4	
釜山大学校(釜山)	自然科学大学	理学研究院・理学院・理学部・先端生命科学研究所・生命科学院・総合化学院	A、S	2016.6.15	
浦項工科大学校(浦項)		工学研究院・工学院・工学部・情報科学院・総合化学院	A、S	2016.6.8	
延世大学校(ソウル)	商経大学	経済学研究科	J	2010.11.22	
延世大学校(ソウル)	商経大学	経済学部	D	2019.2.20	
嶺南大学校(慶山)	商経大学	経済学研究科	A	2001.9.27	
トレンガヌ大学(クアラトレンガヌ)	水産養殖学部	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	A	2018.6.24	
熱帯泥炭研究所(クテン)		農学研究院・農学部	A	2016.3.8	
マネジメント&サイエンス大学(シャーラム)	大学院・薬学部	薬学研究院・薬学部・生命科学部	A、S	2017.11.8	
マラヤ大学(クアラルンプール)	医学部	医学研究院・医学部	A、S	2017.8.29	
マレーシア・サバ大学(コタキナバル)	熱帯生物保全研究所	地球環境科学研究院・環境科学院	A、S	2014.2.5	
マレーシア・トレンガヌ大学(トレンガヌ)	海洋科学・環境科学部	地球環境科学研究院・環境科学院	A、S	2014.9.29	
マレーシア科学大学(ブラウ・バナ)	材料・資源工学部	工学研究院・工学院・工学部	I	2015.1.19	
マレーシア国際イスラム大学(クアラルンプール)	工学部	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究科・総合化学院	A、S、I	2012.11.12	
マレーシアブトラ大学(ブトラジャヤ)		工学研究院・工学院	A、S、I	2018.3.9	
モンゴル科学アカデミー(ウランバートル)	古生物学センター	総合博物館	A	2011.8.15	
モンゴル科学アカデミー(ウランバートル)	地理学研究所	地球環境科学研究院・農学研究院	A	2009.2.18	
モンゴル科学技術大学(ウランバートル)	機械工学交通学部・応用科学部・土木建築工学部・産業技術学部・動力技術工学部・地質鉱山学部・情報通信技術学部	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究科・総合化学院	A、S、I	2017.1.9	
モンゴル国立大学(ウランバートル)	応用科学・工学部	医理工学院	C	2020.1.22	

国・地域名	協定大学等名(所在地)	部局等名	本学の締結部局	交流内容	締結年月日
モンゴル国	モンゴル国立大学(ウランバートル)	原子核研究センター	理学研究院	A	2010.9.21
	モンゴル国立大学(ウランバートル)	文化・科学部及び応用科学・工学部	地球環境科学研究院・農学研究院	A	2009.2.18
	モンゴル国家資金水環境監視省水文気象研究所(ウランバートル)		地球環境科学研究院・農学研究院	A	2009.2.12
	モンゴル生命科学大学(ウランバートル)	獣医学研究所	獣医学研究院	A	2013.5.7
ミャンマー連邦共和国	ミャンマー獣医科学大学(イェジン)		獣医学研究科	A	2013.10.7
	ミャンマー保健省(ヤンゴン)	医学研究局	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2013.6.10
ネパール連邦民主共和国	カトマンズ大学(ドゥリケル)	歯学部	歯学研究科	A	2017.2.5
	カトマンズ大学(ドゥリケル)	歯学部	歯学院	S	2017.7.10
フィリピン共和国	自然保護ナショナルトラスト ネパール編成推進会/ドゥラネパール編成プロジェクト(カトマンズ)		獣医学研究科、人獣共通感染症リサーチセンター	A	2016.4.11
	国際イネ研究所(ロスバニョス)		農学研究院・農学院・農学部	A	2015.3.10
	セントラルミンダナオ大学(マラマク)	工学部	工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究科	A、S	2016.9.20
	フィリピン水牛センター(ムニョス)		人獣共通感染症リサーチセンター	A	2009.12.5
	フィリピンカラバオセンター(ムニョス)		獣医学研究科	A	2015.9.29
シンガポール共和国	フィリピン大学ディリマン校(ケソン)	工学部	情報科学研究科	A、S	2010.4.28
	フィリピン大学ロスバニョス校(ラグナ)		農学院	C	2017.8.10
	ミンダナオ州立大学イリガン工科大学(イリガン)		工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究院・情報科学部、総合化学院	A、S、I	2020.6.10
	シンガポール国立大学(シンガポール)	医学部	医学部	S	2015.5.22
	シンガポール国立大学(シンガポール)	理学部	水産科学研究院	A、P	2014.3.24
	シンガポール国立大学(シンガポール)	理学部	農学研究院・農学院・農学部	A、P	2018.4.1
	ナンヤン工科大学(ナンヤン)	リーコンチェン医学部	医学研究院・医学部	A、S	2016.9.15
スリランカ	スリランカ工科大学(ナンヤン)	リーコンチェン医学部	北海道大学病院	A	2017.5.22
台湾	モラツワ大学(スリランカ)		工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究科、総合化学院	A、S	2017.6.6
	雲林科技大学(斗六)	人文・科学学部	文学研究科	A、S	2017.1.25
	国立金門大学(金門)	社会科学部	公共政策学連携研究部	A	2015.3.11
	国立彰化師範大学(彰化)	社会科学部・体育学院	公共政策学連携研究部・公共政策学教育部	A、S	2015.11.5
	国立清華大学(新竹)	工学院・理学院・原子科学院	総合科学院、工学院	D	2021.6.11
	国立成功大学(台南)	歯学部	歯学研究院・歯学院・歯学部	A、S	2021.3.25
	国立成功大学(台南)	理学院	理学研究院	A	2011.10.4
	国立成功大学(台南)	理学院	理学院	D	2017.7.24
	国立政治大学(台北)	原住民族研究センター	アイヌ・先住民研究センター	A	2007.10.18
	国立政治大学(台北)	文学院	文学研究科	A	2014.3.17
	国立政治大学(台北)	法学院、社会学院、国際事務学院	法学研究科・法学部、公共政策学連携研究部・教育部	A、S	2005.7.28
	国立台中科技大学(台中)	応用日本語学科	公共政策学教育部	A、S	2019.10.1
	国立台北科技大学(台北)	公共行政暨政策学科	公共政策学連携研究部	A	2011.9.27
	国立台北科技大学(台北)	工程学院	工学研究院・工学院・工学部、理学研究院・理学部、情報科学研究科、総合化学院	A、S、I	2017.7.31
	国立台湾大学(台北)	医学院	医学研究科・医学部	A、S	2016.9.12
	国立台湾大学(台北)	医学部附属病院	北海道大学病院	A	2014.2.12
	国立台湾大学(台北)	工学院	総合化学院、環境科学院、理学院、生命科学部、工学院	S	2014.3.6
	国立台湾大学(台北)	工学院	総合化学院	D	2016.10.20
	国立台湾大学(台北)	工学院	総合化学院	C	2016.10.20
	国立台湾大学(台北)	社会科学部	法学研究科・法学部	A、S	2000.1.28
	国立台湾大学(台北)	社会科学部	経済学研究科	A、S	2014.12.22
	国立台湾大学(台北)	法律学院	法学研究科・法学部	A、S	2000.10.20
	国立台湾科技大学(台北)	工程学院	工学研究院・工学院・工学部、総合化学院	A、S、I	2019.9.25
	国立台湾師範大学(台北)	科学教育センター	教育学研究院	A	2012.3.1
	国立高雄大学(高雄)	人文社会科学部	文学研究科	A、S	2016.5.31
	国立高雄大学(高雄)	法学院	法学研究科	A	2008.3.11
	国立中央大学(桃園)	工学院、理学院	工学研究院・工学院・工学部、理学研究院・理学部、情報科学研究科、総合化学院	A、S、I	2018.2.5
	国立中興大学(台中)	獣医学部	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2014.9.29
	国立中山大学(高雄)	大学院中文系	文学研究科	A	2020.9.30
	国立陽明交通大学(新竹)	医学部	医学研究科・医学部	A、S	2017.3.15
	国立陽明交通大学(新竹)	牙醫學院	歯学研究院・歯学院	A、S	2018.12.18
	国立陽明交通大学(新竹)	薬物科学院	薬学研究院・薬学部、生命科学部	A、S	2019.9.5
	国立陽明交通大学(新竹)	理学院	電子科学研究所	A	2011.1.24
	台北医学大学(台北)	医学院、看護学院、公衆衛生・栄養学院、医学科技学院	医学研究科・医学部、保健科学研究院・保健科学院	A、S	2012.12.21
	台北医学大学(台北)	口腔醫學院	歯学部	A	2018.10.9
	台北医学大学(新北)	双和病院	北海道大学病院	A	2014.7.14
	台北医学大学(台北)	薬学部	薬学研究院・薬学部	A、S	2014.11.27
	台湾法官学院(台北)		法学研究科	A	2014.9.26
	高雄医学大学(高雄)	健康科学院	保健科学研究院・保健科学院	A、S	2015.6.10
	中央研究院(台北)	応用科学センター	電子科学研究所	A	2014.12.22
	中央研究院(台北)	社会学研究所	文学研究科	A	2013.4.2
	中央研究院(台北)	物理研究所	電子科学研究所	A	2015.3.23
	中国医薬大学(台中)	医学部	医学研究科・医学部	A、S	2016.9.26
	中国医薬大学病院(台中)		北海道大学病院	A	2019.1.9
	天主教輔仁大学(新北)	外国語学部	文学研究科	A	2014.2.25
	天主教輔仁大学(新北)	外国語学部	北海道大学病院	A	2015.10.31
	天主教輔仁大学(新北)	附設醫院	北海道大学病院	A	2017.9.30
東海大学(台中)	原住民族資源センター	アイヌ・先住民研究センター	A	2021.6.3	
タイ王国	アジヤ工科大学(クローンアン)	工学部	工学院	D	2011.3.17
	ヴィヂャシリメディ科学技術大学(ワンチャン)		触媒科学研究科、総合化学院、地球環境科学研究院・環境科学院、工学研究院・工学院	A、S	2017.2.27
	カセサート大学(バンコク)	工学部	工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究科、総合化学院	I	2014.2.21
	カセサート大学(カンベンセン)	農学研究科	農学院	C	2018.2.27
	国立科学博物館(パトゥムターニー)		総合博物館	A	2012.9.19
	コンケン大学(コンケン)	農学部	農学研究院・農学院・農学部	A、S	2019.5.15
	コンケン大学(コンケン)	理学部	理学研究院・理学院・理学部、先端生命科学研究院・生命科学部、総合化学院	A、S	2018.5.8
	水産局(バンコク)		水産科学研究院	A	2016.4.6
	スラナリー工科大学(ナコーンラーチャーシーマ)	工学部	総合化学院	A、S	2020.3.5
	タクシン大学(ソンクラム)	理学部	総合化学院	A、S	2020.1.31
	タマサート大学(バンコク)	公衆衛生学部	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2015.1.20
	タマサート大学(バンコク)	公衆衛生学部	国際感染症学院	C	2019.9.20
	タマサート大学(バンコク)	シリントーン国際工学部	工学研究院・工学院・工学部、総合化学院	A、S	2007.5.15
	タマサート大学(バンコク)	シリントーン国際工学部	工学院	D	2019.3.18
	チュラロンコン大学(バンコク)	医学部	保健科学研究院・保健科学院	A、S	2015.6.3
	チュラロンコン大学(バンコク)	医学部	北海道大学病院	A	2017.1.30
	チュラロンコン大学(バンコク)	教育学部	教育学研究院	A	2014.5.12
	チュラロンコン大学(バンコク)	工学部	工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究科、総合化学院	I	2011.9.5
	チュラロンコン大学(バンコク)	工学部	工学院	D	2018.8.30
	チュラロンコン大学(バンコク)	総合保健科学部	保健科学研究院・保健科学院	A	2018.8.9
	東南アジア漁業開発センター(バンコク)		水産科学研究院	A	2006.2.18
	プリンスオブソークラー大学(ハジャイ)	理学部	理学研究院・理学院・理学部、先端生命科学研究院・生命科学部、総合化学院	A、S	2018.5.10
	マヒドン大学(バンコク)	熱帯医学部	環境健康科学研究教育センター	A	2021.2.1
マヒドン大学(バンコク)	医学部シリラー病院	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2012.2.22	
マヒドン大学(バンコク)	公衆衛生学部	人獣共通感染症国際共同研究所	A	2008.11.26	
マヒドン大学(バンコク)	歯学部	歯学研究院・歯学院・歯学部	A、S	2020.3.23	
マヒドン大学(バンコク)	獣医学部	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2012.2.22	

国・地域名	協定大学等名(所在地)	部局等名	本学の締結部局	交流内容	締結年月日	
タイ王国	ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校(タンヤブリ)	理工学部	理学研究院・理学院・理学部、先端生命科学研究院・生命科学院、総合化学院	A、S	2017.9.26	
	ワライラック大学(タサラ)		水産科学研究院	A	2009.12.12	
	ワライラック大学(タサラ)	公衆衛生学院	環境健康科学研究教育センター	A、S	2019.3.13	
	カントー大学(カントー)	養殖・漁業学部	水産科学研究院	A、S	2016.6.2	
ベトナム社会主義共和国	国立衛生疫学研究所(ハノイ)		人獣共通感染症リサーチセンター	A	2014.12.25	
	ハノイ鉱山・地質大学(ハノイ)		工学研究院・工学院・工学部	A、S	2015.3.19	
	ベトナム科学技術院数学研究所(ハノイ)		理学研究院・理学院	A、S、D	2015.3.17	
	ベトナム国立農業大学(ハノイ)		獣医学研究科	A	2017.2.11	
オーストラリア連邦	ベトナム国家大学ホーチミン校工科大学(ホーチミン)	地質・石油工学部、土木工学部	工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究科、総合化学院	I	2015.4.28	
	ウェスタン・シドニー大学(ペンリス)		農学研究院・農学院・農学部	A	2014.10.7	
	カーティン大学(パース)		工学研究院・工学院・工学部	A、S	2014.8.29	
	クイーンズランド工科大学(クイーンズランド)	理工学部	工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究科、総合化学院	A、I、S	2012.8.6	
	シドニー工科大学(シドニー)		工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究科	A、S	2015.6.25	
	シドニー工科大学(シドニー)		情報科学研究科	A	2018.9.12	
	シドニー工科大学(シドニー)	工学・情報技術学部	工学研究院	A	2020.3.5	
	シドニー大学(シドニー)		環境科学院	C	2019.8.6	
	シドニー大学(シドニー)	農業環境学部	農学部	C	2016.8.23	
	タスマニア大学(ホバート)	海洋南極研究所	環境科学院	D	2017.2.21	
ニュージーランド	マッコリー大学(シドニー)	理工学部	工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究科、総合化学院	A、S	2016.11.16	
	ヴィクトリア大学ウェリントン(ウェリントン)	国際関係学科	公共政策学教育部	A、S	2016.10.1	
オーストリア共和国	リンカーン大学(クライストチャーチ)		農学研究院・農学院・農学部	A、S	2014.8.6	
	ウィーン工科大学(ウィーン)		工学研究院・工学院・工学部	A、S	2016.12.28	
ベルギー王国	アントワープ大学(アントワープ)	薬学部毒性学センター	環境健康科学研究教育センター	A、S	2021.4.1	
	ルーヴェン・カトリック大学(ルーヴェン)	人文学部	法学研究科・法学部	A、S	2015.7.9	
ブルガリア共和国	ルーヴェン・カトリック大学(ルーヴェン)	理学部	電子科学研究所	A	2013.7.20	
	トラキア大学(スタラ・ザゴラ)	農学部	理学研究院・理学院・理学部	A、S	2014.3.19	
クロアチア共和国	フルガリア科学アカデミー国立自然史博物館(ソフィア)		理学研究院	A	2015.9.17	
	ザグレブ大学(ザグレブ)	人文社会科学部	文学研究院・文学院・文学部	A、S	2009.2.18	
チェコ共和国	カレル大学(プラハ)	医学部	医学研究科・医学部	A	2008.9.8	
	チェコ工科大学(プラハ)	土木工学部	工学研究院・工学院・工学部	A、S、I	2015.12.21	
デンマーク王国	南ボヘミア大学(ボドナニー)	水産及び水系保護研究院	水産科学研究院・水産科学院・水産学部	A、S	2010.6.29	
	オーフス大学(オーフス)	健康研究科	歯学研究科	D	2014.3.7	
	オールボー大学(オールボー)	北極域研究プラットフォーム	北極域研究センター	A	2018.1.30	
	コペンハーゲン大学(コペンハーゲン)	ニールスボーア研究所	低温科学研究所	A	2012.1.25	
エストニア共和国	デンマーク工芸芸術アカデミー(コペンハーゲン)	建築学部	工学研究院・工学院	A、S	2010.3.31	
	エストニア生命科学大学(タルトゥ)	農業環境科学研究所	北方生物園フィールド科学センター	A	2018.3.26	
フィンランド共和国	タンペレ応用科学大学(タンペレ)		工学研究院・工学院、総合化学院	A、S、I	2011.1.12	
	タンペレ大学(タンペレ)	計算科学・電子工学部	工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究科	A、S	2016.6.29	
	タンペレ大学(タンペレ)	建築学部	工学研究院・工学院	A、S	2018.12.7	
	東フィンランド大学(クオピオ)	医学部	医学研究科・医学部	S	2016.12.19	
フランス共和国	ラップランド大学(ロヴァニエミ)	北極センター	北極域研究センター	A	2021.5.28	
	ラップランド応用科学大学(ロヴァニエミ)	自然資源・経済学部	工学研究院・工学院・工学部	A、S、I	2019.11.22	
	EDHEC経営大学院(リール)		経済学研究院・経済学院	A、S	2018.10.23	
	機械航空高等国立大学(ボアティエ)		工学研究院・工学院	A、I	2011.1.18	
	国立気象研究センター(トゥールーズ)		低温科学研究所	A	2012.3.26	
	国立高等研究院(パリ)		文学研究科	A	2005.6.30	
	ストラスブール大学(ストラスブール)	化学部	創成研究機構化学反応創成研究拠点	A	2021.1.19	
	ストラスブール動物学博物館(ストラスブール)		総合博物館	A	2009.11.20	
	先端産業技術工科大学(ビダール)		工学研究院・工学院、情報科学研究科	A、S	2011.10.11	
	パリ市立工業物理化学高等専門学校(パリ)		生命科学院	C	2018.3.26	
ドイツ連邦共和国	パリ・ディオロ大学(パリ)		文学研究科・文学部	A、S	2014.12.18	
	パリ天文台(パリ)		低温科学研究所	A	2019.3.20	
	フランス国立東洋語東洋文化研究所(パリ)	ロシア・ユーラシア研究センター	スラブ・ユーラシア研究センター	A	1983.9.25	
	フランス国立特別支援教育高等研究所(パリ)		教育学研究院・教育学院	A、I	2018.11.9	
	ホルサバティエ大学(トゥールーズ)	地球環境科学院	理学研究院・理学院	A、S	2016.2.3	
	ボワチエ大学(ボワチエ)	法社会学部	法学研究科	A、S	1993.10.15	
	リヨン高等師範学校(リヨン)		電子科学研究所	A	2010.3.26	
	リル第1大学・リル中央学院(リル)	触媒・固体化学研究ユニット	触媒科学研究所	A	2011.1.17	
	ジョージア	トビリシ国立医科大学(トビリシ)	イオヘルクテラセラケ化学研究所	触媒科学研究所	A	2019.2.25
	ドイツ連邦共和国	GEOMAR・ヘルムホルツ キール海洋研究センター(キール)		地球環境科学研究院・環境科学院	A、S	2012.5.31
アーヘン工科大学(アーヘン)		地質資源材料工学部	理学研究院	A	2017.7.27	
アルフレッドウェグナー極地海洋研究所(ブレーマーハーフェン)			低温科学研究所	A	2009.3.3	
オットー・フォン・ゲーリケ大学マグデブルク(マグデブルク)		自然科学部	電子科学研究所	A	2010.9.13	
クリスティアン・アルブレヒト大学キール(キール)		数学・自然科学研究院	理学研究院・理学院	A、S	2014.3.5	
ゲオルク・アグリコラ工科大学(ボーフム)			工学研究院・工学院・工学部	A、S、I	2015.4.30	
ゼンケンベルグ自然博物館(フランクフルト)			総合博物館	A	2009.11.18	
デュースブルク・エッセン大学(デュースブルク、エッセン)		東アジア研究所	文学研究科	A、S	2016.1.26	
ドイツリウマチ研究所(ベルリン)			遺伝子病制御研究所	A	2018.3.28	
ドレスデン工科大学(ドレスデン)		数学部	理学研究院・理学院	A	2017.8.1	
ドイツ連邦共和国	ドレスデン工科大学(ドレスデン)	理学部	理学研究院・理学院・理学部、先端生命科学研究院・生命科学院、総合化学院	A、S、I	2018.4.13	
	ハンブルグ大学(ハンブルグ)	医学部	医学研究院・医学院・医学部	A、S	2018.1.29	
	フライブルグ大学病院(フライブルグ)	神経病理研究所	遺伝子病制御研究所	A	2018.3.30	
	フリードリヒ・アレクサンダー大学エアランゲン(エアランゲン)	ニュルンベルク化学反応工学研究所	触媒科学研究所	A	2018.9.17	
	フレメン大学(フレメン)	数学・コンピューターサイエンス学部	理学院	C	2020.3.13	
	ベルリン工科大学(ベルリン)	プロセ科学部、電気工学・コンピュータサイエンス学部、機械工学・交通システム学部	工学研究院・工学院・工学部	A、S	2013.12.3	
	マックスプランク(フレメン)	海洋微生物学研究所	低温科学研究所	A	2009.3.4	
	マックスプランク(ベルリン)	フリッツハーバ研究所	触媒科学研究所	A	2005.12.26	
	マックスプランク(マルブルグ)	陸生微生物学研究所	低温科学研究所	A	2012.1.19	
	ライプニッツ協会バルト海研究所(ヴァーネミュンデ)		低温科学研究所	A	2018.11.30	
ギリシャ共和国	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン(ミュンヘン)	医学部	医学研究院・医学院・医学部	A、S	2018.1.30	
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン(ミュンヘン)	獣医学部	獣医学研究科	A、S	2011.1.10	
	ルーレ大学ボフム(ボフム)	心理学部	理学研究院・理学部、生命科学院	A、S	2018.7.18	
	アテネ大学(アテネ)	理学部	工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究科、総合化学院	A、S、I	2017.1.31	
アイスランド共和国	アイスランド大学(レイキャビク)	医学部	医学研究科・医学部	A、S	2015.6.23	
	アイルランド国立大学ダブリン校(ダブリン)	感染症研究センター	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2014.12.25	
	アイルランド国立大学ダブリン校(ダブリン)	感染症研究センター	感染症研究センター	A	2016.6.29	
	アイルランド国立大学ダブリン校(ダブリン)	健康・農業科学院	国際感染症学	S	2019.1.16	
イタリア共和国	ダブリン工科大学(ダブリン)		工学研究院・工学院・工学部	A	2015.3.23	
	ヴェローナ大学(ヴェローナ)	医学部	医学研究院・医学院・医学部	A、S	2017.12.21	
	食料科学大学(ブラ)		農学研究院	A	2017.3.7	
	聖アンナ高等師範学校(ピサ)	経済学部・生命科学部	理学研究院・理学院・理学部、生命科学院	A、S	2015.8.7	
イタリア共和国	トリノ大学(トリノ)	農学、森林科学及び食品科学部	地球環境科学研究院・環境科学院	A、S	2017.10.26	
	パドヴァ大学(パドヴァ)	政治学・法律学・国際学部	法学研究科	A	2017.11.21	

国・地域名	協定大学等名(所在地)	部署等名	大学の締結部署	交流内容	締結年月日
イタリア共和国	バドヴァ大学(バドヴァ)	哲学・社会学・教育学・応用心理学部	文学研究科・文学部	A, S	2017.6.19
	ピサ大学(ピサ)		理学研究院・理学院	A, D	2018.12.5
	ピサ大学(ピサ)	数学部	理学研究院・理学部	A, S	2015.6.9
	ピサ大学(ピサ)	生化学部	理学研究院・理学部、生命科学院	A, S	2016.8.24
	ピサ大学(ピサ)	農学・食品・環境学部	理学研究院・理学部、生命科学院	A, S	2015.9.29
	ピサ高等師範学校(ピサ)		理学研究院・理学院	A, S	2015.8.4
	ローマ大学トルベルガータ校(ローマ)	数学部・数学科	理学研究院・理学院	A, S	2017.7.20
ローマ大学トルベルガータ校(ローマ)	理学院		D	2018.10.23	
カザフスタン共和国	アルファラビ・カザフ国立大学(アルマティ)	理工学研究科	理学院	D	2012.2.29
	アルファラビ・カザフ国立大学(アルマティ)	理工学研究科	医理工学院	C	2019.12.28
	カザフスタン国立教育大学(アルマティ)	大学院	理学院	A	2009.11.19
リトアニア共和国	ヴィータウタス・マグヌス大学農業アカデミー(カウナス)	化学工学・化学科	農学研究院・農学部	A, S	2015.9.18
オランダ王国	アイントホーフェン工科大学(アイントホーフェン)	化学工学・化学科	触媒科学研究所	A	2018.8.7
	ライデン大学(ライデン)	東欧法律・ロシア研究所	スラブ・ユーラシア研究センター	A	1994.1.17
北マケドニア共和国	マケドニア学士院(スコピエ)	地域言語研究センター「ボジダル・ヴィドエスキ」	スラブ・ユーラシア研究センター	A	2017.2.13
	ユーロカレッジ(クマノヴォ)		公共政策学教育部	A, S	2020.2.7
ノルウェー王国	オスロ大学(オスロ)	数学部、自然科学部	環境科学部	S	2016.12.19
	オスロ大学(オスロ)	数学部、自然科学部	地球環境科学研究所・環境科学院、低温科学研究所	A	2017.7.13
	オスロ大学(オスロ)	地球科学科	地球環境科学研究所・環境科学院	A	2015.2.16
	トロンホルム大学(トロンホルム)	サーム研究センター	アイヌ・先住民研究センター	A	2010.8.5
	ナンセン環境リモートセンシングセンター(ベルゲン)		北極域研究センター	A	2018.2.28
ポーランド共和国	ノルド大学(ボドロー)	極北ビジネス・ガバナンス研究センター	北極域研究センター	A	2017.12.12
	AGH科学技術大学(クラクフ)		工学院	D	2010.7.6
	AGH科学技術大学(クラクフ)		総合化学院	D	2011.11.22
	ヴァルミア・マズールイ大学(オルシチン)		水産科学研究所	A	2015.11.9
	ウジ工科大学(ウジ)	繊維学部	理学部	A	1992.3.19
	グダニスク大学(グダニスク)		触媒科学研究所	A	2013.2.1
	グダニスク大学(グダニスク)		水産科学研究所	A	2016.6.29
	グダニスク工科大学(グダニスク)		触媒科学研究所	A	2010.3.18
	西ポメラニア工科大学(シュチェチン)	無機化学・環境工学研究所	触媒科学研究所	A	2010.3.17
	ポーランド科学アカデミー(クラクフ)	触媒・表面化学研究所	触媒科学研究所	A	2010.3.15
	ポーランド科学アカデミー(ワルシャワ)	数学研究所	理学研究院	A	2003.9.26
	ポーランド科学アカデミー(ワルシャワ)	数学研究所	理学院	D	2018.5.17
	ポーランド科学アカデミー・オルシチン支部(オルシチン)	動物生産・食品研究所	水産科学研究所	A	2016.3.4
	ヤケエボ大学(クラクフ)	化学科	触媒科学研究所	A	2016.5.11
	ワルシャワ経済大学(ワルシャワ)		経済学研究科・経済学部	A, S	1989.3.14
ポルトガル共和国	アルガルヴェ大学(ファロ)	理工学部	理学研究院・理学院・理学部	A, S	2015.3.24
	リスボン新大学(リスボン)	化学・生物技術研究所	低温科学研究所	A	2019.2.5
ロシア連邦	アルハンゲルスク北方連邦大学(アルハンゲルスク)		北極域研究センター	A	2018.5.19
	イルクーツク工科大学(イルクーツク)		総合博物館	A	2011.6.1
	カムチャッカ工科大学(ペトロパブロフスキーカムチャツキー)		総合博物館	A	2010.8.20
	カムチャッカ地方総合博物館(ペトロパブロフスキーカムチャツキー)		文学研究科	A	2015.6.5
	カルムイク国立大学(エリスタ)		スラブ・ユーラシア研究センター	A	2012.7.30
	極東海洋気象研究所(ウラジオストク)		低温科学研究所	A	2013.3.27
	国立極東総合医科大学(ハバロフスク)		北海道大学病院	A	2014.10.20
	サハリン国立大学(コジノサハリンスク)	教育学部	教育学研究院	A	2016.3.2
	サハリン州郷土博物館(コジノサハリンスク)		総合博物館	A	2000.8.1
	サハリン州郷土博物館(コジノサハリンスク)		文学研究科	A	2016.3.11
	サントペテルブルク建設土木大(サントペテルブルク)		工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究所・情報科学院	A, S, I	2019.10.28
	太平洋国立大学(ハバロフスク)	建築デザイン研究科	工学院	C	2017.10.25
	ノボシビルスク国立大学(ノボシビルスク)		理学部	A	1993.6.18
	ハバロフスク国立工科大学(モスクワ)		工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究所、総合化学院	A, S, I	2017.4.12
	北東連邦大学(ヤクーツク)		環境科学院	S	2018.7.26
	ボレスコフ触媒研究所(ノボシビルスク)		触媒科学研究所	A	2016.10.11
	ロシア科学アカデミー(モスクワ)	スラブ学研究所	スラブ・ユーラシア研究センター	A	2006.6.6
	ロシア科学アカデミー(モスクワ)	東洋学研究所	スラブ・ユーラシア研究センター	A	2005.10.17
	ロシア科学アカデミー(サントペテルブルク)	ロシア文学研究所	スラブ・ユーラシア研究センター	A	2011.4.14
	ロシア科学アカデミー・極東支部(ウラジオストク)	極東諸民族歴史・考古学・民族学研究所	スラブ・ユーラシア研究センター	A	2019.3.6
ロシア科学アカデミー・極東支部(ウラジオストク)	極東地質学研究所	北極域研究センター	A	2016.7.25	
ロシア科学アカデミー・極東支部(ウラジオストク)	生物土壌科学研究所	理学研究院	A	2013.10.14	
ロシア科学アカデミー・極東支部(ウラジオストク)	太平洋地理学研究所	低温科学研究所	A	2014.3.7	
ロシア科学アカデミー・極東支部(マガン)	北東総合科学研究所	文学研究科	A	2015.7.24	
ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ノボシビルスク)		スラブ・ユーラシア研究センター	A	2021.3.17	
ロシア科学アカデミー・シベリア支部(クラスノヤールスク)	V.N.スカチェフ森林研究所	北方生物圏フィールド科学センター	A	2005.3.12	
ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ヤクーツク)	寒冷圏生物学研究所	地球環境科学研究所、農学研究院	A	2008.12.22	
ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ヤクーツク)	寒冷圏生物学研究所	北極域研究センター	A	2016.7.25	
ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ノボシビルスク)	凍土圏生物問題研究所	文学研究科	A	2014.11.27	
ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ノボシビルスク)	地質学・地球物理学研究所・鉱物学連合研究所	理学部	A	1992.3.10	
ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ヤクーツク)	北方人文学・先住民研究所	文学研究科	A	2016.2.8	
ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ヤクーツク)	北方人文学・先住民研究所	北極域研究センター	A	2016.8.18	
ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ヤクーツク)	メリニコフ永久凍土研究所	北極域研究センター	A	2016.6.24	
ロシア国立モスクワ教育大学(モスクワ)		教育学部	A	1995.8.3	
スペイン	スペイン高等学術研究院(マドリッド)		低温科学研究所	A	2016.1.19
	生物医学研究所(バルセロナ)		先端生命科学研究所・生命科学院	A, S	2018.12.17
	ナバーラ大学(バンプローナ)		医学研究院・医学院・医学部、医理工学院、北海道大学病院	A, S	2019.4.30
	バルセロナ大学病院(バルセロナ)		北海道大学病院	A	2016.9.8
	バルセロナ大学(バルセロナ)		医学研究院・医学院・医学部	A, S	2016.2.2
バルセロナ大学 ホテル・観光学院(バルセロナ)		メディア・コミュニケーション研究院、国際広報メディア・観光学院、観光学高等研究センター	A	2017.6.1	
バレンシア工科大学(バレンシア)	建築学院、土木工学院	工学研究院・工学院	A, S	2006.1.9	
ムルシア大学(ムルシア)	獣医学部	獣医学研究科	A	2016.5.2	
スウェーデン王国	イエテボリ大学(イエテボリ)	経営・経済・商法学部	経済学研究科・経済学部	A, S, D	1996.10.28
	カロリンスカ研究所(ストックホルム)	歯科医学部	歯学研究科	A	2015.8.25
	カロリンスカ研究所(ストックホルム)	臨床神経科学部門	先端生命科学研究所・生命科学院	A, S	2018.2.8
	ストックホルム大学(ストックホルム)	理学部	低温科学研究所	A	2010.9.20
リンシェーピング大学(リンシェーピング)	理工学部	工学研究院・工学院・工学部、総合化学院	A, S	2000.8.24	
スイス連邦	西スイス応用科学大学(ドレモン)		工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究所、総合化学院	A, S	2016.3.8
	スミ立大学(スミ)		低温科学研究所	A	2020.7.13
ウクライナ	ボゴリュエボ理論物理学研究所(キエフ)		理学研究院	A	2002.3.30
	V.G.コロレンコ記念ボルタ国立教育大学(ボルタウ)	英語・世界文学学習法研究教育センター	スラブ・ユーラシア研究センター	A	2019.7.15
英国	エジンバラ大学(エジンバラ)	獣医学部	獣医学研究院	A, S	2009.7.24
	エジンバラ大学(エジンバラ)	獣医学部	獣医学院	C	2018.3.21
	エジンバラ大学(エジンバラ)	獣医学部	遺伝子病制御研究所	A	2019.10.1
	オックスフォード大学(オックスフォード)	ナフィールド臨床医学部	薬学研究院・薬学部、生命科学院	A	2018.7.16
	オックスフォード大学(オックスフォード)	東アジア考古学・芸術・文化センター	アイヌ・先住民研究センター	A	2013.10.18
	オックスフォード大学(オックスフォード)	ロシア・ユーラシア研究センター	スラブ・ユーラシア研究センター	A	2004.3.12
グラスゴー大学(グラスゴー)	理工学部	電子科学研究所	A	2013.11.20	

国・地域名	協定大学等名(所在地)	部局等名	本学の締結部局	交流内容	締結年月日	
ヨーロッパ	英国	サセックス大学(ブライトン)	文学研究科	A, S	2015.3.31	
		マンチェスター大学(マンチェスター)	人文科学部	A, S	2009.12.9	
		リーズ大学(リーズ)	教育・社会科学・法学研究科	教育学院	A	2006.12.11
		ロンドン大学(ロンドン)	東洋アフリカ学院	文学研究科	A, S	2015.1.26
		ロンドン大学(ロンドン)	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン MRC-LMBC 研究所	遺伝子制御研究所	A	2015.7.8
		ロンドン大学(ロンドン)	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン スラブ東欧学研究所	スラブ・ユーラシア研究センター	A	2020.7.22
ウズベキスタン共和国	ブレハノフ・ロシア経済大学タシケント校(タシケント)		経済学研究科	A	2015.12.1	
北米	カナダ	アルバータ大学(エドモントン)	工学部	I	2017.12.5	
		サイモン・フレザー大学(バーナビー)		理学研究科	A	2008.5.10
		トロント大学ミシサガ校(ミシサガ)	人類学部	文学研究科・文学部	A	2019.9.18
		ブリティッシュコロンビア大学(バンクーバー)	水産科学センター	水産科学部	S	2011.3.1
		マクマスター大学(ハミルトン)	マイケル G. デグロウテ経営大学院	経済学研究科	A, S	2001.10.15
		モントリオール大学(モントリオール)	医学部	総合化学院	D	2016.4.15
	レスブリッジ大学(レスブリッジ)	文理学部・大学院	理学研究科・理学部・生命科学部・総合化学院	A, S	2021.10.20	
	アメリカ合衆国	アラスカ大学フェアバンクス校(フェアバンクス)	国際北極圏研究センター	北極圏研究センター	A	2016.8.30
		アラスカ大学フェアバンクス校(フェアバンクス)	水産・海洋学部	水産学部	A	1986.9.12
		アリゾナ大学(ツーソン)		文学研究科・文学部	A, S	2015.4.7
		イリノイ大学シカゴ校(シカゴ)		地球環境科学研究科	A	1993.7.14
		イリノイ大学シカゴ校(シカゴ)		医学研究科・医学部	A	2016.2.15
		ウイスコンシン大学(マディソン)	ロー・スクール	法学部	A	1999.6.1
		オクラホマ大学(ノーマン)	法科大学院附属先住民法政研究センター	アイヌ・先住民研究センター	A	2012.10.25
		オレゴン・ヘルスサイエンス大学(ポートランド)	歯学部	歯学部	A	1974.1.1
		カリフォルニア大学サンディエゴ校(サンディエゴ)	スクリプス海洋研究所	スクリプス海洋研究所	A	2016.3.17
		カリフォルニア大学デービス校(デービス)	農業・環境学部	農学研究科・農学部・保健科学研究科・保健科学部	A, S	2016.6.2
		コーネル大学(イサカ)	獣医学部	獣医学研究科・獣医学部	A, I	2013.3.25
		国立歯科・顎顔面研究所(ベセスダ)	Chiorini 研究室	遺伝子制御研究所	A	2018.3.31
		コロラド鉱山大学(ゴールドデン)	地球科学・資源工学部	工学研究科・工学部・情報科学研究科・総合化学院	A, S	2019.1.11
		コロラド州立大学, UHealth(フォートコロリンス)		北海道大学病院	A	2019.2.12
		コロラド州立大学(フォートコロリンス)	獣医学・生物医学部	獣医学研究科・獣医学部	I	2018.10.22
		コロラド州立大学(フォートコロリンス)	獣医学・生物医学部	遺伝子制御研究所	A	2019.10.10
		サウスカロライナ大学(コロンビア)	化学工学科	触媒科学研究所	A	2016.6.20
サンキャットセンター(メンローパーク)			触媒科学研究所	A	2016.11.2	
ダラス自然史博物館(ダラス)		総合博物館	A	2011.8.23		
ハーバード大学(ケンブリッジ)	ロシア・ユーラシア研究センター	スラブ・ユーラシア研究センター	A	1992.11.4		
バドュー大学(ウェストラファイエット)	サイエンス学部	触媒科学研究所	A	2014.4.26		
ハワイ大学マノア校(ホノルル)	化学科	低温科学研究所	A	2017.2.6		
ポートランド州立大学(ポートランド)	教育学部	教育学部	A	1989.12.12		
マサチューセッツ大学アマースト校(アマースト)	図書館	附属図書館	L	2014.8.4		
マサチューセッツ大学医学部(ウースター)	生物医学研究科	先端生命科学部・生命科学部	A, S	2011.5.10		
メリランド大学(ボルティモア)	海洋環境技術研究所	水産科学研究科・水産科学部	A, I	2018.8.20		
ユタ大学(ソルトレイクシティ)	大学院、ナノ研究所	地球環境科学研究科・環境科学部	A	2013.1.22		
ライス大学(ヒューストン)	ジョージ R. ブラウン工学院	工学研究科・工学部・情報科学研究科・総合化学院	A, I	2011.10.19		
ワシントン大学(シアトル)	環境学部	水産科学研究科・水産科学部	A	1988.6.24		
南米	ブラジル連邦共和国	ヴィソザー大学(ヴィソザー)	農学研究科・農学部	A, S	2001.5.10	
	オズワルドクルス財団(リオデジャネイロ)		人獣共通感染症リサーチセンター	A	2016.6.29	
	サンパウロ大学(サンパウロ)	歯学部	歯学研究科・歯学部	A, S	2020.3.5	
コロンビア共和国	アンティオキア大学(メデジン)	工学部	工学研究科・工学部・情報科学研究科・総合化学院	A, S, I	2016.9.7	
メキシコ合衆国	モンテレイ工科大学(モンテレイ)		工学研究科・工学部	A, S	2010.7.20	
中東	サウジアラビア王国	アブドラ国王科学技術大学(ジェッダ)	医学部	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2014.12.16
	トルコ共和国	イズミール大学(イズミール)	医学部	医学部	A, S	2011.10.24
	ドクツェイレル大学(イズミール)	医学部	医学部	A	2011.10.24	
アラブ首長国連邦	UAE 大学(アル・アイン)	医学部、医学保健科学部	医学研究科・医学部	A, S	2016.11.7	
アフリカ	ブルキナファソ	国際水環境技術学院(ワガドゥグー)		工学研究科・工学部	A, S	2010.1.26
	エジプト・アラブ共和国	ザガジク大学(ザガジク)	獣医学部	獣医学研究科	A	2012.3.6
	マンスーラ大学(マンスーラ)			総合化学院	A, S	2020.2.17
	ガーナ共和国	クワメエンクルマ科学技術大学(クマシ)	理学部	獣医学研究科	A	2013.7.26
	モロッコ王国	モロッコ王国国立漁業研究所(カサブランカ)		水産科学研究院	A	2019.2.22
	モザンビーク共和国	テテ工科大学(テテ)		工学研究科・工学部	A, S, I	2018.6.27
	スーダン共和国	ハルツーム大学(ハルツーム)	獣医学部	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2016.10.18
	ザンビア共和国	ザンビア大学(ルサカ)	獣医学部	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2011.2.6
		ザンビア国立公衆衛生研究所(ルサカ)		人獣共通感染症国際共同研究所	A	2021.9.27
		マチャリサーチトラスト(マチャ)		人獣共通感染症国際共同研究所	A	2021.10.21
ジンバブエ共和国		ジンバブエ大学(ハラレ)	獣医学部	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2013.5.29
農業・機械・灌漑省(ハラレ)	獣医学技術サービス局	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2013.5.29		
農業・機械・灌漑省(ハラレ)	ツェツェバ工規制局	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2013.5.29		

国際コンソーシアムへの参加(10件) 2022年4月1日現在

名称	参加国・大学等数	交流内容	参加部局等	参加年月日
国際大学協会 (IAU)	119 各国・地域 542 機関	学術交流	全学	1962年
国際南極大学 (IAI)	14 各国 27 機関	学術交流/学生交流	全学	2006.7.8
アジア環境大学院ネットワーク (ProSPER.Net)	16 各国 52 機関	学術交流/学生交流	全学	2008.6.21
アジア太平洋大学交流機構 (UMAP)	23 各国・地域 489 機関	学術交流/学生交流	全学	2009年
北極圏大学 (UARctic)	22 各国 213 機関	学術交流/学生交流	全学	2011.6.8
アセアン水産教育ネットワーク (ASEAN-FEN)	9 各国 33 機関	学術交流/学生交流	水産科学研究院	2016.10.31
日本・スウェーデン MIRAI プロジェクト	2 各国 20 機関 (日本: 9 瑞: 11)	学術交流/学生交流	全学	2017年
21 世紀海上シルクロード連盟 (UCMSR)	18 各国 66 機関	学術交流/学生交流	全学	2018.10.20
国際原子力機関 (IAEA) と国内大学・医療機関コンソーシアム	2 各国 12 機関 (日本: 11 奥: 1)	学術交流	医学研究科・医学部	2018.11.18
気候変動に関する国際大学連盟 (IUCA)	25 各国 56 機関	学術交流	全学	2020.11.11

現代日本学プログラム課程

Modern Japanese Studies Program



現代日本学プログラム課程は、外国人留学生を対象としたバイリンガル(日本語・英語)の学士課程プログラムで、2015年度に創設された。日本学という地域ベースの研究と、文学、教育学、法学、政治学、経済学等の現代日本社会に係る専門分野の研究との融合を学術的特色としながら、次の4つをカリキュラムの基本方針としている。

- ・日本語習得のための集中的プログラム
- ・日本研究と専門的学問との相互交錯カリキュラム
- ・日本人学生とともに学ぶ環境
- ・多文化の北海道からの日本発見

日本語及び英語を高度に運用する能力並びに日本社会に関する深い知識を有し、日本のよき理解者として国際社会において中核的な役割を担う人材の育成を目的としており、所定の単位を修得し、卒業認定された学生には、学士(学術)の学位が授与される。



Integrated Science Program



Integrated Science Program (ISP) は、外国人留学生を対象とした英語による理系学士・修士課程プログラムで、2017年度に創設された。学士課程では、入学後半年間で理系分野に関する幅広い知識を身につけ、その後理学部の物理、化学、生物科学(生物学専修分野)から学生本人の希望と成績により所属する学科が決定され学びを深める。修士課程では、自身の興味に基づき、専門分野での研究をさらに進めることができる。学士・修士課程を通して、軸となる理系科目の講義は英語で実施されることに加え、人文社会科学を含む多様な教養科目や、初級日本語クラスの他にビジネススキル科目、リーダーシップ・マネジメント科目も履修できるよう設定されている。ISPでは、国際的に活躍するために必要な専門的能力及びリーダーとしての資質を備えた理系の人材育成を目指している。



Hokkaido サマー・インスティテュート (HSI)

Hokkaido Summer Institute



HOKKAIDO
SUMMER
INSTITUTE

新時代の自分を磨く

Hokkaido サマー・インスティテュート (HSI) は、北海道大学に世界の第一線で活躍する優れた教育研究業績や活動歴を有する研究者を招へいし、本学教員と協働で教育活動を実施するプログラムとして、2016年度に創設された。毎年6月から10月に、アクティブ・ラーニング型の授業や広大な北海道の地を活かしたフィールド実習等、グローバル人材育成に資する先端かつ魅力的な授業 150 科目以上を英語で実施し、短期サマープログラムとして延べ 400 人以上の海外大学生を受け入れている。同時に、これらの授業は本学の学生も受講可能であり、年間 1,200 人以上の本学学生が受講している。本プログラムは、本学の教員・学生と海外研究者との交流機会を創出するだけでなく、本学の学生が多様な文化的・社会的背景を持った学生と共に学修することにより、異文化理解力・語学力及びコミュニケーション能力を向上させ、国際性を涵養する機会も提供している。



キャンパス内での実習風景



キャンパス内の HSI 開催中パナー



海外からの招へい研究者による授業

海外ラーニング・サテライト (LS) Learning Satellite



Hokkaido University
Learning
Satellite

本事業は、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業の本学採択構想「Hokkaido ユニバーサルキャンパス・イニシアチブ (HUCI)」における教育プログラムの 1 つとして、「創基 150 年に向けた近未来戦略 (近未来戦略 150)」に掲げるビジョン「世界の課題解決に貢献する北海道大学へ」の達成に向けて、本学及び海外大学の学生等を対象に、世界を教育フィールドとして授業科目を実施するものである。

世界各地において海外の学生との共修環境を提供する多様なプログラムを通じて、世界の課題解決に貢献する人材を育成するとともに、海外大学の教員との協働による本学の教育の国際通用性や質の向上を目的としており、さらにはダブル・ディグリーやコチュテル等の共同教育への発展や、共同研究への展開を目指している。



食・健康・医療に貢献するカロリンスカ研究所ジョイント先端顕微鏡講習コース



南極学カリキュラム・スイス氷河実習

One program for Global Goals (OGGs)

～持続可能な社会を実現する国際協働型人材育成プログラム～

文部科学省「大学の世界展開力強化事業」で採択された 3 つの国際共同教育プログラムを融合し、それぞれの特徴を生かしつつ、より広い視野と学修の深化を目指して設置された、全ての学院・研究科の大学院生を対象とした大学院特別教育プログラムである。

多様な国・地域・組織の人々と連携・協働して世界の課題解決・持続可能な社会の実現に資する人材育成を目的とし、SDGs を含むサステナビリティに係る様々なテーマについて基礎から応用まで包括的に学ぶ分野横断的カリキュラムとなっている。

本プログラムは海外パートナー大学の学生と英語による講義・議論・グループワークと国内外のフィールドワークを中心とした国際共修を基軸としており、Hokkaido サマー・インスティテュート (HSI) に 14 科目、海外ラーニング・サテライト (LS) に 5 科目が登録されている。



海外学生とのグループワーク (HSI の OGGs 科目)



海外フィールド実習 (LS の OGGs 科目)

海外拠点

2022年4月1日現在

業務内容

1. 海外の諸大学との留学生及び研究者の交流を促進するために、情報を収集し提供する。
2. 本学の入学試験に関する広報。
3. 大学院入学者選抜のための面接試験などの実施。
4. 留学生などの受け入れに関する連絡調整。
5. 本学教職員の教育研究などの活動支援。
6. 帰国した本学の元留学生、海外に赴任している本学の卒業生などによる本学同窓会の活動支援。
7. 日本の国内企業と海外の大学などとの産学連携への支援。

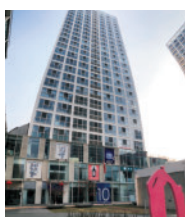
韓国ソウルオフィス

設立	2011年
所在地	大韓民国ソウル特別市 #2-9, 8 Floor, 8, Gangnam-daero 53-gil, Seocho-gu, Seoul, Korea 06621
E-mail	seouloffice@hokudai.kr
ウェブサイト (日本語・韓国語)	http://www.hokudai.kr/



中国北京オフィス

設立	2006年
所在地	中華人民共和国北京市(株式会社GES北京事務所内) c/o Room 2004 building 10, Jianwai SOHO west, NO. 39 East Third Ring, Chaoyang District, Beijing, 100062, P. R. China
E-mail	china@oia.hokudai.ac.jp
開館時間	平日9:00 ~ 18:00 土・日曜日、中国における祝日は休館。



ASEANハノイオフィス

設立	2019年
所在地	ベトナム社会主義共和国ハノイ市 (ベトナム国家大学ハノイ校科学大学内) Office 423, T1 Building, VNU University of Science, 334 Nguyen Trai St., Thanh Xuan district, Hanoi, Vietnam
E-mail	hu_hanoi@hus.edu.vn



北米ポートランドオフィス

設立	2019年
所在地	アメリカ合衆国ポートランド市 (ポートランド州立大学内) Office of International Affairs, Portland State University, 615 SW Harrison St, Suite 630, Portland, Oregon 97207, USA
E-mail	hu_psu@pdx.edu



欧州ヘルシンキオフィス

設立	2012年
所在地	フィンランド共和国ヘルシンキ市 (ヘルシンキ大学内) Fabianinkatu 26, 00100 Helsinki, Finland
E-mail	helsinki_office@oia.hokudai.ac.jp
ウェブサイト	http://www.hokudai.fi/



ロシアモスクワオフィス

設立	2019年
所在地	ロシア連邦モスクワ市(モスクワ国立大学内) Office 249, 1-Y Gum, Korpus, 1-51 Leninskie Gory, Moscow, Russian Federation, 119991
E-mail	moscow_office@oia.hokudai.ac.jp
ウェブサイト (日本語・ロシア語)	https://www.moscowjointoffice.ru/



アフリカルサカオフィス

設立	2012年
所在地	ザンビア共和国ルサカ市 (ザンビア大学内) c/o Department of Disease Control, School of Veterinary Medicine, University of Zambia (Great East Road Campus), P.O. Box 32379, Lusaka 10101, Zambia
E-mail	lusaka_office@oia.hokudai.ac.jp
開館時間	平日9:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 16:30 土・日曜日、ザンビアにおける祝日は休館。
ウェブサイト (英語)	http://www.hokkaido-university- lusakaoffice-zm.com/



タイリエゾンオフィス

設立	2017年
所在地	タイ王国ナコーンパトム県カンベンセン (カセサート大学カンベンセンキャンパス内) c/o Faculty of Agriculture at Kamphaeng Saen, Kasetsart University, Kamphaeng Saen, Nakhon Pathom 73140, Thailand
E-mail	shomu@agr.hokudai.ac.jp
開館時間	平日9:00 ~ 17:00 土・日曜日、タイにおける祝日は休館。
ウェブサイト (英語)	https://www.agr.hokudai.ac.jp/satellite/thailand/



インドネシリエゾンオフィス

設立	2017年
所在地	インドネシア共和国西ジャワ州ボゴール市 (ボゴール農業大学ダルマガキャンパス内) c/o Bogor Agricultural University, Campus IPB Darmaga R-200, Bogor 16680 West Java, Indonesia
E-mail	shomu@agr.hokudai.ac.jp
開館時間	平日9:00 ~ 16:00 土・日曜日、インドネシアにおける祝日は休館。
ウェブサイト (英語)	https://www.agr.hokudai.ac.jp/satellite/indonesialo/



フィリピンリエゾンオフィス

設立	2018年
所在地	フィリピン共和国ケソン市 (フィリピン大学ディリマン校内) c/o Room 102, DILC Building Magsaysay Avenue, corner Apacible Street, University of the Philippines Diliman, Quezon City 1101, Philippines
E-mail	international@sci.hokudai.ac.jp
開館時間	平日8:30 ~ 17:30 土・日曜日、フィリピンにおける祝日は休館。
ウェブサイト (英語)	http://hokudai.upd.edu.ph/



中国北京リエゾンオフィス

設立	2018年
所在地	中華人民共和国北京市 (中国科学院大学内) c/o University of Chinese Academy of Sciences, Yuquanlu Campus, 19A Yuquan Rd, Shijingshan District, Beijing, 100049, P. R. China
E-mail	china@oia.hokudai.ac.jp



寄附講座・産業創出講座等

2022年4月1日現在

寄附講座等 (設置数: 26)

寄附講座等設置部局	設置数
理学研究院	1
保健科学研究院	4
工学研究院	4
医学研究院	9
北海道大学病院	4
数理・データサイエンス教育研究センター	1
薬学研究院	1
農学研究院	1
遺伝子病制御研究所	1
合計	26

産業創出講座等 (設置数: 22)

産業創出講座等設置部局	設置数
薬学研究院	2
農学研究院	2
医学研究院	3
獣医学研究院	1
電子科学研究所	1
人獣共通感染症国際共同研究所	2
産学・地域協働推進機構	11
合計	22

公開講座等

2022年4月1日現在

2021年度実績

公開講座【教養型】(全学企画)

主催	講座名	受講者数
北海道大学	令和3年度北海道大学公開講座(全学企画)「備える: ウィズコロナの時代をどう生きるか」	1,075

公開講座【教養型】(各部局等の企画)

主催	講座名	受講者数
水産科学研究院	海をまるごとサイエンス!	332
地球環境科学研究院	環境との調和: 化学を通して見える世界	53
薬学研究院	第23回 北海道大学薬学部生涯教育特別講座 夏季講演会	0(中止)
薬学研究院	第23回 北海道大学薬学部生涯教育特別講座 秋季講演会	0(中止)
農学研究院	時計台サロン 農学部に聞いてみよう	25
	市民公開・農学特別講演会「農と食が創る持続的な社会」	89
経済学研究院・経済学院・経済学部	ビジネス研究のフロンティア~21世紀の組織と戦略~	42
北海道大学病院 看護部	家庭でできる救命救急処置—AEDの使い方—	0(中止)
	「尿漏れを予防しよう!」家庭でできる尿漏れ予防体操	0(中止)
北海道大学病院 検査・輸血部	その息切れは年齢のせい? 知って納得 弁膜症	0(中止)
北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	北海道大学病院 市民公開講座「合併症を伴う糖尿病の今を知る」	549
低温科学研究所	広がる低温の魅力~低温科学の最前線~	366
スラブ・ユーラシア研究センター	メロドラマするロシア: アジアとの比較から考える大衆文化の想像力	385
アイソトープ総合センター	アイソトープ利用研究会	0(中止)
環境健康科学研究教育センター	環境×健康×SDGs ~世界が直面する問題の解決を目指そう~	46
高等教育推進機構	関西弁の音声学	20
教育学研究院	発達臨床セミナー WISC-IV・WPPSI-IIIによる心理アセスメントの基礎を学ぶ	0(中止)
	子ども発達臨床研究センター公開講座「子どもの育ちを考える」	337

公開講座【専門型】(各部局等の企画)

主催	講座名	受講者数
理学研究院附属地震火山研究観測センター	北海道の地震と防災	55
保健科学研究院	ようこそ! ヘルスサイエンスの世界へ	69
メディア・コミュニケーション研究院	教育者・富所広吉の事蹟を追う	8
公共政策学連携研究部	地方議員・公務員向けサマースクール	55
北海道大学病院 看護部	子どもによくみられる症状やけがへの対処	1
北海道大学病院 男女共同参画推進室	ダイバーシティ環境でのキャリア形成	31

大学等地域開放特別事業等

主催	講座名	受講者数
北方生物圏フィールド科学センター	苫小牧研究林森林資料館・記念館一般開放講座	350
	森のたんけん隊	13

産学官連携・研究支援

■協定等 (2022年4月1日現在) 34 協定

名称	相手方	協定締結年月日
連携プログラム実施協定	株式会社日立製作所	2003年 4月 1日
連携プログラム実施協定	株式会社日本政策投資銀行	2004年 7月22日
北大リサーチ&ビジネスパーク構想に関する地域連携協定	北海道・札幌市・北海道経済連合会・北海道経済産業局	2004年 7月30日
連携に係る基本協定	国立研究開発法人物質・材料研究機構 (NIMS)	2004年12月 7日
連携プログラム実施協定	国立研究開発法人産業技術総合研究所	2005年 2月10日
独立行政法人国際協力機構と国立大学法人北海道大学との連携協定	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	2005年 4月12日
連携プログラム実施協定	株式会社北洋銀行	2005年 6月24日
連携プログラム実施協定	日本電信電話株式会社・東日本電信電話株式会社 (NTT・NTT東日本)	2008年12月 9日
連携協定	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター (ノーステック財団)	2009年 6月 2日
北海道地域における大学等の知的財産の技術移転に関する連携協定	北見工業大学	2009年 6月 4日
北海道地域における大学等の知的財産の技術移転に関する連携協定	酪農学園大学	2009年 6月 4日
北海道地域における大学等の知的財産の技術移転に関する連携協定	室蘭工業大学	2009年10月 5日
学術交流に関する協定	函館工業高等専門学校・苫小牧工業高等専門学校・釧路工業高等専門学校・旭川工業高等専門学校	2009年12月15日
国立大学法人北海道大学産学連携本部と一般社団法人北海道中小企業家同友会産学連携研究会HoPEにおける連携に関する覚書	一般社団法人北海道中小企業家同友会産学官連携研究会HoPE	2010年 6月30日
連携協力の推進に係る協定	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 (KEK)	2010年 7月 1日
連携協力の推進に係る協定	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	2011年 3月29日
産学連携活動における連携協力覚書	大地みらい信用金庫	2011年10月 5日
北海道地域における大学等の知的財産の技術移転に関する連携協定	公立ほこだて未来大学	2012年 2月 1日
産学連携促進に係る協定書	特定非営利活動法人グリーンテクノバンク	2013年10月21日
産学連携活動における連携協力覚書	株式会社道銀地域総合研究所	2013年11月20日
連携協力の推進に係る協定	国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC)	2015年 9月 1日
広報活動に関する連携プログラム協定	北海道テレビ放送株式会社	2017年 3月29日
包括的な教育研究推進のための連携協力協定	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 (QST)	2017年12月 1日
包括連携協定	株式会社北海道新聞	2017年12月25日
連携・協力に関する協定	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	2018年 3月13日
健康づくりの推進に向けた包括的相互連携に関する協定書	岩見沢市・全国健康保険協会北海道支部・空知信用金庫	2018年 4月 1日
国立大学法人北海道大学と株式会社セコマとの間における地域創生連携協定	株式会社セコマ	2018年 4月23日
スマート農業管理のための地理情報技術の利活用における連携協定	農業・協同組合省 (タイ王国)、地理情報・宇宙技術開発機関 (タイ王国)	2018年 7月31日
国立大学法人北海道大学と株式会社読売新聞東京本社北海道支社との包括連携協定書	株式会社読売新聞東京本社北海道支社	2021年 3月 1日
北海道と国立大学法人北海道大学との連携と協力に関する協定	北海道	2021年 4月 7日
高度IT人材育成に関する包括連携協定	SCSK北海道株式会社	2021年 8月 1日
国立大学法人北海道大学 株式会社クボタ 株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメントによる農業の持続可能な発展に関する連携協定書	株式会社クボタ、株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント	2021年10月 9日
宇宙教育及び研究開発分野における連携協定	フィリピン宇宙庁 (フィリピン共和国)	2022年 3月 4日
学術交流・協力に関する連携協力協定	大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所	2022年 4月 1日

■大学発ベンチャー

北大発ベンチャー 54社
(経済産業省調査「大学発ベンチャーデータベース」より)

北大発認定ベンチャー 30社 (2022年3月31日現在)
(北海道大学の認定制度による認定数)



法人保有特許等 (2022年4月1日現在)

■特許

部局名	保有件数	
	国内	海外
アイソトープ総合センター	5 (5)	11 (11)
遺伝子病制御研究所	7 (0)	8 (0)
化学反応創成研究拠点	1 (1)	0 (0)
触媒科学研究所	18 (16)	14 (13)
人獣共通感染症国際共同研究所	6 (3)	34 (29)
医学研究院	18 (12)	25 (17)
工学研究院	145 (108)	61 (49)
歯学研究院	3 (3)	0 (0)
獣医学研究院	7 (6)	22 (13)
情報科学研究院	145 (112)	88 (64)
水産科学研究院	5 (4)	0 (0)
先端生命科学研究院	27 (12)	13 (1)
地球環境科学研究院	9 (5)	1 (1)
農学研究院	37 (34)	24 (24)
保健科学研究院	15 (5)	18 (2)
薬学研究院	17 (11)	41 (35)
理学研究院	7 (4)	16 (3)
電子科学研究所	20 (2)	6 (3)
北海道大学病院	1 (0)	0 (0)
北方生物圏フィールド科学センター	3 (1)	0 (0)
量子集積エレクトロニクス研究センター	5 (0)	0 (0)
該当部局無し	196 (128)	134 (117)
計	697 (472)	516 (382)

※() 数字は共同出願件数で内数

(海外内訳)

国名等	保有件数
アイルランド	2 (2)
アメリカ合衆国	156 (113)
イタリア共和国	7 (6)
インド	5 (5)
インドネシア共和国	1 (0)
オーストラリア連邦	8 (8)
オーストラリア共和国	3 (3)
オランダ王国	13 (11)
カナダ	6 (6)
シンガポール共和国	5 (5)
スイス連邦	13 (11)
スウェーデン王国	3 (3)
スペイン王国	7 (6)
デンマーク王国	4 (4)
ドイツ連邦共和国	68 (44)
トルコ共和国	3 (2)
ハンガリー	1 (1)
フィンランド共和国	1 (1)
フランス共和国	54 (33)
ベルギー王国	7 (6)
ポーランド共和国	1 (0)
ボルトガル共和国	1 (1)
マレーシア	1 (1)
ロシア連邦	4 (4)
英国	56 (36)
台湾	15 (15)
大韓民国	19 (14)
中華人民共和国	47 (36)
中華人民共和香港特別行政区	5 (5)
計	516 (382)

※() 数字は共同出願件数で内数

■意匠登録

部局名	保有件数
工学研究院	1
北海道大学病院	1
該当部局無し	1
計	3

■商標登録

部局名	保有件数
学務部	1
観光学高等研究センター	3
経済学研究院	2
工学研究院	3
高等教育推進機構	2
国際部	3
サステイナブルキャンパスマネジメント本部	1
産学・地域協働推進機構	18
人材育成本部	4
フード&メディカルイノベーション推進本部	1
法学研究科	1
北海道大学病院	2
総計	41

■品種登録

部局名	保有件数
産学・地域協働推進機構	4
計	4

教職員等の JICA (国際協力機構) 専門家及び調査団員としての派遣 (2021年度)

派遣形態	派遣人数
専門家	2名

JICA (国際協力機構) 研修員受入れ (2021年度)

■長期研修

コース名	留学生受入期間	受入れ人数
イノベティブ・アジア	3年半～4年半	3名
健康危機対応能力強化に向けた感染症対策グローバルリーダー育成プログラム	3年半～4年半	10名
食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net)	2年～3年半	3名
インド工科大学ハイデラバード校日印産学研究ネットワーク構築支援プロジェクト (IITH)	2年～3年半	6名
SDGs グローバルリーダー・コース	1年～3年半	5名
資源分野の人材育成プログラム (資源の絆)	2年～3年半	12名
アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ (ABEイニシアティブ)	2年半	3名
道路アセットマネジメント	3年半	1名

■国別研修

コース名	研修期間	受入れ人数
イノベティブ・アジア「ビッグデータと持続可能な開発目標 (SDGs)」(遠隔研修)	29日	8名

■課題別研修

コース名	研修期間	受入れ人数
水産資源の持続的利用とバリューチェーン開発 (第2部) (2020年度・遠隔研修)	12日	7名
水産資源の持続的利用とバリューチェーン開発 (2021年度・遠隔研修)	19日	10名

研究員の採用・受入れ (2021年度)

区分	資格	採用・受入れ人数 (人)		
非常勤研究員	PD	25		
博士研究員	PD	174		
特別研究員 (日本学術振興会)	DC1	31	92	109
	DC2	49		
	PD	8		
	RPD	4		
外国人特別研究員 (日本学術振興会)	PD	17		
合計		308		

教育・研究プログラム

2022年4月1日現在

沿革

組織・財政

学生

国際交流

寄附講座・公開講座等の
実施状況

全学的な教育研究体制

キャンパス

■ 研究大学強化促進事業（研究大学強化促進費補助金）

年度	事業名	補助事業者
2013～2022年度	研究力強化実現構想～世界の課題解決に貢献する北海道大学へ～	総長 賈金 清博

■ スーパーグローバル大学創成支援事業（国際化拠点整備事業費補助金）

年度	事業名	実施責任者
2014～2023年度	Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブ～世界に開かれ世界と協働～ タイプA：トップ型	総長 賈金 清博

■ 大学の世界展開力強化事業（国際化拠点整備事業費補助金）

年度	事業名	事業推進責任者
2020～2024年度	アフリカと日本の架け橋となる次世代の人材を育成する国際獣医学保全医学教育プログラム (IVCMPEPプログラム)	獣医学研究院長 滝口 満喜

■ 科学技術人材育成費補助事業（科学技術人材育成費補助金）

年度	事業名	代表者
2018～2022年度	データ関連人材育成プログラム	総長 賈金 清博
2020～2024年度	データ関連人材育成プログラム（高等学校等への博士人材派遣）	総長 賈金 清博

■ 先端研究基盤共用促進事業（コアファシリティ構築支援プログラム）

年度	事業名	機関代表者
2020～2024年度	コアファシリティの構築～北大コアファシリティ構想～	総長 賈金 清博

■ 橋渡し研究プログラム（医療研究開発推進事業費補助金）

年度	補助事業課題名	申請者
2022年度	オープンアクセス型拠点を活用した革新的医療技術の持続的創出	総長 賈金 清博

■ 医療技術実用化総合促進事業（医療研究開発推進事業費補助金）

年度	補助事業課題名	申請者
2018～2022年度	安全性確保に立脚した新規医療技術開発推進に関する研究	総長 賈金 清博

■ 先端研究基盤共用促進事業（先端研究設備プラットフォームプログラム）

年度	事業名	機関代表者
2021～2025年度	顕微イメージングソリューションプラットフォーム	総長 賈金 清博

■ マテリアル先端リサーチインフラ

年度	事業名	機関代表者
2021～2025年度	量子・電子制御により革新的な機能を発現するマテリアル、極限機能を有するマテリアル	総長 賈金 清博

■ 共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）

年度	拠点名	実施タイプ	プロジェクトリーダー
2021～2030年度	こころとカラダのライフデザイン共創拠点	地域共創分野・本格型	産学・地域協働推進機構 特任教授 吉野 正則
2021～2022年度	地域エネルギーによるカーボンニュートラルな食料生産コミュニティの形成拠点	共創分野・育成型	大学院工学研究院 教授 石井 一英

■ 地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム（SATREPS）

年度	案件名	実施国	研究代表者
2016～2022年度	ザンビアにおける鉛汚染のメカニズムの解明と健康・経済リスク評価手法および予防・修復技術の開発	ザンビア	獣医学研究院 教授 石塚 真由美
2017～2023年度	フィリピンにおける極端気象の監視・情報提供システムの開発	フィリピン	理学研究院 教授 高橋 幸弘
2019～2024年度	アフリカにおけるウイルス性人獣共通感染症の疫学に関する研究	ザンビア・ コンゴ民主共和国	人獣共通感染症国際共同研究所 教授 高田 礼人
2020～2025年度	結核と鼻疽の制圧プロジェクト	モンゴル	獣医学研究院 教授 木村 享史
2021～2026年度	生物循環グリーン経済実現に向けたウキクサハロビオン資源価値の包括的開拓	タイ	地球環境科学研究院 教授 森川 正章

■数理及びデータサイエンスに係る教育強化支援事業

年度	事業名	事業代表者
2022～2027年度	DX時代の社会要請に応える先導的人材養成基盤の形成 —産学官・地域連携によるデータサイエンス教育とエキスパート人材養成および他大学展開—	総長 實金 清博

■Society 5.0に対応した高度技術人材育成事業(大学教育再生戦略推進費)

年度	事業名	事業代行者
2018～2022年度	未来価値創造人材育成プログラム(a) 超スマート社会の実現に向けたデータサイエンティスト育成事業	総長 實金 清博

■卓越大学院プログラム(大学教育再生戦略推進費)

年度	プログラム名	プログラムコーディネーター
2018～2024年度	One Health フロンティア卓越大学院	国際感染症学院長 堀内 基広

■世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)

年度	拠点名	拠点長名
2018～2027年度	化学反応創成研究拠点(ICReDD)	教授 前田 理

■共同利用・共同研究拠点 7拠点

年度	研究施設名	研究分野	共同利用・共同研究拠点名	備考
2022～2027年度 (2010～2021年度からの継続認定)	低温科学研究所	低温科学	低温科学研究拠点	単独型
2022～2027年度 (2010～2021年度からの継続認定)	遺伝子病制御研究所	医学	細菌やウイルスの持続性感染により発生する 感染癌の先端的研究拠点	単独型
2022～2027年度 (2010～2021年度は単独型認定)	触媒科学研究所	触媒科学 サステナブル触媒工学 触媒情報学	触媒科学計測共同研究拠点	ネットワーク型 ・大阪公立大学 人工光合成研究センター ・産業技術総合研究所 触媒化学融合研究 センター(連携施設)
2022～2027年度 (2010～2021年度からの継続認定)	スラブ・ユーラシア 研究センター	地域研究(人文・社会系)	スラブ・ユーラシア地域研究にかかわる拠点	単独型
2022～2027年度 (2010～2021年度からの継続認定)	人獣共通感染症国際 共同研究所	人獣共通感染症学	人獣共通感染症研究拠点	単独型
2022～2027年度 (2010～2021年度からの継続認定)	電子科学研究所	物質・デバイス領域	物質・デバイス領域共同研究拠点	ネットワーク型 (中核機関:東北大学多元物質科学研究所)
2022～2027年度 (2010～2021年度からの継続認定)	情報基盤センター	計算科学 計算機科学	学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点	ネットワーク型 (中核機関:東京大学情報基盤センター)

■教育関係共同利用拠点 5拠点

年度	施設名	教育関係共同利用拠点名	拠点類型
2020～2024年度	北方生物圏フィールド科学センター 水圏ステーション (白尻水産実験所、七飯淡水実験所及び忍路臨海実験所)	食糧基地、北海道の水圏環境を学ぶ体験型教育共同利用拠点 —水圏環境・水圏生物・技術・人間活動から未来を考察できる人 材育成—(再認定)	水産実験所
2020～2024年度	大学院教育推進機構(高等教育研修センター)	教職員の組織的な研修等の共同利用拠点 —教育の内部質保 証を担う大学教職員の能力向上プログラムの開発—(再認定)	大学の職員の組織的な研修等の 実施機関
2021～2025年度	水産学部附属練習船 おしよ丸	亜寒帯海域における洋上教育のための共同利用拠点(再認定)	練習船
2022～2026年度	北方生物圏フィールド科学センター 森林圏ステーション	フィールドを使った森林環境と生態系保全に関する実践的教 育共同利用拠点(再認定)	演習林等
2022～2026年度	北方生物圏フィールド科学センター 水圏ステーション (厚岸臨海実験所、室蘭臨海実験所)	寒流域における海洋生物・生態系統合教育の国際的共同利用拠 点—海洋の生態系機能とその持続的利用について学ぶ—(再 認定)	臨海・臨湖実験所

■共同プロジェクト拠点 6拠点

年度	拠点名	テーマ	拠点代表者
2018～2022年度	情報法政策学研究センター(再認定)	情報法政策学研究	法学研究科 中山 一郎
2020～2024年度	量子トポロジー理工学教育研究センター(再認定)	トポロジー理工学	工学研究院 丹田 聡
2020～2024年度	One Health リサーチセンター	多様な人材が、組織・研究室・部門の壁を越えてOne Health を共通目標に集い協働するプラットフォームの構築	人獣共通感染症国際共同研究所 澤 洋文
2022～2026年度	産学融合ライフイノベーションセンター(再認定)	連続的に医薬品候補を創出する創薬拠点形成	薬学研究院 前仲 勝実
2022～2026年度	北海道ワイン教育研究センター	北海道のワイン産業を持続的に発展させるための教育研究	農学研究院 曾根 輝雄
2022～2026年度	認知症研究拠点	持続可能社会の実現に向けた世界トップレベルの認知症関 連研究の推進と社会実装	医学研究院 矢部 一郎

土地・建物・船舶

2022年4月1日現在

区分	土地 (m ²)	建物 (延面積 m ²)
事務局	307,579	38,138
附属図書館	16,086	24,631
大学文書館	4,677	1,545
文学部	25,746	36,624
教育学部		
法学部		
経済学部		
文学部二風谷研究室		
文学部斜里研究室	126	
理学部	44,327	67,936
理学院		
浦河地震観測所	974	
えりも地殻変動観測所	(えりも町等から借入)	251
南新川地震観測井施設	392	28
地震予知観測点、坑道	(根釧西部森林管理署等から借入)	457
井戸、検潮所		
有珠火山観測所	3,598	505
松前大島地震観測施設	50	
苫小牧宇宙観測施設	苫小牧研究林敷地共用	
医学部	大学病院敷地共用	54,913
保健科学院		14,009
歯学部	151,333	16,939
大学病院		103,132
司法精神医療センター	(国から借入)	4,030
薬学部	20,014	16,636
工学部	131,831	123,737
農学部	57,791	46,842
獣医学部	40,859	17,345
動物医療センター		3,070
水産学部	88,785	31,368
水産学部七重浜	7,431	334
水産学部洞爺湖	102,494	
国際広報メディア・観光学院	1,187	2,500
環境科学院	17,159	17,483
低温科学研究所	30,335	10,815
母子里融雪観測室	雨龍研究林敷地共用	107
電子科学研究所	2,919	5,419
遺伝子制御研究所	大学病院敷地共用	5,725
情報基盤センター	7,810	6,444
アイソトープ総合センター	大学病院敷地共用	4,614
高等教育推進機構	35,828	24,594
北方生物圏フィールド科学センター	42,538	7,049
天塩研究林	223,500,856	1,892
中川研究林	180,653,586	3,121
雨龍研究林	214,867,214	1,729
苫小牧研究林	27,146,245	4,592
檜山研究林	1,014,132	569
和歌山研究林	4,484,410	1,024
名寄林木育種試験地	180,148	1,710
豊平試験地	939,838	37
忍路試験地	13,662	
生物生産研究農場	491,855	3,799
余市果樹園	57,939	723

区分	土地 (m ²)	建物 (延面積 m ²)	
植物園	133,957	5,296	
静内研究牧場	4,633,846	5,999	
洞爺臨湖実験所	15,087	717	
白灰水産実験所	4,609	1,257	
七飯淡水実験所	10,915	928	
忍路臨海実験所	1,416	428	
厚岸臨海実験所	397,181	2,699	
室蘭臨海実験所	1,300	812	
創成研究機構	35,160	36,710	
人獣共通感染症国際共同研究所	12,083	8,028	
産学・地域協働推進機構	11,355	9,221	
保健センター	福利厚生施設敷地共用	1,061	
情報教育館(放送大学を含む)	高等教育推進機構敷地共用	4,029	
体育施設	177,959	16,310	
馬術部	19,830	474	
小樽ヨット艇庫	7,629	848	
茨戸艇庫	4,365	140	
奥手稲山の家	(石狩森林管理署から借入)	119	
ヘルペチャビュッテ		27	
空沼小屋		102	
無意根小屋		88	
パラダイスビュッテ	(私有地等から借入)	154	
クラーク会館	9,610	5,772	
福利厚生施設(3箇所)	9,971	6,247	
大滝セミナーハウス	23,966	2,380	
外国人研究者等宿泊施設	6,723	2,569	
新外国人研究者等宿泊施設	2,940	3,475	
インターナショナルハウス北8条	14,177	6,009	
インターナショナルハウス北23条	1,861	2,285	
寄宿舎(恵迪寮)	18,113	11,199	
女子寮(霜星寮)	1,345	1,643	
寄宿舎(北農寮)・ゲストハウスおしよろ	7,987	3,147	
ファミリーハウス	大学病院敷地共用	529	
納骨堂	160	23	
宿舎			
札幌キャンパス	19,743	10,714	
札幌市内(キャンパス外)	37,019	23,808	
函館市内	3,768	3,232	
その他の地方	39,555	3,383	
看護師宿舎	6,457	4,463	
計	札幌市内(札幌キャンパス)	1,776,249	783,062
	札幌市内(その他)	1,112,319	35,327
	函館市内	105,149	39,004
	その他の地方施設	657,183,747	35,744
総計	660,177,464	893,137	

※小数点以下四捨五入のため、総計と内訳の計が合わない場合がある

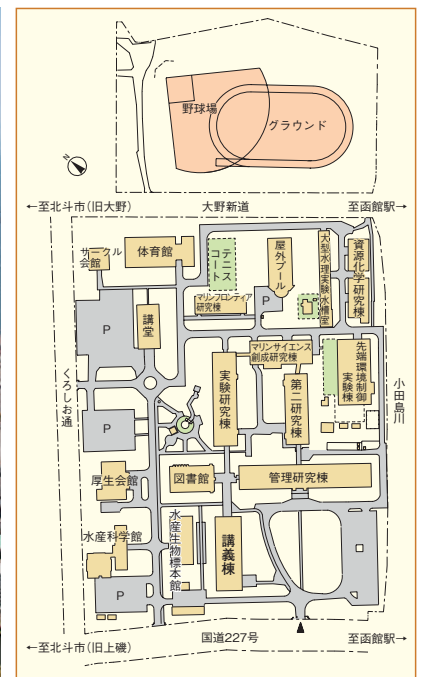
船舶 (主要なもの)	おしよろ丸 1,598トン うしお丸 179トン
------------	-----------------------------

札幌キャンパス・函館キャンパス

札幌キャンパス



函館キャンパス



札幌キャンパス施設配置図



沿革

組織 財政

学生

国際交流

実施状況 寄附講座・公開講座等の

全学的な教育研究体制

キャンパス

施設所在地一覧

2022年4月1日現在



学外オフィス

22 東京オフィス

- ・教職員の活動拠点
- ・大学情報・入試情報提供の場
- ・学生の就職活動支援拠点 (各種セミナー実施会場)
- ・同窓生の交流の場

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7-12
サピアタワー 10階

Tel・Fax 03-3211-2055

E-mail: tokyo@general.hokudai.ac.jp

開館時間: 平日 10:00 ~ 18:00 土・日曜日、祝日、年末年始 (12月29日~1月3日) は休館。



23 韓国ソウルオフィス (p.54 参照)

- ・韓国の諸大学等との交流促進のための情報収集・行事実施等
- 大韓民国ソウル特別市

● 中国北京オフィス (p.54 参照)

- ・中国の諸大学等との交流促進のための情報収集・行事実施等
- 中国北京市 (株式会社 GES 北京事務所内)

● ASEAN ハノイオフィス (p.54 参照)

- ・ASEANの諸大学等との交流促進のための情報収集・行事実施等
- ベトナム社会主義共和国ハノイ市 (ベトナム国家大学ハノイ校科学大学内)

● 北米ポートランドオフィス (p.54 参照)

- ・北米の諸大学等との交流促進のための情報収集・行事実施等
- アメリカ合衆国ポートランド市 (ポートランド州立大学内)

● 欧州ヘルシンキオフィス (p.54 参照)

- ・欧州の諸大学等との交流促進のための情報収集・行事実施等
- フィンランド共和国ヘルシンキ市 (ヘルシンキ大学内)

● ロシアモスクワオフィス (p.54 参照)

- ・ロシアの諸大学等との交流促進のための情報収集・行事実施等
- ロシア連邦モスクワ市 (モスクワ国立大学内)

● アフリカリサカカオフィス (p.54 参照)

- ・アフリカの諸大学等との交流促進のための情報収集・行事実施等
- ザンビア共和国リサカカ市 (ザンビア大学内)

● タイリエゾンオフィス (p.54 参照)

- タイ王国ナコーンパトム県カンベンセン (カセサート大学カンベンセンキャンパス内)

● インドネシアリエゾンオフィス (p.54 参照)

- インドネシア共和国ジャワ州ボゴール市 (ボゴール農業大学ダルマガキャンパス内)

● フィリピンリエゾンオフィス (p.54 参照)

- フィリピン共和国ケソン市 (フィリピン大学ディリマン校内)

● 中国北京リエゾンオフィス (p.54 参照)

- 中華人民共和国北京市 (中国科学院大学内)

24 関西同窓会館 (北大会館)

- ・北大関西同窓会の協力により、大学情報・入試情報などの広報誌を配布

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目2-2-200

大阪駅前第2ビル2階

Tel・Fax 06-6343-3736

E-mail: elmkansai@yahoo.co.jp

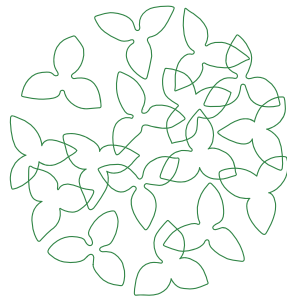
URL: <https://hokudai-kansai.org/>

開館時間: 10時~17時、年中無休 (年末年始を除く)



略号 番号	施設名	郵便番号	所在地	電話番号
	技術支援本部	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	情報環境推進本部	〒060-0811	札幌市北区北11条西5丁目	
	アドミッションセンター	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	ダイバーシティ・インクルージョン推進本部	〒060-0812	札幌市北区北12条西7丁目	
	創成研究機構	〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	
	高等教育推進機構 (キャリアセンターを除く)	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	高等教育推進機構 (キャリアセンター)	〒060-0808	札幌市北区北8条西8丁目	
	大学院教育推進機構 (先端人材育成センターを除く)	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	大学院教育推進機構 (先端人材育成センター)	〒062-0812	札幌市北区北12条西7丁目	
	安全衛生本部	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	大学力強化推進本部	〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	
	産学・地域協働推進機構 (産学連携推進本部、社会・地域創発本部)	〒001-0021	札幌市北区北21条西11丁目	
	総合IR室	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	高等教育推進機構 (国際教育研究部) / 事務局 (学務部国際交流課)	〒060-0815	札幌市北区北15条西8丁目	
	サステナビリティ推進機構	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	事務局 (総務企画部、財務部、研究推進部研究振興企画課、施設部、国際部、社会共創部広報課)	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	事務局 (総務企画部情報企画課)	〒060-0811	札幌市北区北11条西5丁目	
	事務局 (学務部学務企画課、教育推進課、学生支援課、入試課)	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	事務局 (学務部キャリア支援課)	〒060-0808	札幌市北区北8条西8丁目	
1	事務局 (研究推進部研究支援課)	〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	
	事務局 (社会共創部社会連携課、産学連携課)	〒001-0021	札幌市北区北21条西11丁目	
	監査室	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	監事支援室	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	文学部・文学研究部・文学部	〒060-0810	札幌市北区北10条西7丁目	
	法学研究科・法学部	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目	
	法学研究科附属高等法政教育研究センター	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目	
	情報科学院・情報科学研究部	〒060-0814	札幌市北区北14条西9丁目	
	環境科学院・地球環境科学研究部	〒060-0810	札幌市北区北10条西5丁目	
	理学院・理学研究部・理学部	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	理学研究部附属地震火山研究観測センター	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	理学研究部附属ゲノムダイナミクス研究センター	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	理学研究部附属原子核反応データベース研究開発センター	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	薬学研究院・薬学部	〒060-0812	札幌市北区北12条西6丁目	
	薬学部附属薬用植物園	〒060-0812	札幌市北区北12条西6丁目	
	農学院・農学研究院・農学部	〒060-8589	札幌市北区北9条西9丁目	
	生命科学部	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	先端生命科学研究院	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	先端生命科学研究院附属次世代物質生命科学センター	〒001-0021	札幌市北区北21条西11丁目	
	教育大学院・教育学研究部・教育学部	〒060-0811	札幌市北区北11条西7丁目	
	教育学研究部附属子ども発達臨床研究センター	〒060-0811	札幌市北区北11条西7丁目	
	国際広報メディア・観光学院・メディア・コミュニケーション研究院	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	

(011) 716-2111 (代表)
別途、ダイヤルイン化
【(011) 706-内線番号】



HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学にとってエンレイソウはシンボルマークに使われている象徴的な花です。このデザインは、エンレイソウを「ヒト」に見立て、知性・個性・多様性の融合とすることで、コミュニケーションビジュアルとしました。花の持つ美しいラインに注目し、線の重なりが「ヒト」との関わり・知識の象徴などを表現しています。エンレイソウが持つ美しいシルエットは、北大にふさわしい、アカデミックでファッショナブルなイメージを構成します。

北海道大学 概要 2022

発行 北海道大学社会共創部広報課
所在地 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
電話 011-716-2111(代表)
Web <https://www.hokudai.ac.jp/>
発行年月 2022年7月



この冊子は、
環境に配慮した植物油インキ
(ベジタブルオイルインキ)を
使用しています。